



サイジャーナル

月刊
27-5・6
第421号

日本サイ科学会 平成 27 年 5 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒659-0011 芦屋市六菟荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159

五日本部例会のお知らせ

※今月は芸術家とジャーナリストという2名のユニークな講演者の組み合わせとなります。素晴らしい作品(点描画)も展示致しますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして是非ご参加願います。

第1部

君を見放したりはしないー宇宙神技点描画家ー水華の世界(ヒカルランド)

講師 水華氏
(神技点描画家)

沖縄出身の水華氏は、ダイバーショップ経営に成功、名実とも事業家として活躍していました。しかし、若くして巨万の富を得て、天狗生活を送った結果、ことごとく事業の多角化に失敗、天国から地獄に突き落とされてしまったのです。

ある日、自死を思いたった時、突然、神秘体験が起きました。「点描を描けー」という、巨大なバイブレーションを受けたのです。そ

六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されており、必ず6月2日までにご投函願います(忘れないうちにお早めにお願致します)。

こで止む無く点描を描くことになりました。また、2年間で6000本という神界からのメッセージも告げられました。

この点描画はすでに90作以上上り、1000号7000万円以上という破格の値段が付けられました。全国の個展会場では、連日、奇跡的なシーンが起っています。いったい、水華氏が告げられたメッセージとは何なのでしょうか?

この衝撃の点描画とそのメッセージを明らかにしてまいります。

●水華氏のプロフィール
1960年沖縄生まれ。2012

今月号の記事

- ◎五日本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎将来の事務局長を募集します
- ◎六日本部例会のお知らせ
- ◎全国大会発表者大募集
- ◎関西サイ科学会五月六月七月研究集会のお知らせ
- ◎北陸サイ科学会五月例会予告
- ◎九州サイ科学会六月例会予告
- ◎第25回宇宙生命研究分科会予告
- ◎第24回宇宙生命研究分科会報告
- ◎平成26年1月本部例会報告
- ◎平成26年4月本部例会報告I
- ◎第三九三回関西サイ科学会報告
- ◎第三九四回関西サイ科学会報告
- ◎御嶽山の火山爆発の予知の検証と天変地異の予知
- ◎計報
- ◎オーブ(たまゆら)と霧(水滴)の関係

年6月より突然点描画を描き、2014年6月までには80点の作品を発表している。2014年2月サロン・ブラン会員、2014年4月上野 日仏現代国際美術展示品/会員優待受賞、同時にサロン・ブラン委員に推薦。2012年11月仙台「現代スピリチュアル

アート展」、2013年銀座グレイス「SUIKA点描画展、2013年7月赤坂ホテルニューオータニ「アールグラージュとコラボ」、2014年1月表参道四季画廊「SUIKA点描画展」など開催。

第2部

巨大地震を1週間前につかめ (ビオマガジン)

講師 上部 一馬氏

「地震は予知できない」。これは世界の定説です。しかし、巨大地震の発生を一、二週間前に予測できる「GPS地殻変動解析システム」を開発した民間人が登場しました。これは世界の快挙です。20年間にわたり日本の地殻変動を調べた結果、巨大地震発生の前には前震があることを掴みました。この20年間のデータベースと1週間毎の地殻変動値から巨大地震の予測を可能にしました。M5以上の的中率は8割を超え、3・11も事前に予測していました！ 富士山噴火、首都圏直下型地震がいつ起こるのか、日本列島はどうなっているのか？ このシステムの実

績と、危ないエリアを公表致します。

●上部一馬氏のプロフィール

1954年 岩手県陸前高田市生まれ。1977年明治学院大学卒業。学習研究社代理店勤務の後、1992年(株)健康産業流通新聞社に入社。2000年からフリーに。2003年、健康情報新聞編集長兼任。代替療法に精通。主な著書…「美肌革命」(ぶんぶん書房)、「難病を癒すミネラル療法」(中央アート出版社)、「やっぱり、やっぱりガンは治る」(コスモ21)、「ガン治療に夜明けを告げる」(花伝社)、「奇跡の生還」(コスモ21)、「世界文明の起源は日本だった」(ヒカルランド)他多数。

日時 平成27年5月9日(土)

午後1時30分～4時30分

会場

北とびあ7階701会議室

交通

JR京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費

会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(4/8受領分まで)

金六万円也	木村 陽一 様
金五万円也	渡邊 薫龍 様
金二万一千円也	浪平 博人 様
金二万円也	鴨川 裕司 様
金一万一千円也	屋敷 益男 様
金一万一千円也	原口 和恵 様
金五千円也	宮前 昭子 様
金一千円也	久保田昌治 様
金一千円也	窪田啓次郎 様
金一千円也	占部 浩一 様
金一千円也	飛田 洋子 様
金一千円也	青木 保夫 様
金一千円也	濱田 敏博 様
金一千円也	枝元 孝行 様
金一千円也	友寄 光子 様
金一千円也	片山 政記 様
金一千円也	山田 真理 様
金一千円也	奥村 八郎 様
金一千円也	石井 一雄 様

◎将来の事務局長を募集します

現在の事務局(小林)は200

1年6月から、日本サイ科学会の公式サイト管理以外のほぼすべての事務仕事(機関誌・論文集等の編集と発行、本部例会・全国大会等の準備と運営、理事会・通常総会の準備と運営、会員管理など)を担当してきましたが、年齢的にすべてをこなすには、体力的にきつくなつて参りました。

そこで、従来の事務局の仕事を編集部(刊行物の編集と発行)と新しい事務局(催し物の準備と運営、会員管理)の2つに分割することになりました。

そして、新しい事務局の担当者を並列記憶能力が高い20代～40代の会員か、会員のお知り合いから募集することになりました。

最初は幹事として役員会等にも出席し、数ヶ月で引き継ぎを受けて、問題なければ正式に給与の出る事務局長になっていただく予定です。資格は首都圏在住の20代～40代の「WORD・EXCEL」等のコンピュータ使いで、機械音痴ではなく、多少の几帳面さと責任感が持てる方です。会員とのやりとりはメールが主体で、通常のルーティーンのお仕事に就いている方でも、兼職は可能です。詳細に

つきましては、事務局にメール願います。
E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

募集期間中に複数の応募がありました場合は、応募者各人の適性をみて、最終的に決めさせていただきます。

六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会后、講演会があります。

六月本部例会のお知らせ

先端アンチエイジング医療 & 超人を生む自律神経の開発

講師 末武 信宏氏

アンチエイジング医療の進歩は近年目覚しく、内側と外側からアンチエイジング医療を受けることが可能となりました。

レーザー、高周波、超音波など新しい技術革新のみならず再生医

療分野でも注目を集めています治療を紹介します。

また、最近では、人間のソフトウェアである自律神経機能トレーニングによりトップアスリートのパフォーマンス向上にも役立っています。

人間の能力開発から超人を生む自律神経の最先端研究の紹介と人間の未知なる可能性や個人特性などアカデミックな超・能力へのアプローチを最新の研究と共に紹介します。

※名古屋市でアンチエイジングの診療を続けながら、スピリチュアルな研究でも活躍しておられるお医者さんの貴重な御講演ですので、会員の皆様はご友人、知人をお誘いして是非ご参加ください。

●末武信宏氏のプロフィール

国立岐阜大学医学部卒業、順天堂大学医学部大学院博士課程卒業(医学博士)、順天堂大学医学部非常勤講師、プロボクシングトレーナー(JBC認定)、社団法人 先端医科学スポーツアカデミー 副代表理事、日本美容外科学会認定専門医 さかえクリニック院長

<http://www.sakae-clinic.com/>

トップアスリート株式会社 代表取締役

<http://www.topathlete.co.jp/>

アンチエイジング診療(Fレーシングドライバー、プロボクシング世界王者、プロ野球選手、サッカー日本代表、ツアープロゴルファー、オリンピック日本代表選手など)。多くのトップアスリートのトレーニンング指導を行い超人育成に努める傍らスピリチュアルボランティア活動に努める。ヒーリング、前世療法、魂の実証への科学的アプローチを生涯研究。

<http://www.sakae-clinic.com/spiritual/>

日時 平成27年6月7日(日)

午後1時半～2時 通常総会

午後2時～4時半 講演

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

平成27年日本サイ科学会 第25回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月11日(日)に北とびあ第2研修室にて、開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマは「あの世と多次元世界」が予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは「あの世と多次元世界」に関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・説明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます、通りましたら8月31日までに

原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。「サイ科学 2014」の編集後記をよく読んで、応募願います。

◆ ◆

関西日本サイ科学会
五月例会のお知らせ

チャクラに響くコトタマ
パワー体感セミナー

講師 宮崎 貞行氏

日時 平成27年5月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

関西日本サイ科学会
六月研究集会のお知らせ

意識による鉱石の成長・
サイをめぐるよもやま話

講師 小牧 昭一郎氏

日時 平成27年6月20日(土)

午後3時～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

関西日本サイ科学会
七月研究集会のお知らせ

永遠の生命(仮題)

講師 梶原 和義氏

日時 平成27年7月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

北陸日本サイ科学会
五月定例会のお知らせ

外惑星(天王星、海王星、冥王星)が与える個人の運勢の大きな波と世界の動向

講師 瀬尾 泰範氏
(占星学研究者)

外惑星(天王星、海王星、冥王星)は1つの星座を通過する期間が長いので、世の中のトレンドに影響を与え、個人に対しても人生の大きな運勢の波に影響を与え、記憶に残るエポックメイキングにも関係します。

東日本大震災の日に、世の中をひっくり返す天王星が占星学の基準点である春分点を通過し、牡羊座に入り、それから世界的に争いや戦いの多い時代が始まりましたが、2018年～2019年に天王星は牡牛座に入ります。それによりどういふうに時代が変わっていくかを、その後の星座時代も含めて予測します。

さらに海王星、冥王星の今後の世の中に与える大きな波も解説致します。

また個人に対する天王星、海王星、冥王星の影響力による、大きな運勢の波のお話をし、参加者の皆様には、外惑星による今後数年間の個人別運勢の波が診断できる資料を配布して、その見方の説明を致します。

日時 平成27年5月24日(日)
午後1時半～4時半
会場 ホリスティック健康科学
研究所 研修室

(石川県金沢市高岡町12・45)
ロイヤルシャトー南町1F
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎
お問合せ・お申込み
076・234・6634

九州日本サイ科学会
六月研究集会のお知らせ

心の調和についてⅢ

講師 森安政仁氏

日時 平成27年6月14日(日)
午後1時～4時

会場 森安商店
長崎県西彼杵郡長与町本川内郷16・6
問合せ095・883・6048
交通 JR長与駅下車徒歩20分
長崎バス 洗切小学校前
下車徒歩2分
会費 無料

※人生相談も伺います
※会員以外の方の参加も大歓迎

第25回宇宙生命研究分科会

第9回 UFO・オーブシン
ポジウム

宇宙人類の自覚…第2コペル
ニクス革命(2)

昨年「第2コペルニクス革命
…地球人ひとりぼっち説からウチ
ユウジンてんこ盛り説へ」に引き
続き、第2弾として、「宇宙人類の
自覚」がテーマ!

アカデミズムでも宇宙人類学が
提唱される中、本シンポジウムで
は宇宙人との交流を前提に、さら
に一步進んでゆきましようか?

「われ思う、ゆえに宇宙人あり」
Cogito Ergo Eureka

日時 平成27年7月26日(日)
10時～17時45分
会場 品川健康センター会議室
品川区北品川3・11・22

03・5782・8507
交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分
JR京浜東北線大井町駅東
口から東急バス「渋谷駅」
行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 五〇〇円(日本サイ科
学会・サトルエネルギー
学会・太陽の会会員)

一般 一〇〇〇円
(世話人 阿久津 淳)

☆ ☆

第24回(第7回ヒポクラテス
シンポジウム)報告

2015年3月29日(日)に品
川健康センターにて終日開催。

今回は第1回ヒポクラテス賞を
設け、参加者の投票により受賞者
は佐藤楨花さんに決定。トロフィ
ーが授与されました。

会場は満員御礼で、懇親会も20
名参加。「生命の躍動」をテーマに、
大いに盛り上がりました。参加者
及びスタッフの皆さん、ご協力あ
りがとうございました。

(世話人 阿久津 淳)

平成26年1月本部例会報告

魂の発見

講師 小川 博章氏

本日の私の目標は、「心を解明し
魂を発見して、絶対安心に至る」
ということでした。

原初の生物であるゾウリムシは
目で見ることでできる最も小さな
生物ですが、ゾウリムシのいる環
境に弱い電流を流す実験をしてみ
ます。何事もないときに、ゾウリ
ムシはお互いに適当な距離をとっ
て散らばり、平和な生活をしてい
ます。ところがその環境に弱い電
流を流すと、ゾウリムシは常にマ
イナス極に向かいます。次にゾウ
リムシが普通に暮らしている環境
に、酸をたらず実験をしてみます。
弱い酸をたらずとゾウリムシは皆
寄ってきます。ところがこの環境
に強い酸をたらずと、ゾウリムシ
は皆一斉に逃げ、遠ざかります。
この実験が語っていることは、
原初の生物であるゾウリムシも、
論理に従って行動しているという

ことです。そこでその眼を転じて世界を見れば、渡り鳥が一団となって海を越えていくように、あらゆる生物が論理に従って行動しているのだと分かります。そうでなければどうして生物は過酷な環境の中で生きていけるのでしょうか？命は論理に従って行動する仕組みだといえます。命によって生きていく私たちもまた、論理に従って生きるのが当たり前で生きているということなのです。だからこそ私たちは論理的でない説明に出会うとも当然なことなのです。

そこで人類は論理的な知識を共有し、皆で積み重ねるために発明したのが、「科学」という方法だったということが分かります。私たちは科学を発達させる中で、よりいっそう理性を磨き、理性を唯一の自分のよりどころとしてきました。ところが、生きていくうちに私たちは、現代の科学が現実を必ずしも正確に記述できていないことに気がつきます。科学は今のところ、現実を追いついていないといえます。つまり理性に従っても先に進めない多くの問題の存在に気付き始めています。

それにも関わらず、私たちは論理的でないものを排除しようとする余り、科学的になっていないもの信じません。科学は、ニュートンが万有引力の法則を発見して以来、始まったとされていますが、ニュートンが万有引力の法則を発見する前にも、リンゴは木から落ちていました。当然のことですが、あらゆる結果は原因があって、生まれます。

そしてあらゆる原因は原因が生まれる仕組みがあって、生じます。ですから、今のところまだ科学が仕組みを説明できないといっても、仕組みがなくなるわけではありませぬ。そこで私たちは現実を引き起こしている仕組みの現実を知りたいと願い、新たな世界へ飛び出さずにはいられません。

さて現代人にとって、絶対安心の基準と根拠というのは、実に常軌を逸した話題だと思われまふ。だからこそ慎重に現在の世界が示している現実を観察することによって、真実が何であるかを明らかにしていきたいと思ひます。そこで科学的に現実を迫りたいと思ひますが、最初に基本的な疑問を解決しておきましょう。

そもそも「科学する」とはどういうことをいうのでしょうか？科学の基準とは何なのでしょう？あることが科学的であるかどうかを見極めるためには、まず科学の方法を知る必要があります。

科学の方法には3つの原則があります。

- ①論理的な仮説を立てる
- ②実験によって仮説を証明する
- ③再現性によって確認できる

科学はこの3つの原則によって前の知識の上に新たな知識を積み上げることによって、蓄積的進歩を可能にして発展してきました。

ところが現在、意識は実験によって証明できていないので、蓄積的進歩がありません。だからいくらか論理的な仮説を立てても科学としてはまったく認められません。科学しようとする意欲も生まれないうのは当然です。そのようなわけで現在、意識は決して科学になっていないというのが、一般的に了解されていることだと思ひます。

しかしながら釈迦の出現以来、年間わずか100人であったとしても、これまでに25万人の人々が釈迦のいう絶対安心の世界に進み、この世界に進んだ人々は、皆同じ

事を語っていることに注目すれば、実験によって証明できなくても、釈迦が発見し、白隠禅師が改良を加えた方法が、再現性によって確認できることが立証されているのですから、3番目の条件は満たしています。同じ方法を使えば同じ体験が再現されるということは、蓄積的進歩が無いからといって、仕組みが無いことの証明ではありません。むしろ誰でも同じ結論に至るといふことの中に、明白な仕組みが存在している証拠だといえます。

確かに意識を科学しようとしても、意識には純粋な科学としての資格がありません。しかしこれまでも、純粋な理性だけでは闇に迷い込むだけであろうと観察してきました。このように考えてくると、自分独自の個性的な人生のすべてを肯定していき、知らぬ間に迷い込んでしまった闇夜から出て、生き活きと生きていこうとしている私たちにあって重要なのは、自分が生きる基準が純粋な科学であるかどうかよりも、自分の喜びの源になるかどうか、ではないでしょうか？

しかし一方で私たちは、理性的

に納得できれば、新しい知識を振り落とすことができます。そこで本日は、できるだけ広く現実を観察し、世界が示している証拠によって、意識を理解する、という方法を取りましょう。世界を観察することによって、意識とは何かという仮説を立て、自分の心と体を使って再現することで、自分で振り落とすという方法を提供したいと思います。

そこで本日は意識を科学するために、

- ①意識はどこにあるか？
 - ②意識は何をしているか？
 - ③意識はいつからあるか？
- という3つのことを考えた上で、現代に生きる私たちが一般的に困惑している

④意識は肉体の死と共に消えるか？

つまり、「人は生まれて、生きて、死ぬ」という考え方は本当か、ほかの考え方は完全に間違いなのか、という大疑問を考えてみたいと思います。この疑問のバズルを解いた結果として、私たちは人生を安心して生きて良い根拠を手に入れることができるはずですし、解けたバズルによって、安心の根拠を納得できれば、絶対安心に至れる

はずです。

まず、「意識はどこにあるか？」という意識に関する最初の疑問から考えましょう。意識がどこにあるかを知れば、意識の仕組みの一部が分かるに違いありません。



意識は、

- ①体の一部だけにあるのか、それとも全体にあるのか？
 - ②体の内部だけにあるのか？ それとも外部にもあるのか？
- この2つを検討すればよいこととなります。

では擬態生物を観察してみまし

よう。擬態生物を見ると、たちまち疑問がわいてきます。(鏡で自分の体を見るわけでもなく)自分の目で見えないところが、どうしてこんなにも環境に似るのでしょうか？何も教育されないのに、ここなら安全と知るためには、環境に紛れている自分を意識できなければならぬはずですが。ある植物と完璧に似た体を手に入れても、もし留まる植物を間違えたら、たちどころに捕獲されてしまうでしょう。擬態が成立するためには、3つの条件が必要になります。

環境を自分の体にコピーするには、肉体の目以外の視力で自分の体を、自分の体の外から環境ごと見なければならぬはずですが。つまり擬態が成立するためには、第一に、意識の中に体ができている必要があります。するとここで意識の仕組みに関して、新たな2つの疑問が起きます。

- ①意識の仕組みの中に体があるのは本当なのか？
- ②肉体の目以外の視力などがあるのか？

状況証拠を沢山集めて、理解するしかありません。

※いくつか挙げられた例のうちの

(二例) 東京大学総合研究博物館、大場秀章教授の著書『植物は考える』によると、「植物には会話し、変身し、動物を操る智慧がある」例えば、「雄蜂が近づくと瞬間花がそれを捕らえて花粉のスタンプを押すハンマーオーキッドは、自分の花の形が蜂の雄に雌蜂のように見えていて、自ら雄をおびき寄せると意識できている」のです。なぜならもし、花が突然変異によって偶然蜂の雌に似たのだとしたら、自ら動いて花粉のスタンプを押す行動がどうして生まれるのでしょうか？

生物は意識をどのように使って行動しているか？ について次の9つを挙げてみました。

- ①外部を感知し認識し、判断する
- ②体全体を統括するシステム
- ③エネルギーを操る
- ④時々刻々、内部の変化を認識する
- ⑤物質としての遺伝子を操る
- ⑥細胞の増殖に先立って、複製される
- ⑦個体の進化と直接関わっている
- ⑧イメージによって動いている
- ⑨記憶によって、意味のある活動

をする

この中で5番目と6番目については本当なのか?と疑問に思われるでしょう。今回はここだけ詳しく説明させていただきます。

「意識が遺伝子を操る」と考えられる一例として、元東京医科大学准教授の志村則夫博士の著書「いのちとは何か」に、江上信夫東大教授の性転換する魚の実験が紹介されておりあります。

「ハナダイ」は雄一匹が十数匹の雌を従えて紅海を回遊しています。雄が死ぬと雌の一匹が雄に性転換するといわれています。それを江上先生が研究室の水槽の中で証明しました。

透明ガラスでできた2つの隣り合った水槽に、それぞれ雄と雌のハナダイを何匹かず別々に飼います。このときは何も起こらなかったのですが、2つの水槽の間に障害物を置いて、互いに見えなくすると、なんと雌の一匹が雄に性転換してしまつたのです。障害物が置かれ、雌の視界から雄が消えることで、雌に性転換が起こっています。

つまりこの実験では、性転換が意図的に行われていることが分か

ります。雄がいけないことに気付いた仕組みである意識が、遺伝子を操っていることになりました。この実験は、意識の力で遺伝子が操られていることを示しています。

ちなみに、イソギンチャクと共生するクマノミは、雌がいなくなると雄が雌に性転換します。性転換する魚は実は沢山います。

ゾウリムシは通常横に分かれて、1つの細胞が2つになります。細胞分裂によって増えます。ところが環境が悪化すると、同じ遺伝子では住みにくくなります。するとゾウリムシは自分とは違う遺伝子を持つている個体を探し出し、接合という方法でお互いの遺伝子を入れ替えます。入れ替えた後、2つに分裂して、それぞれの体の中で遺伝子を一旦バラバラにし、組み直し、何回か分裂を繰り返した後で元に戻ると、再び通常の細胞分裂を繰り返します。ゾウリムシはこのようにして生きています。ゾウリムシは自分で自由自在に遺伝子を操っています。

擬態に関しても、擬態が可能になる第2の条件は意識が遺伝子を操ると考えて始めて、生物が見事なまでに擬態を仕上げた現実を理

解できます。

次に「意識は細胞の増殖に先立って、複製される」ということを考察してみます。

細胞分裂したゾウリムシは、直ちにゾウリムシとして生きることができのですから、分裂を始めるときに、できかかっているもう一方の体を意図的に操っているのは、元の体の意識ではなく、新しい体の意識のほうです。だからこそ分かれたら、別々で生きていくはずですが、細胞という物質を再生する前に、物質を操る意識を再生しなければならぬことになります。

※この後、いろいろな例から、「意識の中には過去世の記憶があること」と「意識の中には過去世を操る仕組みがある」また「意識は人の心の中に感動や自責の念を生み出す」「意識は生物の擬態や性転換、そして何より進化を起こす力である」ことを解説されました。

そして、ここまで考えてくると、心を無意識のうちに操る力が存在することを、否定できなくなっているのではないのでしょうか?

そして、その無意識の中で働く

力を、日本では古来「魂」と呼んできたことに思い当たると思えます。意識と呼ばれる心の働きの一部に魂が関与していることは明白です。つまり、命が自動的に体を操っているように、永遠不滅の記憶情報である魂も、自動的に心を操って、心に変化を起こしていきいます。意識の一部として魂が働いているということは、目に見える命の働きの他に、目には見えない魂も確実に心と体を操っている、いうことになります。

先ほどからずっと明らかにし続けてきた意識の仕組みから、魂の存在を明らかにできます。そして魂の大部分は無意識の中にあり、日常生活の中ではほとんど潜在しているため、日常の自分には分からなくなっています。

結論として、「魂とは、体全体を包む意識、記憶、進化する意図をもつ」といえます。新しく進化するために人生に問題が起こるのであり、自分自身の生物の時間の中で、今の自分の経験が時間と共に記憶の中に蓄積されていくこととなります。ですから現在直面する問題を工夫する記憶と時間が過ぎ去るものではなく、積もり行くも

のとして蓄積され、やがて砂時計が半回転して、新しいときを刻み始めるように、この世における工夫が、次の自分の人生をより良いものに飛躍させる源となることとなります。

この考え方の中では、たとえ今の問題が解決できなくても、問題を進化させるチャンスだと捉える考え方の中で工夫するなら、問題そのものが昇華して、消えることが分かります。人生の時間軸の中で、自分がこの人生を生きる基準が明らかになれば、その結果、人生の出来事はすべて幸せと喜びの源になるはずで。

考えてみれば、人生は「生きる意味」で貫かれているといえます。その理由は、魂が進化しようとしている方向に、自分も生きる意味を見出して来たからではないでしょうか？ 自分が人生を生きる意味は、魂の中に既に常に完全にある、といえます。つまり、永遠不滅の記憶情報である魂を明らかにして、「自分が幸せである根拠」が予め明らかになっていけば、これ以上の安心の源はないといえます。

平成26年4月本部例会報告Ⅰ

生命の智恵 アーユルヴェーダ
—アーユルヴェーダから見る
生命のすばらしさ—

講師 西川眞知子氏

アーユルヴェーダというのはインドの梵語すなわちサンスクリット語で、元々はインドで生まれまして五千年の歴史をもった伝統的な医学です。アーユスというのが「命」で、ヴェーダは「科学」とか「智恵」という意味なので、今日はアーユルヴェーダを「生命の智恵」というふうに題させていただきました。でも今ちょっと触れましました「ヴェーダ」というのは、インドでは昔から宇宙には始まりも終わりもないように、ずっと永遠の智恵であり、そこには純粋な意識が常に存在しているものだから、そしてヴェーダというものは変わることはないのだ、というふうに説かれています。

それだけだと分かりづらいので、後の時代に4つの書物に書かれています。世界で一番古い書物

が「リグ・ヴェーダ」で、「サーマ・ヴェーダ」、「ヤジュル・ヴェーダ」、「アタルヴァ・ヴェーダ」が書かれていきました。その後、生命というものがより健全に、そして寿命が全うされるまで、できるだけ幸福な人生を生きていこうという、その礎のためにアーユルヴェーダというのが説かれたと言われております。



今日は後半で、実技の時間としてヨガをやらせていただきます。ヨーガというと、現在肉体的な激しい鍛錬のように取られておりますが、ヨガは元々インドで生まれた6つの哲学の一つであり、「つながる」という意味を持っておりま

す。またヨーガは、このアーユルヴェーダとは、五千年の歴史を両方が共にする、素晴らしい生命の智恵を説いていくもので、今日はこの2つを羅列させていただきま

す。ヨーガとアーユルヴェーダを生活の中でほんのちよつと取り入れていくだけで、私たちは今以上にベターな日々を暮らしていきたい、ということをご提案させていただきます。

この図にあります「地水火風空」はアーユルヴェーダを説いていくときに、基本的な概念となります。どういうことなのかと申しますと、私たちを取り囲んでいる自然、私や貴方を含めたあらゆるものが、この5つのエレメントで構成されていると考えるのがアーユルヴェーダです。ここが中国の医学ですと、「木火土金水（もくかどごんすい）」という5つになります。これは両方とも神事ですが、ここが違っているということではなくて、風土であるとか、そこが育っていく過程の中で元素の見え方、見方、表現が変わってきていることだと捉えていただければ、有り難いです。

自然も私も貴方もこの5つの要素でできている、ということだと、おかしいよね？ 例えば同じ物を食べても太りやすい人もいますし、どんな物を食べてもなかなか太れない人もいます。同じ問題に對してすぐにいらいらする人もいますし、非常に安定していて、動かないようなタイプの人がいます。



これらの違いはもつと細かく言えば、沢山あります。アーユルヴェーダでは、みな同じ要素でできていますが、それぞれのエレメントのパーセンテージが違うことによって、いろいろな違いが生じる

と考えます。

「地」は自然界に存在しますし、ここは7階ですが、この建物を通じて大地に通じ、そして大地の上に建物が建っているというふうな考えることが出来ます。そうすると、「地(土)のエネルギー」というのは何を表しているのだろうか？ というふうに捉えていただけではないと思います。

大地は毎日様々なものを下から支えながら、また私たちは大地を毎日踏んだり蹴ったりしています。しかも大地は作物を育み、育てていく力となるので、地のエネルギーというのは、「安定」であったり、「支える構造」というふうには、アーユルヴェーダでは考えます。

「水」は自然界では、雨や海や川や飲み水であるとか、まさに水が無いと私たちの生命は存在し得ないのです。この水は様々な形になります。凍りついたり、蒸気になったり、サラサラと流れたりするので、アーユルヴェーダでは水を「変化」というエネルギーをもって考えると考えておきます。

「火」は自然界では太陽の光であったり、太陽の力であったり、食べ物を調理する力であるので、根底にもっているのは熱の力であり、物事の形を変えていくので、アーユルヴェーダでは火は「変換」のエネルギーだと考えておきます。

「風」は実際に自然界にあり、ものを動かしたり散らしたりする力であり、アーユルヴェーダでは風は「移動性」を表すと考えられます。

「空」はアーユルヴェーダおよびヴェーダを語っていくときは至って難しいところで、「般若心経」の中にも「空」の言葉があり、非常に深い概念になりますが、ここでは簡単に、私たちが取り巻く環境でいいますと、「空間」と考えることができます。

私たちの環境には大地があり、雨が降り、太陽の日差しがあり、風が吹き、広い空間があります。

私たちもこれらの5つの要素でできていると考えたとき、大地のエネルギーは構造であるとか、支

えるということだと、「筋骨格系」というのが、地の元素が造りこんでいるものだと捉えていきます。例えば骨太の方、体格的にがっちりしている方は、もうすでに地の要素を多めにもっていると考えられます。これが精神的なものにも関係するとアーユルヴェーダでは考えていて、地の要素は忍耐力や動じない力を与えていくと考えていきます。何か不安がわくときは、その方の地の要素が少なくなっていると考えられます。

私たちの中で、水の要素は体液として考えており、マインド面では優しさであるとか涙であるとか、私たちの感情面にとっても関係していると考えられます。

火の力は、私たちの体の中では体温であったり、消化力であり、体温が高めの方や、前に向かって頑張ろうという意志の力は火の要素が非常に関わっており、諦めるのは火の力が弱っているときに起こりやすいと言われます。

風の要素は、私たちの体にとっては、呼吸や血液の循環であり、

マインド面ではアイデアとか閃きとか直感的な力は風が司っていると考えられます。

空というのは私たちの体では、鼻腔、口腔、胸腔というような、詰まった状態ではないところを表現し、マインド面では可能性を表し、空の力の強い方は大いなる志とを持っていたり、あるときは忘れるという行為も空の力が関係すると考えられます。

アーユルヴェーダでは、この5つの元素だけで様々なものをシンブルに見ていくことができますが、最近では私は、アーユルヴェーダならぬ、「ワユルヴェーダ」という言い方をして、5つの元素で様々なものを見ることによって、その下の「カパ」「ピッタ」「ヴァータ」をあまりお話ししないことが多くなってきましたが、取りあえず今日はそちらもお話しさせていただきます。

これはそれぞれの5つの元素がバラバラな働きをしていると、なかなか力が強くなれないので、2つの元素がコラボをします。(図

のミスがあります。↓ピッタは火だけではなく、水と火のコラボです。地と水が一緒になると、大地の乾きに対して水を練っていくと、造のエネルギーとなり、これを「カパ」と呼んでいます。

「ピッタ」というのは、火に水を差すと、火の暴走を止めていくこともできるし、またあるときは、水は液体全般を指し、油も含み、火に油を注げば、火がボウボウと燃えていくという状態も表します。

「ヴァータ」というのは、空間の中で吹く風という感じで、運動のエネルギーを司っているものと考えます。

ここでアーユルヴェーダでは、人というのは元々生まれもった体質として、「カパ」の傾向であったり、「ピッタ」の傾向であったり、「ヴァータ」の傾向であったりと捉えます。

後ほど皆さんにやっていただく「ブラクリティチェック」という問診表は、元々の生まれもった体質をみていくというチェック表になります。

もう一つ「ビクリティチェック」という問診票は、現在のライフス

スタイルで、何が多くなっているかのチェック表です。

図の「カパ」「ピッタ」「ヴァータ」の下のところは、日々のライフスタイルと関わっており、それぞれにアンバランスが起こることを示しております。(次号につづく)



第三九三回関西日本サイ 科学会研究集会報告

α波における右脳と左脳との
コヒーレンシーについて

講師 志賀 一雅氏
(脳力開発研究所)

とき 平成26年11月15日
ところ 大阪科学技術センター

志賀氏は1937年9月東京生まれ。1961年電気通信大学卒業後、松下技研に勤務。1971年東京大学工学部計数工学科研究員を兼務し脳波研究。1983年脳力開発研究所設立。パソコンを

用いた脳波分析システムを開発し、大学や企業の研究所へ提供。アルファ波を指標としたメンタルトレーニング指導で、日本航空、日本IBM、NTTなど、大手企業の脳力開発研修を行う。2008・2009年文部科学省より委託を受け「専門学校教職員、学生のためのメンタルヘルス・脳力開発プログラム」を開発。著書は「全身の疲れがスッキリ取れる本(三笠書房)」など多数。2011年3月に米国HHS(米国保険社会福祉省)より、長年にわたる脳波とメンタルトレーニングの研究、実践に対しGOLD AWARD(金賞)を授与。現在電気通信大学研究員。



ドイツのハンス・ベルガー (Hans Berger 1873 - 1941) が人間を被験者にして初めて脳波を観察して90年にもなり、臨床には盛んに活用されているものの、脳波の発生機序、特に共鳴振動波のアルファ波については未知のままです。

臨床脳波の教科書にはアルファ波は閉眼時に主として後頭部から観察され、目を開けたり考え事をするとき消失するので脳の神経回路があまり活動していないアイドリング状態、つまりリラククスの脳波であるとされています。医学系の専門家は惚けの脳波とまで主張しています。

しかし、アルファ波は開眼状態で前頭部から緊張していても観察されることがありますし、リラククスしていても全く観察されないとともにあります。そのために工学系の脳科学の立場からはリラククスの脳波とは考えず、調和振動波形をしているので、たぐさんの神経回路が共鳴活動しているか、ある特定の神経回路の引き込み現象であると考えます。

また、臨床脳波ではアルファ波を周波数で定義して8 Hz以上とし、8 Hz以下はシータ波と呼ん

でいます。アルファ波とシータ波との境界を8 Hzとしたのはあくまでも便宜上で特別の意味を示していません(睡眠の専門家で7 Hzを境界にしている人もいます)。

大脳は情報処理の器官ですから、電気的な信号の波形に深い意味が込められています。サイン波のような綺麗な形をして振幅が大きくなったときは、たぐさんの神経回路が共鳴活動をしていることを示していますから、これをアルファ波と定義し、共鳴の崩れた波は振幅が小さく複雑な波形になりますからベータ波とし、トリガー信号をシータ波と定義すると分かりやすくなります。

このように決めてもベータ波は12 Hz以上ですし、シータ波は8 Hz以下になります。問題は7・8 Hzのところは強い調和振動が観察されるのでシータ波と云わずにアルファ波と表現したいのです。そこで、アルファ波帯域を3つのゾーンに分けて観察してみます。10 Hz ~ 12 Hzは、振動が速いのでファストアルファ波と呼ぶことにしましょう。これは緊張した集中状態のときに観察されます。ストレスを伴いますので波形が崩

れてベータ波になりやすいです。ヨガのアーサナで強く現れます。ビギナーはすぐにベータ波になりますがエキスパートは持続でき、サバアーサナで周波数が低くなります。

10 Hz ~ 9 Hzはアルファ波の中央部分ですからミッドアルファ波と呼ぶことにします。この波が観察されるときはリラククスした集中状態で、頭は冴え、身体は柔軟に動き、さまざまな能力が遺憾なく発揮できます。

この状態からさらにリラククスが深まると9 Hz ~ 7 Hzのゆっくりとした振動になり、スローアルファ波と呼ぶことにしました。意識は低下し、寝てはいないけども思考は働かず無意識状態になります。催眠のトランス状態と同じです。

この7・8 Hzは覚醒状態と睡眠状態との境界領域で、シユーマン共鳴の7・8 Hzとも合致しています。成層圏のバンアレン帯のプラズマ振動が7・8 HzであることもNASAのアポロ計画で宇宙衛星を打ち上げたときに実測されましたので、これらの合致には深い意味があると思います。

右脳と左脳との脳波共鳴

右脳と左脳とが10 Hzのミッドアルファ波で共鳴しているときは思い通りに動作表現ができ、問題解決の妙案も閃いて知的活動がうまくいきます。ところが7・8 Hzのスローアルファ波で共鳴すると意識は低下しますがESPやPK現象が強く生じます。「気」の交流も激しくなります。

指笛の名手Memi Graceさんは、指笛を吹いているときに神からのお告げをいただくそうです。神のお告げは主観ですから計測できませんが、指笛は収録できますし脳波も測れますから相関分析が可能です。結果は期待通りでした。

始めのリラククス状態では右脳と左脳の脳波は10 Hzでコヒーレントでしたが指笛を吹き出すと次第に7・8 Hzでのコヒーレント状態が多くなり、それに伴い指笛のビブラートが7・8 Hzになったのです。このときから周辺に野鳥が集まってきて喧しく囀りだしました。ひよつとすると鳥の脳波が7・8 Hzで共鳴したのかも知れません。

オペラ歌手の柏田ほづみさんも歌っていると鳥が集まり、ホウエー

ルウォッチングでは歌で鯨を引き寄せたそうです。

ほづみさんが茨城県の御岩神社に奉納演奏をするということ現場で脳波測定と歌の収録を行い分析したところ、同じような結果が得られたのです。閉眼で安静状態では10Hzで右脳と左脳との脳波はコヒーレントになっていました。歌が始めるとすぐに7・8Hzの共鳴が起きます。このときの歌にも強いビブラートがかかり、ビブラートの周波数分析をしますと7・8Hzになっていました。声に脳波が乗っていることになりました。そして鳥が寄ってきます。

バンアレン帯の7・8Hzのゆらぎは地球上に生命が発生する前から存在していたわけで、7・8Hzのゆらぎの中でたんぱく質が合成され、DNAができ、細胞が生じて生物進化してきた事を考えると、人も鳥もクジラも7・8Hzで共鳴し合う構造なのかも知れませんね。

釈迦の動物絵図は地球上のあらゆる生き物が共存共栄していることを示していますが、7・8Hzの共鳴なのでしょうか。このゆらぎには情報が含まれますからアカ

シックレコードでもありますね。人と人との脳波共鳴だとすれば2人の脳波も共鳴するはず、と云うことで鍼灸治療における脳波も計測してみたいところ見事に的中しました。

鍼灸師と患者さんがリラックスした状態での脳波は相関がありませんが、触診した段階では10Hzでときどきコヒーレントになり、鍼をたてようとしたら7・8Hzで強く共鳴しました。鍼をたてずに手かざしてみても同様に7・8Hzで共鳴したので、指圧やマッサージ、エステや占い、催眠誘導なども同様に脳波共鳴が起きているのではないかと思われまますので実験を続けています。

また、人と人との脳波共鳴では、気が合う、気になる、気を入れる、など日本人の感覚には「気」の概念がありますが、これもお互いの脳波が7・8Hzで共鳴しているのではないかと思われまます。

右脳と左脳との脳波が7・8Hzで強く共鳴すると「気」の出入りが強くなり、気がする、気になるなどのESP感覚、気を入れるとPKなど作用力が働くと思われまます。

残念ながら科学では「気」の定義がないのでエビデンスが得られませんが、7・8Hzのゆらぎが「気」の実態ではなからうかと考えています。(志賀一雅氏)

☆ ☆

気と脳波、シューマン共鳴、鳥のさえずりなど興味深い話であった。

当日の参加者は会員15名、非会員19名、合計34名でした。

講演記録テープは2000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三九四回関西日本サイ科学会研究集会報告

手相の神秘と科学

—脳の活用で手相が変わる—

講師 高峯 秀樹氏

日本意相学研究会(手相研究)

代表

とき 平成27年1月17日
ところ 大阪科学技術センター

高峯秀樹氏は1932年神奈川県生まれ。早稲田大学第一商学部卒、(株)大丸入社。本社営業、宣伝各企画担当部長。主な所属団体は医療ボランティア、骨そしょう症、生活習慣病ネットワーク理事、健康セミナー手相コーナー担当、俳誌「天弓」主宰 著書 未来を知る手相の科学



最近若い女性だけでなく、高齢者が手相診断に来るようになった。残りの人生をいかに生きるか。右脳はイメージ、左脳は理屈を司ると云われる。イメージは脳に絵を

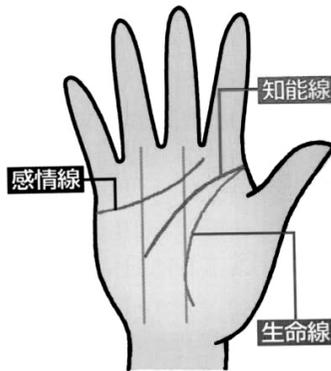


画くこと。油絵、書、俳句等を始める。と手相、特に左掌の手相に顕著に変化が現れる。「掌は脳の外部表現」である。三年余の医療セミナー手相診断成果を報告した。

手相への関心が高齢者に広がる。手相は若い女性の楽しみだった。ところが最近高齢者が気軽に手相診断に来るようになった。残り少なくなった人生をいかに生きるかがテーマである。アドバイスは右脳の活用で、医療セミナーで手相診断する現場からレポートする。

①手相技術にも時代に合った見方が必要。

手相術の歴史は事例の積み重ねによる統計的アプローチが主流である。私は哲学者カントの「手は頭脳の延長である」をヒントに「掌は脳の外部表現」を仮説として時代に合った論を考える。又、科学的アプローチの一環として数運学を活用して未来をアドバイスしている。



②右脳の活用でピカソのように元気で長生き。

人生の楽しみは元気で長生き。右脳はイメージ、左脳は理屈を司ると云われる。イメージは脳に絵を画くこと。油絵、書、俳句等を

始めると手相に変化が現れる。左掌の手相に顕著である。自身の25年を省みて手相の神秘に驚く。現在では脳に関する専門家が脳の活用法を説いている。

(1) 顔の顎角張る人は晩年運
(2) 両耳の下に付くほど進化する
(3) 吹出物急に出る時用心を
(4) 根柢なく性格判る血液型
(5) 星占い12星座で座談かな
(6) 身長に比し指長きは保守的
(7) 生まれ日で変化の起こる年予測

(8) 縦線は運氣盛大横停滞
(9) 6本の線で読み取る手相術
(10) 生命・知能・感情線は遺伝にて
(11) 運命・太陽・財運線は後天的
(12) チンパンジー 人との違い知能線

(13) 知能線短き人は即断で
(14) 知能線下へ流れれば愛に生き
(15) 生命線大き弧なれば絶倫で
(16) 感情線短き人はクールにて
(17) 感情線余り長きは嫉妬深し
(18) 運命線中指に向け延びてよし
(19) 太陽線長きはモチモチ期待出き
(20) 財運線入りと出の差の差引が

(21) 結婚線一本長きが理想にて
(22) 結婚線伸び行く先で運変わる
(23) 結婚の相性運勢重ね見る
(24) ビジネス運運命線を確と見る
(25) 運勢の改善大脳活性化
(26) 運命の改善難し修業要り

☆ ☆

手相は脳を写しているという。その脳は自分の未来を反映している。脳が変化すれば手相も変わるらしい。脳を鍛えることで自分の未来が変わるといふことである。

当日の参加者は会員12名、非会員11名、合計23名でした。
講演記録テープは20000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。
関西日本サイ科学会会長
河野 明夫



火山爆発VEI 1に予知が変更されていた。この変化を重大なものと認識していたならば、その時にその火山爆発を事前に予知できていたことになる。

そのためには、予知することを仕事として、その日に朝からこまめに真偽判定実験を繰り返していたならば、その火山爆発を事前に把握できたことになる。ただし、一日中常に真偽判定実験を繰り返している必要があること、およびそれを予知することで新たな予知変更を誘導しないとの条件がつかう。

この火山爆発は、2.1に示したように、2014年9月27日10:50の時点で魂と肉体が分離して、起こる確率が一番高いと予知された年月日が2024年1月25日から大幅に前倒しとなったものであり、しかも確率が一番高いと予知された年月日が魂と肉体で異なっていた。魂と肉体が離れたり、寄り添ったり、合体したりしながら、起こる確率が一番高い年月日時刻と起こる確率がゼロでない期間時刻が完全に一致した11:53にそれが現実となり、御嶽山は火山爆発したことになる。

したがって、現在の予知のレベルでは、2014年9月27日11:14の10秒前に火山爆発を予知できることになる。約39分前となる。

3. 2015年に起こる確率が一番高いと予知された天変地異

2015年7月3日非常に大規模火山爆発 VEI 5

桜島火口A、桜島火口B

2015年7月4日放射能事故 川内原発

2015年6月4日超巨大地震 M9.0

東京都江東区 深さ45km

2015年7月3日やや巨大規模火山爆発 VEI 6

富士山白山岳新火口

2015年11月29日超巨大地震 M9.0

東京湾中央 深さ5km

2015年11月30日津波

東京都沿岸 25m、千葉県沿岸 25m、

神奈川県沿岸 25m、静岡県沿岸 20m、

愛知県沿岸 15m、茨城県沿岸 15m

4. あとがき

2014年9月27日に起こった御嶽山の火山爆発の予知の推移を示し、その検証において、それを予知できなかった原因を明らかとした。また、真偽判定実験を一日に何度もこまめに行っていたらその予知は可能であったことにも言及した。天変地異には魂と肉体があることを明らかとした。起こる確率が一番高い年月日と起こる確率がゼロでない期間などを予知することが重要である。2015年に起こる確率が一番高いと予知された天変地異(地震2件、火山爆発3件、放射能事故1件、津波)について、起こる確率が一番高い年月日を示した。

霊が関係した天変地異が予知されると、それだけでそれを変更させるキッカケともなる。そして、その予知を知らされた人々がそれを認識して、それが起こらないようにと念願する時、その意識は宇宙全体にゆきわたり、計画されていた天変地異が回避される場合がある。本研究を発表することはこのような効果がある。皆様の多くの方々の祈りにて、この危機的な状況を是非回避してほしい。さらに、多くの方々にこの情報が知られてその効果が増幅することを祈っている。

この研究が印刷され配布された後には、それらの予知が現実となるのか変更となるのか回避されるのか明らかとなってくる。しかしどのようになったとしても、このように一度、予知された天変地異は完全に解消されない限り、いずれそれらは起こってしまう。

私たちは、宇宙のありとあらゆるものにつながっている永遠の存在であり、いつか関係しあう仲間であると認識して慈愛を真に学ぶことが求められている(参考文献参照)。

最後に、貴重な御指導に対して、安部賢司氏に感謝申し上げます。

参考文献

小林正典、サイ科学、Vol.36、pp.56-63、2014

(肉体)(魂) 2015.12.24に起こる確率が一番高い
と予知された大規模火山爆発 VEI 4

起こる確率がゼロでない期間

(魂) 11.11 VEI 4～2015.2.6 VEI 4

(肉体) 11.11 VEI 4～2015.2.6 VEI 4

魂と肉体が合体

2014年11月10日17:25時点

(肉体)(魂) 2024.1.25に起こる確率が一番高いと
予知された大規模火山爆発 VEI 4

起こる確立がゼロでない期間一番早い場合

2014.11.10 17:25 : (肉体)(魂) 11.12 VEI 4

その後この期間は変更を繰り返して、

2015.4.1 : (肉体)(魂) 2015.7.3 VEI 4

2.2 御嶽山の火山爆発の予知の検証

2014年9月27日に起きた、御嶽山の火山爆発の予知について、私が最初に予知できたのは、2014年2月27日のことであった。その当時は、天変地異には魂と肉体があるとは認識していなかった。

その後、2014年10月2日にレヨコンプを用いた遠隔治療に協力することになった。私の役目は遠隔するための基本周波数を真偽判定によって見つけてそれを知らせることである。その効果を検証している過程で、実験の判定結果と現実との乖離の解明から、魂と肉体の両方の遠隔治療が必要であることがわかっていった。それがキッカケとなり突然、2014年10月17日13:30ころに、天変地異にも魂と肉体があるのではないかとのインスピレーションが湧き上がった。2014年10月18日に天変地異にも魂と肉体が存在することがわかった。

2014年11月26日半蔵門で開催された未知領域研究所の研究討論会において、その代表である安部賢司氏から、私の天変地異の予知は霊(Spirit)が関係したものに限定されていて、純粹な自然現象としての天変地異は予知できないはずである、と指摘された。また、霊が関係した天変地異では犠牲者が多数であることが特徴であるとも指摘された。霊が関係していない自然

現象としての天変地異を私は予知できないこと、霊が関係している天変地異を私は予知できることを、真偽判定実験にて確認できた。

さらに、2015年3月2日には、起こる確率が一番高い年月日や起こる確率がゼロでない期間などを予知できるのではないかとのインスピレーションが突然、湧き出した。私はそれらを予知できることが、真偽判定実験にて正しいと判定できた。

2.1に示した結果をもとに、2014年9月27日に火山爆発した、御嶽山に関するそれまでの予知を検証することにより、その年月日を予知できなかった原因について考える。

2014年9月27日時点に予知されていた年月日(再実験前)は、2.1で示した起こる確率がゼロでない期間の一番早い場合と一致していることがわかった。起こる確率が一番高い年月日と起こる確率がゼロでない期間の一番遅い場合は予知されていなかった。

2014年9月27日の朝(10時ころ)の真偽判定実験では御嶽山の火山爆発の予知は前日からのものと変更はないとなっていた。すなわち、2014年8月30日時点で予知した2014年12月24日中規模火山爆発 VEI 2であった。

ところが、2014年9月27日11:53に御嶽山は火山爆発を起こした。

真偽判定実験は朝に行い、翌日まで実験は行わないことが多い。そのために、つぎに再掲載するような2014年9月27日に起きていた予知の変更を把握できていなかった。

2014年8月30日時点

12月24日中規模火山爆発 VEI 2

2014年9月27日10:50時点

9月27日11:14小規模火山爆発 VEI 1

2014年9月27日11:14の10秒前の時点

9月27日11:53小規模火山爆発 VEI 1

2014年9月27日10:50になって、12月24日中規模火山爆発 VEI 2から9月27日11:14小規模

御嶽山の火山爆発の予知の検証と天変地異の予知

小林 正典

1. まえがき

天変地異を予知することにより、多くの人々の命を救うことを使命と考えて、2012年12月3日から毎日実験を継続していた。そのような最中に、2014年9月27日に御嶽山が火山爆発した。その朝に実験した予知では、御嶽山の火山爆発は2014年12月24日であった。

本研究は、その火山爆発の予知を検証することにより、その年月日を予知できなかった原因を明らかとしている。さらに本研究を可能とした3つの気づきについて、そのキッカケも示して説明している。

本研究は真偽判定実験(参考文献参照)により得られたものであり、2015年に起こる確率が一番高い天変地異の予知をも示している。

2. 御嶽山の火山爆発

2.1 御嶽山の火山爆発の予知の推移

ここでは、御嶽山(35°53'34"N, 137°28'49"E)の火山爆発の予知に関する変化の推移の概略を示す(2015年3月6日までに到達した真偽判定による再実験結果)。

2014年2月27日時点 起こる確率が一番高い年月日(肉体)(魂)2024年1月25日に中規模火山爆発VEI 2(VEIは火山爆発指数)

起こる確率がゼロでない期間一番早い年月日(一番遅い年月日は、起こる確率がゼロでない期間の中央の年月日が、起こる確率が一番高い年月日2024年1月25日となるように決まっているので省略する。)

2014.2.27時点(肉体)(魂)2014.3.4 VEI 2

その後この期間は変更を繰り返して、

2014.8.30 : (肉体)(魂)2014.12.24 VEI 2

2014.9.27 10:50の時点で魂と肉体が分離

2014年9月27日10:50の時点 起こる確率が一

番高いと予知された年月日時刻

(魂)2014年9月27日11:53 VEI 1

(肉体)2014年12月24日23:59 VEI 1

起こる確率がゼロでない期間時刻

2014.9.27 10:50時点

(魂)9.27 11:14 VEI 1~9.27 12:32 VEI 1

(肉体)12.24 23:59 VEI 1~12.24 23:59 VEI 1

2014.9.27 11:14の10秒前 魂と肉体が合体

2014年9月27日11:14の10秒前 起こる確率が

一番高いと予知された年月日時刻は

(肉体)(魂)2014年9月27日11:53 VEI 1

起こる確率がゼロでない期間時刻

(肉体)(魂)9.27 11:53 VEI 1~9.27 11:53 VEI 1

起こる確率が一番高い年月日時刻と起こる確率

がゼロでない期間時刻が完全に一致した。

御嶽山はその11:53に火山爆発した。

2014年9月27日14:50時点 新たな予知

(肉体)(魂)2014.12.24に起こる確率が一番高い

と予知された大規模火山爆発VEI 4

起こる確率がゼロでない期間

初めから魂と肉体が分離状態

(魂)9.29 VEI 4~2015.3.19 VEI 4

(肉体)12.24 VEI 4~12.24 VEI 4

その後この期間は変更を繰り返して、

2014年10月14日18:00時点

(魂)11.11 VEI 4~2015.1.30 VEI 4

(肉体)12.24 VEI 4~12.24 VEI 4

2014年10月17日13:30時点

(肉体)(魂)2015.1.10に起こる確率が一番高いと

予知された大規模火山爆発VEI 4

起こる確率がゼロでない期間

(魂)11.11 VEI 4~2015.3.9 VEI 4

(肉体)2015.1.10 VEI 4~2015.1.10 VEI 4

魂と肉体が寄り添う

2014年11月10日15:00時点

水膜を意味しており、ここには強い表面張力がある。別報で述べた様に、近赤外線は水と親和力が高いので、イオン・ボールは噴霧水滴(キリ状)に急速に吸収される。また図1(b)、(c)に含まれるエアゾール(埃、微細塵)は、帯電しており、オーブの核になる可能性が高いと判断している。

サイ(気)は、電子、陽電子、微細身素粒子(プラナー)群から構成されている。電子は空気中でも割合に安定に存在しており、陽電子は宇宙線や各種の γ 線照射(自然放射線等)によって得られる。さらに、プラナーはエーテル(エネルギー)類似である。つまり、サイ(気)は、周波数(波長)の異なる光子群の集合から構成されているが、素粒子類似の性質を持つ(電子群、別報)ので、観測・測定する以前は、その存在は不確定である。

3)「たまゆら」の形成と内部模様

大気イオン・ボールは、ほぼ近赤外線量域の周波数を保ちながら、回転しながら進行・増大しているが、陰と陽の巴型の組合せの絞り込みによる両者間の押合いの力(エネルギー)がほぼ飽和する(変曲点)まで活性化させた時に零場が出来る。つぎに、これが点状になった時を零点と呼ぶ。なお零点はマクロ現象がミクロ現象に変換する箇所でもある。ここに「たまゆら」の核が形成され、撮影者から放出されるサイ(気)と核が共振・共鳴(同調)して「たまゆら」になる(生起する)、と推定している。

「たまゆら」は、外部からの光エネルギー(例、フラッシュ光)の助けにより、次第に進行してカオス・アトラクターを画き、オーブ(たまゆら)の円形内の諸模様(表情)を形成する事になる。カオス・アトラクターの内容(模様)を決めるものは、未知なる存在(SG)であろう、と推定している。

4) 実験値との対応

川崎利男ならびに佐々木茂美らの実験によると、(1)スプレーによる水滴(噴霧、キリ)が蒸発

して消える頃にオーブが発生する。水滴は直形約2mm以上になると、重さがあるので空中に留まる事は出来ない、と言われている。したがって、上空に浮かんで写っている約2mm以上の大直径の乳白色球体(内部模様が無い)はオーブ(たまゆら)である可能性が高い。(2)雨降り時に写真をとると、多数の微小白点が写る場合がある。円内に模様が無いのは多分雨粒であろう。同時に写る大中小直径で内部模様(表情)のある乳白色円形は多分、オーブ(たまゆら)であろう。(3)空間に浮かんでいるオーブ(たまゆら)と思える乳白色発光体をみる。ヘイロー(Halo)は均一で、短く、円形内部は半透明で明るく輝いている。この輝きが、フラッシュ光による反射光に依るものか、または、原子内の電子の移動に基づくエネルギー緩和発光に依るものか、さらには、彩度、明度、色相、がどの程度か。これらを測定し、比較検討する事が出来れば、真のオーブ(たまゆら)か、または雨滴の反射に依る偽オーブか?を判断することが出来るだろう。(4)空中に写される水滴(偽オーブ)は、小直径で乳白色発光体で不透明である。直形は約2mm以下であり、ヘイロー(Halo)は不鮮明、円形内部に模様(表情)は無く、不純物が含まれているもの以外は、ほぼ均質である。

討 報

佐々木先生の今回のレポートにもお名前が挙がり、長年のオーブ研究で皆様もよくご存知の川崎利男氏が2月3日に心臓の病で亡くなりました。

日本サイ学会の全国大会や宇宙生命研究分科会でオーブ写真についての研究発表を沢山されていて、今後の研究の進展が楽しみでありましたので、本当に残念です。

心からご冥福をお祈りいたします。

ものを陽イオンボール(電子に相当)とし、下向きで右方向回転のものが陰イオンボール(陽電子に相当)になる一対を想定する。基盤に成るのが陰電子、陽電子のスピ対とバイオホトン(プラナーナ、エーテル体等のベクトル表示)の集合体である 図1の (a) 参照。これをオーブ・スピン対群と仮称する。中でも、周波数が近赤外線域に概当するもの(活性化エネルギー、約1.5eV)を対象にする。図の陰陽の一対は、右方向回転の巴形状組合せ 図1(a) であるが、当然の事として、左方向回転、さらには、裏表、左右、その他の様々な組合せ群から形成されている。全体として中和して、集合している場合を 図1の (b) 参照。オーブの単位体(イオン・ボール)という。さらに、このイオン・ボールが大量に集合したものを、通称 図1(c) オーブと言う。なお、以上の説明には電子を用いたが、実際には、光子群の組合せとして存在するのであろう。

図1(a)のオーブ・スピン対群は、オーブ 図1(c)の基盤でもある。つまり「オーブ」は電子、陽電子、生命体(プラナーナ)群から構成されている。電子は空気中でも割合に安定に存在しており、陽電子は宇宙線や各種の γ 線照射(自然放射線等)によって得られる。図1の電子、陽電子の両側に配置されているベクトルは、生命体(人類、植物等)から放出されているプラナーナ(微細身素粒子、エーテル体、バイオホトン)を意味している。換言すると、オーブ・スピン対群は、周波数(波長)の異なる光子群の弱い結合(集合)から構成されている。したがって、素粒子類似の性質を持つ(電子群、別報)ので、観測・測定する以前は、その存在は非局所的・不確定である。

空気成分の電離とエアゾール(埃、微細塵)によって形成された図1(b)の大気陰陽イオン・ボール(オーブ)が、回転によって絞り込まれてゼロ場(ゼロ点)が形成され、そこに「たまゆら」の核ができる。撮影者の変性意識状態(ASC)時に皮膚から放出されるサイ(気)とオーブ上の核が同調(共鳴、共振)して「たまゆら」になる。そ

して、カオス・アトラクターを伴って成長して模様(表情)になり、写真に写る事になる。大気陰陽イオン・ボール形成とオーブは物理現象である場合が多く、これにサイ(気)が共鳴・加算されて「たまゆら」(マクロPK)になる、と判断・仮定している。

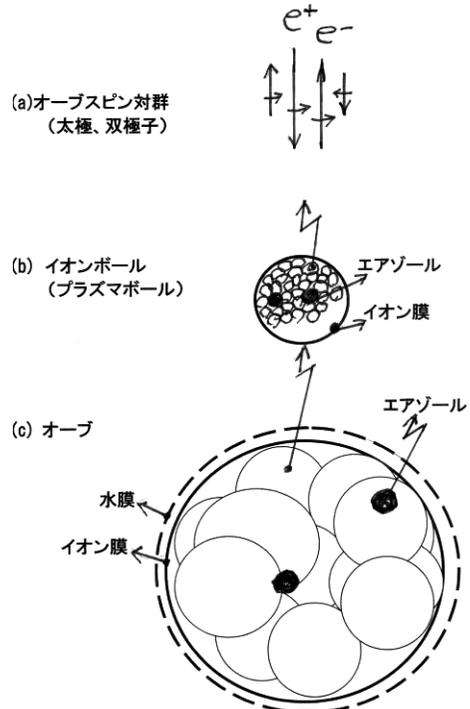


図1. オーブのモデル(仮定)

2) オーブ・モデルの提案

図1にモデル(仮定)を示す。図1(c)がオーブ、(b)がイオン・ボール(プラズマ・ボール)、(a)がオーブ・スピン対群(太極、双極子・巴型)である。ただし、(たまゆら) = (オーブ) + (自己・サイスピン対群)となる。ここに(自己・サイスピン対群)とは、撮影者自身の「個人的なサイ(気)」である。なお、サイ(気)は図1(a)のオーブ・スピン対群と同種・同類である。

図1(b)において、オーブが球形になるのは、イオン・ボール間に働く引力によって凝縮し、それぞれの表面に張力が働き、表面積が一番小さくなるのが球形である、からであろう(図の大円実線)。図1(c)で実線大円の外側の大円点線は



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

オーブ(たまゆら)と霧(水滴)の関係

佐々木 茂美

デジカメ(CCD)を用いて、空気が電離していると思われる薄暗い空間に向けてフラッシュ撮影する。すると、乳白色で小円状のオーブが、ノイズとして写り込んでくる。オーブは、水との親和力が強く、雨の降り始め前や、スプレー噴霧水の水滴が蒸発する後(川崎利男)に写り易い。しかし、現在のところ、オーブの本質は不明である。乳白色の強い発光体で、大直径で円内に模様のない不透明なものが真のオーブである、したがって、半透明で(薄くて)影があるものは偽オーブである、と言う主張がある(精神派)。反面これとは逆に、大中小直径、乳白色で内部模様(表情)がある半透明なものが真のオーブであり、模様の無い小直径の強い発光体は水滴(反射光)である、という主張もある(実験派)。これらの見解は潜在しており、いまは、特に議論されてはいない様子であるが、研究を進める時の(対立を呼ぶ)問題点になっている。本稿では、これを総合的に解釈するため、ならびに、オーブの存在理由や円内模様と水滴との関係を検討する為のモデル(仮定)を提案し、考察を進めることにした。

1) オーブの形成過程の推定

地球の表面付近に存在する大気(空気)成分は、容積比で、窒素分子(約78%)と酸素分子(約21%)が大部分を占めており、水蒸気(H₂O)は僅かに0.0~3.0%、その他として二酸化炭素

とオゾン等がある。中でも水蒸気は、季節や地形による変動がかなり大きいと聞く。大気中の水蒸気が多くなると、凝固して雲や雨になるが、凝固には核が必要であり、これをエアゾール(埃、微細塵)が分担している。注意すべきこととして、水分が少なくなると、オーブは極めて出現しにくくなる。

地球を取り巻く空気の一部は、宇宙線の照射のために電離していて、上層部は陽(+)、地表部は陰(-)に帯電している。したがって、地球は電磁気的には巨大な球形・地球コンデンサー(約30万V)として存在している。通常は、地表部は陰に帯電しているが、厚い雨雲がやってくると、雨雲自体の上側は陽(+),下側は陰(-)に帯電している。この時、空気中の陰イオン群と陽イオン(荷電粒子)群間に対流が生じ、両者が交流して、大気陰・陽イオン群が形成され易くなる。雨が降り始めると、電離はさらに進む。

水(H₂O)を電離するとH(陽イオン)、OH(陰イオン)、電子(-)になる。いわゆるプラズマであるが、これを大気電気学では、大気陽イオン、大気陰イオン、電子と呼ぶ。大気イオン群の中にエアゾール(埃、微細塵)を入れると、大気電界やイオン間の相互作用などにより、大気陽イオン・ボールと大気陰イオン・ボールの組合せができる。いま、ベクトルが上向きで右方向回転の



サイジヤナル

月刊
27-7・8
第422号

日本サイ科学会 平成 27 年 7 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリステック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龜町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
---	---	---	--	---

七月本部例会のお知らせ

見えない世界の情報を如何に活用するか？

講師 飛沢 誠一氏

一般的に人は普通見える世界のみを信じ、身の回りに起こることは全て偶然であると思いい行動しています。しかし身体の健康もこれから起こる事や自分の思考パターンまで、全てはアカシックレコードという宇宙のデータベースにデータとして収納されています。つまりアカシックレコードが分かると全てが分かるといふ事になるのです。

幽体の波動とエネルギーを上げる事で比較的簡単に誰でもアカシックレコードにアクセス出来る方法が分かりました。このアカシックレコードとはどんなものか？また最近のリーディング事例からアカシックレコードにアクセス出来るなどの様な事が分かるのか？またどの様にアカシックレコードを活用して自分の人生を改善して行くのか？について様々な側面

(生活、健康、仕事、社会等) から解説させていただきます。

最後に簡単に出来る現在・過去・未来のアカシックレコードのリーディング方法(気のオーリングテスト)について紹介致します。

※長年一流企業のエンジニアをやりにながら、見えない世界に興味をもち、いろいろな技法を学び自分独自のヒーリング法を開発した方で、健康改善に興味のある会員の皆様は、ご友人、知人をお誘いして、ぜひご参加願います。

◎飛沢誠一氏のプロフィール

某一部上場企業にて31年間技術開発として各種製品を開発に従事、研究所長まで務めた。23年前に不思議な体験を通じてヒーリング、チャネリング、アカシックレコードリーディングを体得。会社勤務中から、人体から土地、建物などのヒーリング・浄化方法など開発実践してきた。3年前このレイキ気功技術開発とその施術・指導に専念するため会社を設立、高次元レイキ気功を開発した。現在はその技術指導・普及活動に力を注いでいる。

※今月号の記事

- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎九月本部例会のお知らせ
- ◎全国大会発表者大募集
- ◎第25回宇宙生命研究分科会予告
- ◎関西サイ科学会七月九月研究集会のお知らせ
- ◎九州サイ科学会七月九月研究集会のお知らせ
- ◎中部サイ科学会九月例会予告
- ◎平成26年4月本部例会報告I
- ◎平成26年5月6月本部例会報告
- ◎第三九五回関西サイ科学会報告
- ◎第三九六回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎水滴(霧)の消失後にオーブとプラズマ・モイドが出現する
- ◎宇宙に暗黒物質は存在しない

日時 平成27年7月11日(土)
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と
 一般の御寄付御礼
 (6/4受領分まで)

- 金二万円也 金子 輝夫 様
- 金一万円也 飯見 勇 様
- 金一万円也 岩谷 好子 様
- 金一万円也 信太 民久 様
- 金一万円也 赤松 洋一 様
- 金一万円也 牧野 邦子 様

※8月本部例会はお休みです。

九月本部例会のお知らせ

あなたの人生が楽しくなる
 インド占星術

講師 山田 欽子氏

インド占星術とはサンスクリット語でジョーティッシュユと呼ばれ、光の知識という意味です。インドの英知、ヴェーダの科学の一つです。

インド占星術の起源は正確にはわかっていませんが、五〇〇〇年前に初めて古代ヴェーダ文献「パ

ラーシヤラ・ホーラ・シャストラ」に記されました。そもそも占星術とは、「人がこの世に生まれたとき、どこの星座に

どの惑星があつたか」で占います。この人が生まれた瞬間の天体の配置図を「出生図」といいます。

この出生図に込められた意味を読み解くことで、その人の生まれ持った性格、家族、恋愛・結婚、仕事、学び等の特徴、さらに人生における使命などもわかります。

この講演では、そもそもインド占星術とは何か？ 西洋占星術との違いは何か？ そしてインド占星術の魅力と特徴についてご紹介をいたします。また有名人のケーススタディー等も使い、インド占星術の魅力を余すところなくお伝えしたいと思っております。

※近年インド占星術への関心が高まり、それを学ぶ方や運命鑑定を受ける方も増えております。山田欽子氏は第一線のビジネスマンから、インド占星術の研究者となり、本格的な占星術のセミナーも開催されており、これからの人生の生き方に大いに参考になるお話が聞けると思いますので、会員の皆様

はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●山田欽子氏のプロフィール

某国立大学経済学部卒業後、大手外資系メーカーに入社。営業・マーケティングの仕事を経約20年経験する。2度の転職で、年収は大幅に上がっても、ただ忙しいだけで、心の充実感が全く得られないことに気づく。そんな毎日に嫌気がさし同僚に相談したところ、インド占星術の鑑定を受けることを勧められる。

鑑定を受け、余りにも当たっていることに驚き、インド占星術をその場で学ぶことを決意。そして今日、講座を開くまでに至る。

日時 平成27年9月12日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

J R 京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

平成27年日本サイ科学会
 第25回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月11日(日)に北とびあ第2研修室にて、開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマは「あの世と多次元世界」が予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは「あの世と多次元世界」に関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・説明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。また、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます。通りましたら8月31日までに

原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。「サイ科学 2014」の編集後記をよく読んで、応募願います。

第25回宇宙生命研究分科会

第9回 UFO・オーブシンポジウム

宇宙人類の自覚…第2コペルニクス革命(2)

昨年の「第2コペルニクス革命…地球人ひとりぼっち説からウチユウジンでんこ盛り説へ」に引き続き、第2弾として、「宇宙人類の自覚」がテーマ！

アカデミズムでも宇宙人類学が提唱される中、本シンポジウムでは宇宙人との交流を前提に、さらに一歩進んでゆきましょうか？

「われ思う、ゆえに宇宙人あり」
Cogito Ergo Eureka

日時 平成27年7月26日(日)

10時～17時45分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」

行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 五〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー

学会・太陽の会会員)

一般 一〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

関西日本サイ科学会

七月研究集会のお知らせ

永遠の生命 死んでたまるか、

死は真つ赤な嘘、死ぬのは真

つ平御免、人類は死に完全勝

利した

講師 梶原 和義氏

日時 平成27年7月18日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会

九月研究集会のお知らせ

物質化現象

無から有は生じる

講師 安部 賢司氏

日時 平成27年9月19日(土)

午後3時～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会

七月研究集会のお知らせ

参加者の皆様と懇談会

講師 森安 政仁氏

日時 平成27年7月5日(日)

午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6

問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分

長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

九州日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

参加者の皆様と懇談会

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年9月13日(日)

午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6

問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分

長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

中部日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年9月12日(土)

午後1時～5時

会場 博愛癒院

名古屋市昭和区御器所3・4・21

052・871・9060

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 一〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎

平成26年4月本部例会報告Ⅱ

生命の智慧 アーユルヴェーダ
—アーユルヴェーダから見る
生命のすばらしさ—

講師 西川 眞知子氏

アーユルヴェーダでは、私というものも貴方というものも、普段のライフスタイルも、季節も一日の時間も、様々な私達の行為も、この「地水火風空」の5元素でみていて、それが自分とどれだけ相性がいいのか?逆に自分自身のアンバランスを来すものなのか?というふうにみていくように、いつも生きている状態として、今というところでそれらを見るという見方をしていきます。

「命とは、今この一瞬の躍動の中にある」、ただし本当の私を形作っているものは、変化をしない、この肉体や心を超えたものだという見方もありますので、あとでアーユルヴェーダの生命観にも触れていきます。



構造、骨格である「地」は、「安定感」を司ります。「水」は血液やリンパ液など体液であり、「柔順」「受容」などを象徴します。内臓、消化器と関係する「火」は、「熱」「鋭さ」「変換」の力を象徴します。「風」は、「動き」「速さ」「軽さ」に当たり、神経などと関係しています。「空」はすべてを受け容れる「場」であり、コミュニケーション

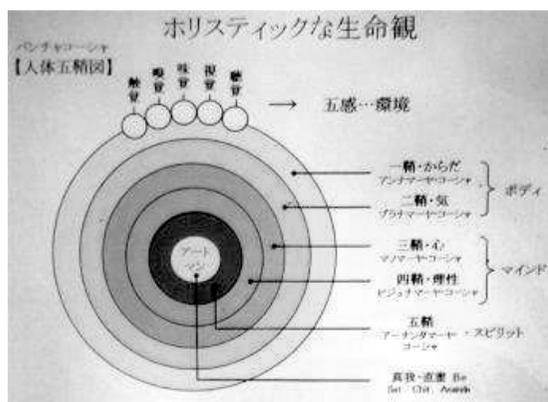
に関係します。

アーユルヴェーダでは命をどういうものだと捉えているのだろうか?それはパンチャコーシャ(5つの鞘)で私達は成り立っていると考え方をしております。5つの鞘の一番外が「体」であり、世界に目を向けますと、黒い鞘もあれば、黄色い鞘もあれば、白い鞘もあります。外側の鞘の一番外は皮膚になり、不思議ですが、外側の鞘で世界では差別も行われていきます。

アーユルヴェーダでは、まず外に出てくる貴方の5つの元素がどんな状態なのかという見方をするのと同時に、実はただ外見だけで人は見定めることはできず、もっと人は深い存在なのだ、という意味もこの5つの鞘の中含まれております。

この5つの鞘の一番外の体は、「アンナマヤ(食物)・コーシャ」と呼び、自分のこの体をどういう食物で満たしていくのか、どういふものをいただいていくのか、はとも重要なことです。そのときに、誰にでもおいしい食物もあります、ただし人によって同じ良い物でも、食べ方であるとか、食べる

タイミングであるとか、食べる量であるとか、食べ合わせであるとか、そのあたりが地水火風のバランス状態によって、この食物の智慧を使って、いただいているということが大切です。



インドでは、一番外側のアンナマヤー・コーシャは馬車に例えており、今だったら車ですが、この一台の車をせっかしくもらったものから、できるだけケアをして寿命を全うするまで大事にして生きていくことが大切です。従って食事とても大事にします。

一番目の鞘(肉体)を動かしているのは二番目の鞘であり、これを「プラナマヤー・コーシャ」と呼び、「気の体」となります。気は陰の気と陽の気があり、それぞれが体に影響を与えますが、これらをコントロールする方法が「プラナヤマ」と呼び、これは様々な呼吸法となります。例えば今、体が冷えていたら、熱のエネルギーを取り入れたり、熱を自分の中から発生させる種類の呼吸法であったり、例えば今、いらいらしているときに火を鎮火させるような呼吸法もあります。

二番目の鞘に内側から影響を与えているのは、三番目の鞘である「マノマヤー・コーシャ」と呼び、それは「心」となります。インドでは、フロイトよりずっとずっと昔から、潜在意識を見つけており、ある人々はそれを「阿頼耶識」と呼んでおります。今から二千年前に書かれたヨーガの本である「ヨーガ・スートラ」第一章第2節に、ヨーガの定義が書かれております。そこに書かれているのは「心の波を静めることが、ヨーガである。」これは、本来の「不動の自己」とつながるとい意味を持ちます。

外側から四番目の鞘は「ビジュナマヤー・コーシャ」と呼ばれ、「理性」であったり、「般若」理知の心(宇宙の理を含む)を意味します。ただ前者の三つの鞘に沢山のアンバランスがあると、「ビジュナマヤー・コーシャ」にゴミが溜まり、理性の誤りを生じて、選択の誤りを生じ(自分をより害するものを選んでしまう)、それが病気になることがあります。

五番目の鞘は「アーナンダマヤー・コーシャ」と呼ばれ、「スピリット(靈魂)」となり、アーナンダというのは、「喜び」を意味します。五番目の鞘は、その中心に「アトマン」を包んでおります。「アトマン」は、私たちの存在の本質であり、これは日本語で「真我(しんが)」と呼んだり、日本古来からの言葉である「直霊(なおひ)」や英語の「Being(存在、本質)」と呼んだりします。

四番目の鞘までは変わるものですが、五番目の鞘は不動の存在となります。我々がどんなに悪いことをしても、アーユルヴェーダでは「人は悔い改めることができる」として、性善説を採ります。ですから、常日頃から自分の中の「地

水火風空」のそれぞれの要素を増やすぎないようにしながら、自分なりのバランスを整えて、四つの鞘までのいい形での変化を楽しみながら生きていく、というのがアーユルヴェーダの一つの生命観になっております。

「アトマン」の性質は、「Sat Chit Ananda(存在・智慧・至福)」という言葉で表され、人間の魂の中心にある不動の存在です。実は私自身が生まれもって心臓疾患を抱えており、読書が楽しみであったのですが、9歳の時に読んだインドの書「バガヴァッド・ギーター」に大きな感銘を受け、現在でも「座右の書」となっております。その中で一番最初に出会った言葉は、次のようなものです。

「真我、本当の自分の魂というものは、この体というものを着ているだけだから、この体というものが古くなったら、洋服を脱ぐようにこの体を私たちは脱ぎ捨てる。でもまた、魂というものは新しい衣を着て、また新たな命で生まれ替わる。」

当時死の恐怖を感じていた自分は、この言葉に大いに勇気づけられました。

アーユルヴェーダで現代を見る

- 流行が早い (ファッション・はやりの言葉・歌 など)
- 短縮路が横行する (コンビニエンスストア・アーココンビニ など)
- 特に都会はアスファルトに囲まれ、起伏した環境
- 身体的、精神的ストレスを受けやすい、不自然な生活
- 挨拶をしない、隣の住人のことは無頓着
- 早食い、立ち食い、食べ歩き
- 深夜までテレビ、パソコンなどで忙しいスピードな情報の摂取

→

アーユルヴェーダの観く、「風」の力の影響が大きい

アーユルヴェーダ的に要素を翻訳すると「ヴァータ」という要素が大

速い・乾く・動く・不規則・冷たい

※この後、アーユルヴェーダの観点からいろいろな解説、健康法が紹介されましたが、その要点を映像のスナップでご紹介致します。

「私たちの本質である魂というものは不変であり、宇宙の摂理を知っており、喜びそのものである。ですから、相対としてのそれと逆の体験こそが、魂の本質を知って行くことになるので、どんな体験も悪いものではないということになります。「ananda(喜び)」は、「あーなんだ、そんな簡単なことなんだ！」で覚えてください(笑)。

環境やライフスタイルに「風」が多いと、五感からその情報が身体に影響を与え、その影響が呼吸の仕方や心に影響を与える

4種「理知」の精 潤りを引き起こす

選択の誤り

- ・外の情報に振り回される
- ・人の言うことにすぐ左右される
- ・自虐行為
- ・道德的、人道的な道から外れ
- ・病氣も引き起こす

五感と三つの精のデトックスは理知の掃除になり、潜在力・内在力を引き出す

それは、人の持つ内在的な力は絶大であることへの気づき、内なる叡智にコンタクトを取る

「風」がもたらす弊害

- ・乾きの質が、身体も心も、バサつきやすくなる
- ・異化作用が心身の消耗を引きお越し老化を早める
- ・冷えの質が、体温を低体温とさせ、燃えにくいからだとする

アーユルヴェーダの病理学では、この軽く、速い、不規則な質が身体下部にたまりやすくなる

- ・便秘・腹部膨満・下半身の冷え・生理不順・腰痛。
- ・神経系、循環器系の経路を塞ぎやすくなる。
- ・不眠・過呼吸・心配・不安。

「風」の過剰に関わると考える

アーユルヴェーダのアンチエイジングはスローなエイジングを提唱

活力素(オージェス)を高めることがエイジングへのケアと考える

過剰な「風」ヴァータを減らすライフスタイル

- ① 幸福な寿命を生きる
- ② 記憶力・判断力・知力が良い
- ③ 心身ともに健康度が高い
- ④ 若々しい行動、考え方、生き方
- ⑤ 光沢がある・色つやが良い
- ⑥ 声をはっきりとして通き通っている
- ⑦ 体力が高く感覚器官の機能が良い
- ⑧ コミュニケーション力が高く、上手に話することができる

現代に渦巻く「風」ヴァータは老化も促進する

- ① 過度な運動
- ② 冷たいものの過剰な摂取
- ③ 身体を乾かすような栄養にならない食べものの摂取
- ④ 健康に反するような性行為 (古典ではあまりに年が離れすぎている相手の接触と書かれている)
- ⑤ 精神的に苦しみむこと (心配事、悲哀、恐れなどから生じるストレス)

食事

食事による満足感と軽快感

食べ合わせ(牛乳、熱いものと冷たいもの)

腹八分目

旬のもの、季節の影響

できるだけ規則正しい時間に食べる、時間に見合った食事量

30回程、よく噛んでいただく

料理を作る時の気持ちと、いただくときの気持ち

長こしょうとんにく (細胞の中の酵素の働きをよくなり、消化を助け)

消化促進剤 (お湯、しょうが)

消化力に見合った食事量

一番大切なこと

アーユルヴェーダの健康をもたらす3つの要素

食事・運動・休息

- ① 人のタイプ(体質)によって必要な要素が変わる
- ② どんなにいいことでもタイミングや人によって加減が異なることを考える
- ③ 人まねではない健康法
- ④ 自分に合った健康法が人を生き生きと若々しい生き方へ道徳苦と考えている

と、そういうことが分かってきま
す。特に気功をやるときは、自分
の意識とイメージだけ（意念）で
何か結果が出ておりおます。



2. 人体と宇宙の全息律

「全息」とは何か。

「全」は全体を表し、「息」は遺
伝情報を表している。つまり、「部
分に全体の情報が含まれている関
係」のことである。

「人間は約60兆個の細胞が集合し
た存在であるが、そのひとつひとつの細胞（部分）に、人体（全体）
の遺伝情報が含まれている」

- ① 人体の局部と人体全体は全息対
応している。
- ② 人間の生理と心理は全息対応し
ている。
- ③ 人間の生理と宇宙（人類社会を

含む）は全息対応している。

④ 人間の心理と宇宙（人類社会を
含む）は全息対応している。

⑤ 人体（生理+心理）と宇宙（人
類社会を含む）は全息対応して
いる。

① ①について、日本人は足裏マッ
サージが好きですが、足の裏は人
体全体と対応しています。

② ②について、元気な体も、病気
の体も実際はあなたの心や心理状
態から造り出されています。肉体
とあなたの心理が、遺伝子のごよ
うに対応しています。

③ ③について、人間の肉体と外部
宇宙も完全に対応しています。一番
分かりやすいのは、女性の生理や
男性でも血圧等に月の影響があり
ます。

④ ④について、人間の心理と外部
宇宙も完全に対応しています。

⑤ ⑤について、例えば日本とブラ
ジルは文化や習慣がかなり違つて
いて、夜に、誰かの家の前で大き
な音で音楽をかけてダンスをした
ら、ブラジルではその家の人々も
外に出て一緒に踊ったりしますが、
日本では家の人が警察を呼ぶこと
になるかもしれません。

3. 多次元意識論のピラミッド構
造

意識には6種類あり、各意識が
層のように重なり合つて構成され
ている。面積は下層に行くにつれ
て大きくなる。

「個人の意識面積は最小であり、
全ての根幹をなす宇宙の面積は最
大である」。



意識を六層に分類し、第一層の
顕意識が海面上に出た島に例える
ならば、その下の五層は潜在意識

となり海面下にある広大な島の土
台から地球につながることに例え
られます。

第1層の「顕意識」は表面意識
となり、自分自身のこと、左脳で
考える部分になります。

第2層の「下意識/前意識」は、
習慣的な動作で、我々が食事する
とき箸も意識しないで使えますし、
自転車も考えなくて運転できます。
武道の達人やオリンピックのトッ
プ選手のスキルは、この分野の意
識にあたります。

第3層の「狭義潜意識」は、心
理学におけるいわゆる潜在意識に
あたります。人間の病気が発生す
る分野であり、また治療にも関係
する層です。

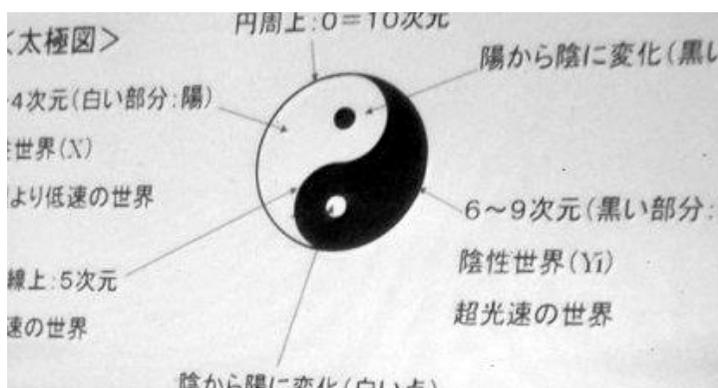
第4層の「超感潜意識」は五感
を超えたテレパシーや遠距離の透
視能力等に関わる層です。人間だ
けでなく、いろいろな生物の意識
とつながる受け身の層です。

第5層の「仕事潜意識」に入る
と自分から相手に影響を与えるこ
とができる、能動的な層です。こ
の層は例えれば、地球レベルとつ
ながる層です。

第6層の「自性潜意識」は、人
間が座禅等で悟りに至る層で、生

まれる前の本来の意識に戻ることになります。これは宇宙意識とながる層です。

宇宙全体を陰陽太極図で表すと以下になる。



我々の実際の世界は基本的に9次元と考えており、太極図の陽の部分(白い部分)は、1~4次元にあたり、光速より低速の世界と

なります。

太極図の陰の部分(黒い部分)は、6~9次元にあたり、超光速の世界になります。

陰と陽の境目のライン上は5次元となり、光速(秒速30万km)の世界となります。

UFOが急に消えたり、急に現れたりする境で光を発するのは、目に見えない6次元の世界から、5次元の光速の世界を通じて、目に見える4次元に出たりします。

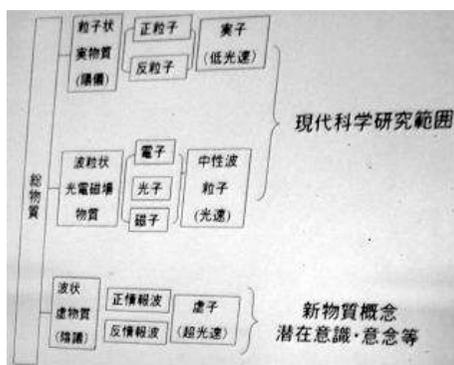
太極図の円周上は、陽の世界の始まりで0次元の世界でもあり、陰の世界の終わりで10次元の世界でもあります。ここがこの理論の一番重要なポイントでもあります。宇宙の原点であり、形のないエネルギーの世界でもあり、意識・意念の本質=虚子といわれるものとも考えられます。

通常の物理学に対して、「陰性物理学」における物質概念及び超光速概念を解説します(下図参照)。

図の3つのグループの一番上の分野は、普通の物理学の概念であり、真ん中の分野は現代物理学の量子力学にあたります。一番下の分野は、現代科学では説明してい

ない分野なので、新物質概念であり、潜在意識・意念に関わる分野と考えられます。

この分野の物質は、波状であり、虚物質となり、太極図における普通の物理学の陽儀に対して、陰儀となります。その元素としては「虚子」となり、超光速となります。



「虚子」は、物質を細かくして

いって、これ以上分けられない一番小さい基本粒子であり、サイズはなく、内部構造はなく、エネルギーの基本元素となります。宇宙全体全ての物の母親、この目で見える物は、全部目に見えない物から生まれます。老子の「無から有が生まれる」という言葉の説明と

なります。

東京大学の佐藤勝彦教授が提唱した「インフレーション理論」↓(解説:インフレーション理論)の大きさは、直径10のマイナスイオン34乗センチメートルという、物質をこれ以上細分化できない究極の粒子といわれる素粒子よりもはるかに小さく、それがインフレーション直後、いわゆるビッグバンの時には、直径1センチメートル以上になっていた)によると、「最初の宇宙は無から生れた」と考えられます。

※最後に参加者全員で、少林気功の実践を体験した。

最初の基本動作…足は肩幅にして立ち、両手は両側から上にゆつくり上げて頭の上で組み、踵(かかと)を上げて手のひらを上方に伸ばしながら空気と共に天からい気を吸い、次に組んだ手と踵を下ろしながら、邪気を足裏から出す感じで息を吐く。これを何回か繰り返す。大事なポイントは呼吸に合わせてイメージを描きながら、ゆつくりとした動作で身体を動かす事です。



第三九五回関西日本サイ 科学会研究集会報告

比較言語学で読み解く記紀が
黙して語らない日本の古代の
真実

講師 坂井 洋一氏

とき 平成27年2月21日
ところ 大阪科学技術センター

坂井洋一氏プロフィール

1953年9月26日茨城県日立市生まれ。慶応大学経済学部卒。映画プロデューサー／バイヤー。作詞作曲家。古代秘史ハンター。日本と世界の文化の架け橋となることをミッションとし、世界の空手ファン向けに本格的空手映画「黒帯」及び「ハイキック・ガール!」を作り好評を得る。作詞作曲家としては日本を代表するヒットメーカー小田裕一郎氏に師事。近年、日本の隠された歴史に興味を持ち、比較言語学をベースに古代日本と古代世界の驚くべき繋がりを明快に解く。

日本は現存する世界最古の立憲君主国。であれば、日本語はかなり古い言葉であるはず。

でも、現状の日本史では、漢字が入ってくる前まで日本には文字も言葉もなかったことになっている。ところが、比較言語学が進化し、縄文時代のものと思われる岩刻文字(ペトログラフ)や縄文土器に文字が彫り込まれているのが発見された! しかもそれらの文字は古代中近東の文字だ。これは何を意味するのか?

六〇〇年前、文字や言葉をもっていたシュメール人たちは1万キロの旅をして縄文日本にやってきたのか?

①まずはクイズから
②1本の映画が導いた古代史への誘い(5年前まで日本史には全く興味なかった)
③日本の古代はむずかしい名前の子
④日本の古代はむずかしい名前の子

ここところ、古代がらみの記念行事が続く(古事記誕生1300年、出雲・伊勢 同時遷宮など)
④古代を国史で解くことのおかしさ。古代には今のようないろんな形はなかった。

各国ごとのスタンドアロンの歴史などない。

⑤古代を解くのにとてもよいものが残っていた! それは言葉! 地名考古学。

それを行使するには、比較言語学というありがたいツールが発達していた。

⑥文字・言葉が文化・文明の尺度だとすれば、その発生はメソポタミア。

発生した文字・言葉はどんなものだったか?

⑦古代を知るには古代のルールを知る。

古代はトーテムリズムとシャーマニズムの世界。基本的に神さまは12柱。

それぞれに数字が当てられた。王様には、政治をつかさどる王と祭祀をつかさどる王がいた。国ではなく、部族ごとに行動し、争ったり、対婚して仲良くなったりした。

⑧世界の4大文明というのも幻想。すべてはひとつの大きなうねりだった。

それが比較言語学によって分かってきた。したがって、中国4千年の歴史などというのも幻想にすぎない。

⑨日本には何回かに分かれて、そうした世界文化のうねりがやってきた。

日本語はたくさんさんの世界の言葉からできている。それが地名人名や方向を示す助詞などでわかるし、古事記や万葉集などでも確認できる。

⑩日本の天皇というのは、どこからどういう経路でやってきたのか?

出雲は5の国、伊勢は50の国。天皇はなぜ一〇〇〇年間も伊勢に行かず、出雲系の神社ばかり行幸したのか?

⑪日本の国史は古代を書かないが中韓の史書から年代を含め伺い知ることができる。

日本には神代の時代の神々の墓がある。

ひふみの歌を歌うことにより周囲の環境(天気など)が激変する経験をした。

音楽と言語は近い関係にある。日本の古代を知ることによって日本文化が分かる。ホツマツタエを勉強した時、記紀を読んだ時よりも感動した(その宇宙的な内容)。

日本の古代の歌（数え歌や和歌）には力がある。日本全国の聖地にある岩に古代の神々や古代文字が刻まれている。ただし、いわゆる日本自生といわれる神々ではない。世界共通の神々や世界共通の祖語が刻まれている。いままでそれに気づかなかっただけ。

アメリカにはアメリカ発見よりも二〇〇年前の遺跡の記録があるとされている。

ケルト文字やフェニキア文字が岩に刻まれている。つまり紀元前のアメリカにヨーロッパの白人たちが入植して王国を築いていたことが分かった！

ホツマツタエに出てくる言葉にシヌメール系の言葉が多い。

1799年 ナポレオンの部下 シャンポリオンがエジプトでロゼッタストーンを発見した。

1899年 漢字の起源とされる甲骨文字が発見された。これにシヌメール文字の解説が進むなか、比較言語学は大きく発展しつつある。

トーテムはある種の生物を神としてあがめるもので、古代の五大トーテムにはおもに牛、蛇、鳥、犬、馬があり、日本の神社には

夫々の名残が残っている。

神社の入り口には「鳥居」があり、手水場には「蛇口」があり、拝殿の前には「狛犬」が二匹おり、スサノオ系の大きな神社には牛象があり、アマテラス系の大きな神社には馬象や実際に神馬がいる！すべて5大トーテムの名残り。



民族には夫々独特の癖がある。

シヌメール族の特色・神様はたくさんいる・ビール好き・歌好き・教育熱心・相撲好き・強調する時コトバを重ねる・契約はすべて印鑑による・資源が乏しいため原材料を輸入し加工して輸出・宇宙や太陽系の全惑星などの知識を持っているなどである。

シヌメール人のうちウル人は牛

をトーテムにし農民が主。ドウア人は蛇をトーテムにし漁民が主。インダス文明もシヌメール語で解明されるなど古代の文化はお互いに関係している

数字の12に関係するもの
1年12ヶ月、黄道12星座、12支、1ダース12個などは5進法と12進法を併用するシヌメール発祥。

各国の語と日本語の共通点
シヌメール語 語が短く日本語同様一音一義が多い。

あゝ水、いゝ5（日本語）
うゝ穀物（日本では宇迦の御霊という穀物神の名に入っている）
えゝ家（東北地方ではいまでも家をエと言う）

エジプト語 スタスタゝ急いで歩く、タタラゝ製鉄を発明したヒッタイト人を指す

古代シヌメールでは自分の国をキエンギといった これは葦原の中ツ国と解される

古代エジプトでは自分の国をケメト（黒い大地）といった。ケメトの子音を並べるとKMT。この子音が入った地名が日本に多い。蒲田、君津など。これはシヌメー

ル人だけでなく古代エジプトからも日本への入植者がいた証拠。縄文人もすべてこうしたオリエントやインドからの渡来人。

彼らは文字も数字も卓越した天文知識や造船技術さえもついていた。旧唐書 日本は元小国倭を併合すとある。

インドから日本への文化輸入品
仏教 数学 紅茶 ヒンズー教
ヨガ 太陽信仰 太陽暦 天文

神 カリテイモ 鬼子母神
ラクユシユミー 吉祥天
ヤマラヴヨ 閻魔
ヴァルナ 水天宮
シャシラデーバ 帝釈天
マーハーカーラ 大黒天
サラスバティー 弁財天

祭りの変遷

ラド・エンジリ↓ド エンジリ↓
ダンジリ↓ダシ
ツタンカーメンの外国展示は日本が最初であった。

シヌメールゝ スメラミコト
縄文土器にはウバラと読める文様がある。

枕言葉には夫々意味がある。例えば「あおによし 奈良の都」の場合、「あおに」は「多くの人の」、「よし」は「集まる」、「ひさかたの」は「沢山の星がある」という意味がある。

☆ ☆

古代の地球人は相互に文化の交流があつたらしい。これが明らかになれば、我々世界観、人生観が大きく変わるであろう。このような研究が更に進むことを期待したい。

当日の参加者は会員11名、非会員12名、合計23名であつた。講演記録テープは20000円送料込み。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三九六回関西日本サイ科学会研究集会報告

日本の目覚めは世界の夜明け

講師 長堀 優氏

一般財団法人 育生会病院院長

とき 平成27年3月14日

ところ 大阪科学技術センター

長堀氏は昭和58年群馬大学医学部卒業、研修医を経て昭和60年横浜市大消化器腫瘍外科学教室に入局、平成5年ドイツ・ハノーファー1医科大学に留学(ドイツ学術交流会奨学生)、平成17年横浜市立みなと赤十字病院外科部長、平成20年横浜船員保険病院副院長、平成27年4月より現職、日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医・消化器がん治療認定医、信州大学医学部組織発生学講座委嘱講師、著書「見えない世界の科学が医療を変える」

◆ ◆
今、世界は大きな分岐点に差し掛かっています。

物質の豊かさや経済効率を追い求めてきた現代社会は、これほど豊かになったにも拘らず、結局は人々に心の安定をもたらすことはありませんでした。将来に目を転

じて、物質もお金も有限である以上、飽くなき欲望のままに求めることだけを考えていては、今の社会、経済システムが長く続くわけはありません。もはや環境も経済もエネルギーも医療もまったなし、いつ破局が来てもおかしくありません。また、ある国を一方的に悪と決め付け、制裁と称した戦争を引き起こす、こんなことが人道的に許されるはずはないのです。そのことに多くの人は気づいていないはずです。

あの2011年の大震災以降、自分たちの命が有限であり、明日の命などは保証されたものではないことを、日本人は骨身にしみわたるほど痛感させられました。これまで我々が信じてきた「最新の科学技術」というものが、大自然の威力の前にかに無力で危ういものであるかについても思い知らされたのです。地震のみならず、台風や火山の爆発など、この日本列島は、全てが失われるような数々の激烈な自然災害に翻弄されてきました。その中で生き抜くには、日本人は過酷な運命を受け入れ耐えるしかありませんでした。そして、人の命が有限である以上、

その事実の前では必要以上の財産は全く意味をなさない、という教訓をDNAの奥深くにまで刻み込んできたのです。我々は、所詮大いなる存在から生かされていることにすぎないのですから、「生きているだけで奇跡なのだ」と気づくことができれば、生かされていることへの感謝と我々を生かしてくれる存在への絶対の信頼感が生じてきます。そしてその感謝と信頼から湧いてくる「おかげさま」、「仕方ない」という言葉が、どんなことがあつても受け入れよう」という日本人らしい受容の心を生み出し、絶望の淵から這い上がる力にもなってきたのだと思います。日本人のこのような特性は、物質的にも精神的にも行き詰まった現代のこの世界にこそ必要とされているのではないのでしょうか。

◆ ◆
なぜ、このような国民が生まれてきたのか、そこには、自然環境のみならず、もっと深い日本の国の成り立ちがあるように思えてなりません。

青森県外ヶ浜町にある大平山元遺跡において、1998年に行われた発掘調査によって発見された

土器の中には、付着した炭化物のAMS法を用いた放射性炭素年代測定法による算定で一万六千五百年前とされたものがありました。紛うことなき世界で最も古い土器です。土器に炭素が付着していたということから、食物の煮炊きをしていたということも明らかになりました。しかも、縄文時代に埋葬された人骨からは争ったあとがほとんどありません。つまり、縄文という時代が、豊かな風土と食に恵まれ、世界にも類を見ないほどの高度な文明を築き、1万年以上にわたって集団で人が殺しあうことのなかった平和な時代だったことがわかってきたのです。イギリスで起こった産業革命以降ただだか二百数十年で、地球をこれだけの危うい状況に追い込んでしまった現代文明を思えば、この平和な一万年という月日が奇跡のように感じられます。

このような平和で豊かな時代に育まれた文化はどのようなものだったのでしょうか。これまで決して日本では大きな価値を認められてこなかったこの縄文時代にこそ、今の行き詰った世界情勢を解決していくヒントがあるので

私は考えています。

詩人で朗読家の堤江実氏は、エネルギーに溢れた日本語のルーツを縄文時代に見出し、著書「日本語の美しい音の使い方」で次のように指摘しています。



「豊かで平和な風土から生まれた、幸せな言葉。それが日本の言葉です。自然に寄り添い、その循環、再生の息づかいに暮らしを合わせながら、豊かな恵みに感謝して、平和に仲良く、幸せに暮らしたい時代。長期間平和な社会を営むことが決して不可能ではないのだという証が、私たちの縄文時代です。まるで奇跡のような時代。この、人類史上、他に例を見ないほどの素晴らしい時代にルーツを持つ言葉の響きが、やさしく穏やかで美しいのも当然のこと。これ

こそが、縄文から伝わる魂の遺伝子なのではないかと思われまます。世界には縄文と似た自然と共生する森の文明を生きた民族がたくさんいます。ニュージーランドのマオリ、オーストラリアのアボリジニ、古代ヨーロッパのケルト、ゲルマン、アンデス、マヤ・・・自然のすべてに神が宿ると信じ、森に寄り添い、その恵みを分かち合っ、争わず、平和に暮らしていたのではないかと思われる人々、そのほとんどが多神教です。そして、こうした国の言葉には、母音の響きの美しい言葉が多いように思われます。」

は、あまりにも傲慢に思えます。自然と共生して生きるにはどうしたらいいのか。与えられたものに感謝していのちを尊び、争わず、みなひとしく分かち合っ、平和に生きるには、どのように生きたらいいのか。我々日本人は、いまこそ、かつての縄文精神を思い出し、この命題に向き合う必要があるでしょう。その先にはじめて世界の新しい未来が見えてくると私は考えます。

(長堀 優氏)

☆ ☆

我々日本には一万数千年という長い間争いのなかった縄文時代がある。これは美しい響きを持つ日本語にルーツがあり、ここに今の世界情勢を変えるヒントがあると強調された。

当日の参加者は会員14名、非会員18名、関係者1名、合計33名であった。

講演記録テープは2000円送料込み。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長
河野 明夫)

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

50cm (座って噴霧) から放射。箱形逗子内の煙状物質 (非可視) は床上1m~3mに写されており、前後左右、上下などに、複雑な模様を描いて様々に変化している (見えないが、写真には写っている)。さらに煙状物質の量は線香の煙の約~100倍以上もある。また約20秒以内毎にオーブ、煙状物質と画像が入れ替わっている。これらから、煙状物質は線香の煙では無いことは確かであろう。

他方、スプレー水は、放出された後、空气中で水蒸気 (無色透明) になるが、これが、すぐに、再び霧 (白色) に戻るとは考えられない。気体の蒸留水になった噴霧水は、電離して、大気イオンに変化するものと判断できる。これらを受入れている蒸留水廻りの空気は、すでに部分的に電離している (別報)。つまり、大気中には空気が電離してできた大気陰イオン、大気陽イオン、電子、ならびに極微粒子のエアゾル等が非可視の大気イオン・ボール (プラズマ・ボール) を造っており、約30万KVといわれる大気電界内 (地球コンデンサー) のなかに、存在している。イオン・ボール (プラズマ・ボール) は陰イオン群と陽イオン群が組合わされて巴型になり、これが回転して球形を形成した群集団である。この大気イオン・ボールと、噴霧水が形成した大気イオンとはともに素粒子類似であり、同種・同根なので、両者は同類である。このとき、回転している大気陰、陽イオン間の結合が弱い場合には、球形 (オーブ) には成らず、煙状の大気プラズマモイドに成る、と考える。

例えば、大気陰、陽イオンの基に成る電子対が電子と陽電子のように強い結合状態である場合には、イオン・ボールはオーブ (球形) に成る。そうでない弱い結合の時は、プラズマモイドになる。さらに、陽電子形成には、通常は、宇宙線や γ 線の対消滅などから得られる高エネルギー (例、約1.02MeV) を必要としているが、素粒子にはトンネル効果という現象があり、これによって陽電子形成とオーブ現象が起こりうる可能性がある。例えば、上記のプラズマモイ

ド現象は、大気中の低エネルギー状態で生起している。同様に、大気中の陽電子も、低エネルギー状態で得られた可能性が大である。なお、トンネル効果とは、素粒子には、時間とエネルギーの不確定性原理 (ハイゼンベルグ) があり、時間を極大にするとエネルギーは小になり、時間を極小にすると、エネルギーは大になる。つまり古典的には乗り越えられない様な大きいポテンシャルの障壁を、不確定性原理に依って、極低エネルギーでも、トンネル現象として、乗り越える事ができる。素粒子には粒子と波の両面性があり、粒では乗り越えられないエネルギーの山を、波なら廻りこんで、滲み出して、乗り越える事が出来ると考えられている (トンネル効果)。この効果が作用していると判断している。

5-2) 精神面を検討する。

精神または心は、意識と無意識を含んでいる。意識的と思われる行動も、実は無意識が原因である場合が多い。無意識や心は時間や空間の枠組みを超えている。つまり心は「あまのじゃく」であり、コントロールすることは難しい。サイ (気) も同一である。他方、体外にある物質と意識とが直接に接触する現象をマクロPKといい、この時、仲介物質 (又は情報) をサイ (気) という。大気陰・陽イオン・ボールとサイ (気) は同種、同根であり、サイ (気) は微細身素粒子 (バイオトン、オーラ) を含んでいる。オーブと撮影者が持つサイ (気) とが共鳴、共振しないと、オーブ現象は生起してこない。同一場所で撮影しても、なかなかオーブが生起してこない (両者は同調しない、集まらない) のは、両者が類似では無いからであろう。しかし、その場所で一度生起する (特定のサイが住み着く) と、次回からは容易に出現、生起するようになる。

(注): 本稿の実験計画と実験実施は故・川崎利男氏が担当した



写真 No.141117 (1)

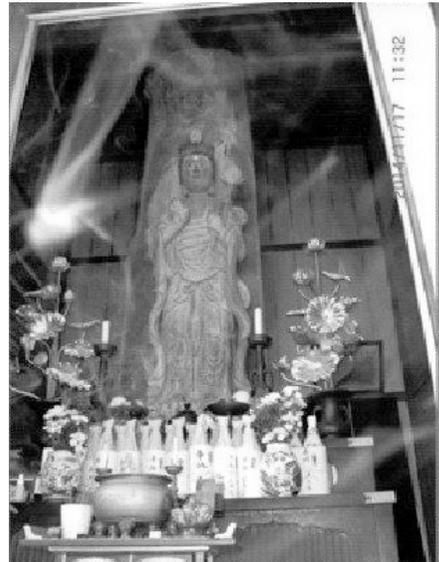


写真 No.141117 (3)

無数の透明感のある美しい大小のオーブが写っている。特徴として、各オーブには、核(エアゾール)が1~2個入っている。また非対称の干渉縞模様も写り込んでいる。左側には筋入りのオーブ(3個、一本の針金状入り)もある。仏壇逗子のなか(戸口の木枠の奥)には、立木観音様が立っている。戸口付近にいるオーブを見ると、木枠の手前にオーブがいる(右上)、その下にいるオーブは、奥に出現していて、木枠に遮られて半分しか見えない(4個)。これは真オーブの証拠のひとつである。写真No.141117(2)には、観音様と仏壇逗子内部が見えないほどの沢山(無数)のオーブが写されている。写真No.141117(3)には不思議なことに、煙状模様の(通称)プラズマモイドが写されている。この時、ろうそくは消してあり、線香からは極僅かに、煙が出ていて、写されている。1分間に3~4回程度に撮影された写真画面(オーブと煙状物質)を見ると、パツ、パツ、・・・と煙状物質とオーブは、集団的に入れ替っている。したがって、煙状物質(見えない)が線香(見える)の煙であるとは考え難い(後述)。

4. オーブ円内模様のカオス解析

— 水滴とオーブの比較 —(ここでは省略)

5. 検討ならびに考察

実験結果には、環境(物質面)と撮影者自身の精神的な面が関係している様子である。

5-1) 物質面を検討する。

ノズルから放出される(直後の)噴射水(霧)は空気と混合して白色に見え、白色に撮影されている。この霧が大気中で蒸発すると、水滴は消えて、無色透明の水蒸気になる。この気体水蒸気の水分子は、ほとんどが単分子状態であると考えられる。これが、もし、高温低圧力のなかであれば、一部は水素と酸素に電離されることになるだろう。この水蒸気が大気プラズマモイドに成る場合を想像する。プラズマモイドとは「太陽フレアなどの衛星観測において、閉じた磁気面で囲まれたプラズマのかたまり(高エネルギー)」を意味している。

上述の写真No.141117(3)には、大気プラズマモイドと思われる煙状物質が写されている。しかも、非可視(近赤外線、1.4eV)である(低エネルギー)。撮影時の実験条件をみる。立木観音像の高さは約3m程度である。観音像の前には、煙がでている線香(高さ方向に約20cm以内の煙が見える)が2本たててあり、ろうそくは消してある。デジカメは床板から約30cmの高さに固定設置、ハンドスプレー水は床上約

夜の8:00～9:00頃、2階のベランダから西南の方向に、2台のデジカメ(三脚の定点撮影)で、ストロボを発光し、連写する。カメラを2台もちいて毎回300～400枚撮影する。さらに、室内撮影は東京都江戸川区の立木観音堂。実験時間は昼間の11～12時頃、ヘアー・スプレーを用いて撮影した事以外は千葉市と同一(詳細は後述)である。

3. 実験結果

始めに、千葉市の故・川崎氏自宅二階ベランダ(室外)で撮影した結果を示す。スプレーによる噴霧水が、写真画面の片隅に写る様に、カメラの位置を設定して実験を行った。噴霧水(霧)は何時も写るが、オーブは写る場合と写らない場合がある。しかし、噴霧水放出の最初(頭首)から写る場合は殆ど無い。2013年11月6日(水)に行った一例を写真No.131106(1)に示す。写真の左上から下方に放物線を描いて霧(キリ)が写っている。

今回の度重なる実験・観察によると、オーブ出現時間は、噴霧水放出直後ではなく、放出後5～10秒経ってからである事が判った。この時の、オーブ出現の極初期段階と思われる一例をNo.131106(2)にしめす。霧群の中に小粒の光球が出始めており、同時に、天空(上方)から下方に向けて、4～5箇所(筋状に)に、重力線方向に並ぶ2～3個の小光球集団が見える。つまり、オーブの芽(小球)は、向こう側から、噴霧霧群に向かってやってくる様子である。2013年11月8日(金)に実施したNo.131108(1)は、オーブが大きく成長した場合の一例で、7個の大直径のオーブが写っている。No.131108(2)は、右上に写された大径オーブの拡大写真の一例である。大直径の円形オーブ像の輪郭は、明瞭。外側に向けて放射線状の短いHalo(ヘイロー)を伴っている。内部には核(エアゾール)らしい小球状模様がある。2013年11月9日(土)に撮影された一例をNo.131109にしめす。霧は消えており、大小のオーブが写されているが、特徴的なことと

して、ほぼ中央にある大小2個のオーブには、円内の核(エアゾール)が滑ったと思える筋目痕(針金状)が写されている。以上の、それらの写真を見ると、霧は極小粒で円形内部に模様が無い。オーブは大径(大粒)で円内部に模様を持っている事、などから霧とオーブは異なるといえよう。

今回の実験では、以上をも含めて、5秒ごとにフラッシュ連続撮影を続けているが、その都度、短い時間でパツ、パツ、・・・と、撮影された場面が変わる。つまりオーブは集団でやってきて、その大きさ(大小)、出現数、場所、などは様々に変化する。つまり素粒子類似の集団行動を取っており、その出現は非局所的であり、ランダムである。出現した確率を調べると、連写の今回の実験の場合は約5%である事が判った(手押しの場合は確率は上る)。以上を纏めると、(1)霧は、オーブ生成のきっかけを作っている。つまり、(2)噴霧散水に誘われてオーブが出現する。(3)霧は消えても、オーブは残っている。(4)オーブは集団行動を取る傾向がある。(5)出現には素粒子類似の性質が表れている(ランダムである)、といえよう。

つぎに東京都江戸川区内において、室内で撮影された場合の一例を示す。実験場所の立木観音堂は、毎月の17日が縁日で、故・川崎利男氏は月参りをしていた。2013年12月、2014年1月、2月と、スプレー噴射条件下でフラッシュ撮影を重ねたが、どうしても写らなかった。それ以前にも毎月の17日ごとにスプレー噴射なしで撮影を重ねたが、1～2個程度の出現はあったが、沢山出る事は無かった。ところが、2014年3月17日に、ハンド・スプレー噴霧水で撮影した。スプレーからは1分間に3～4回程度、間欠的に噴射水を放出する方式を用いた。噴霧開始後約3分後(34枚目)に出た。この時は、一回(1撮影画面)に16個のオーブ出現が認められた。この様な多数の出現は、何回も幾日も続いた。たとえば、写真No.141117(1)は、2014年11月17日に撮影されたものである。故・川崎利男氏が観音様の前に座り、「般若心経」を唱えている。この写真には、

ほうが10～100倍も大きく出てしまうので、たしかに、見えない暗黒物質が存在しているに違いないと、従来、考えられてきたことです。しかし、太陽系も銀河系も外銀河も回転しています。しかし、そこに大きな角速度が存在していますからそれも質量に他ならないのです。質量は見える物質だけと思い、つまり、角運動量を構成する物質の質量のみに目を向けて、それ全体が持っている角速度 ω 自体も空間にひそむ質量であるのを知らないためのナゾだったと思います。

暗黒物質に仮説は必要ないし、先年のノーベル賞のヒッグス粒子の存在仮説も必要ないのです。

ところが、先生のこの理論をあらためて探したのですが先生の出版された本のどの部分にも見つからないのです。先生の家に残されている未公開のノートに眠っていると思います。後日、先生のご遺族から頂いたのが前頁のコピーです。

計算のページは省略します。見たい人は品川までご連絡してください。

(株)品川油化研究所 <http://www.ology.jp/>

水滴(霧)の消失後にオーブとプラズマ・モイドが出現する

佐々木 茂美 故・川崎 利男 苗 鉄軍

オーブの研究はデジタルカメラによるフラッシュ撮影からスタートする。先輩のアドバイスによると雨、雪、霧、塵埃等も同時に乳白色球形に撮影されるが、これらはいわゆる『偽オーブ』である。ところで、台風26号(2013.10.16)襲来の豪雨並びに2013年10月24日の夜の霧雨時に撮影したオーブ写真をみると、雨や霧による水滴とオーブの間に関係のある(まぎらわしい)事が判った。他方、従来からの経験によると、雨の降り始めにオーブは出現しやすく、水と親和力が高いことが知られている。そこで、今回は、あらためて実験計画をたてて、スプレーによる噴射水(キリ)条件下でオーブを出現させる事をこころみた。結果として、水滴(キリ)の消失後に真オーブや大気プラズマモイドが出現することが判明した。

1. 定性テスト実験

人工的な降雨や霧に近い環境づくりとして、庭の撒水ホース、ヘアースプレー、園芸用蓄圧式スプレーの3種を選んで簡単な比較実験を行った。園芸用の撒水ホースからはオーブがやっとなったという感じ、ヘアースプレー水は噴霧

が細かく、この時には、多量のオーブが出現した。小林コーセイ製、園芸用(業務用)蓄圧式スプレーからは微細な噴霧水がノズルから定常的に出て、オーブもよく出現した。そこで結論として、室外では園芸用蓄圧式スプレーを採用して、屋外の毎日の実験に使用することにした。なお、これとは別に室内の立木観音堂では、取扱いが容易なハンド式のヘヤースプレーを用いた。

2. 実験方法・機器等

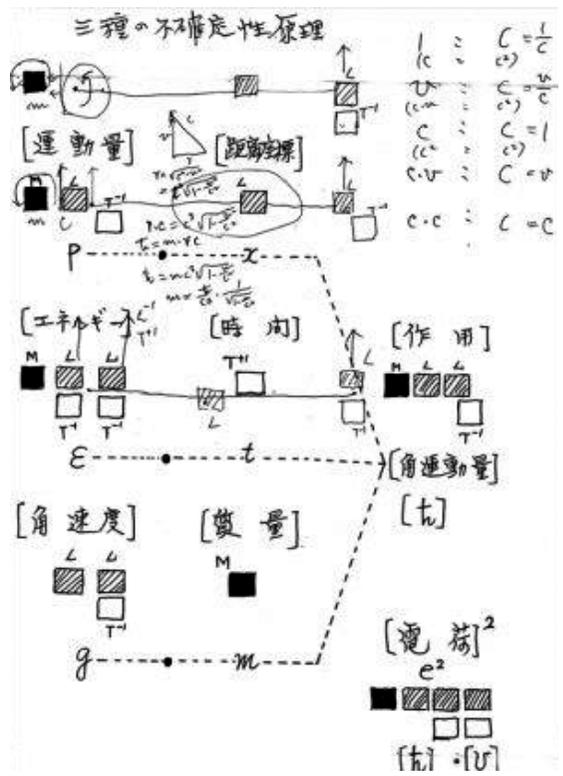
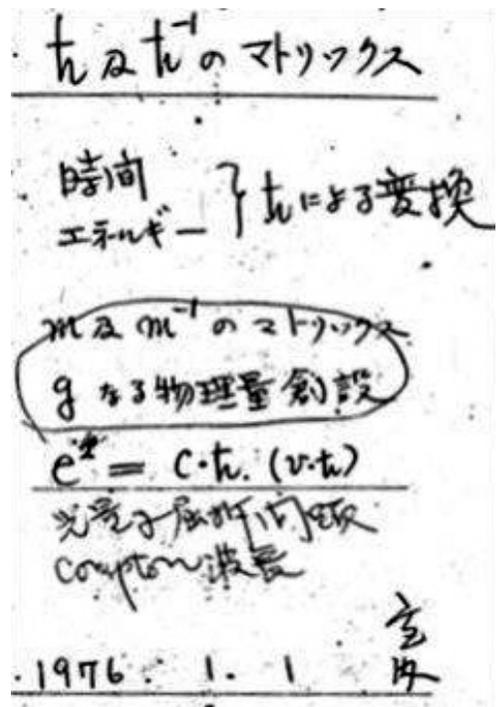
使用カメラは、カシオエクシリムEX-S12及びカシオエクシリムEZ330。三脚に固定。撮影の条件は通常の写真で、ボタンを押し続け、5秒間隔で連写する。ISO感度3200、または1600。ストロボ光力は+2。結果を見ると、偽オーブは円形乳白色で不透明である。真オーブは同様に不透明もあるが、多くは半透明であり、その内側に何らかのパターン(模様、表情)を持っているので見分けることが出来る(本文参照)。これらの予備実験を基にして、スプレー噴射水を使用して実験に進んだ。

室外の実験場所は千葉市緑区の故・川崎利男氏宅。蓄圧式スプレー水散布条件下で実施。

当然 Δe は大きくなります。

$\Delta e \times \Delta t = H/2\pi$ と等号で結ばれた関係なので、 Δt は小さくなり、それが積算され時間の進み方が遅れるのを電子は観測することになります。それが、等号で表されているわけです。光がエネルギーと一緒に時間も運んでいるというローレンツ変換式の見方から、はじめて相対論と量子論の接点が見えてくるのです。それに、宮内先生が気付かれたのです。関英男先生が監修されたマゴッチさんという方の「深宇宙探訪記」という本がありますが、これは銀河系の中心までUFOで行ってきたというとんでもない本です。銀河系の中心部はエネルギーが高いので、 Δe が大きく Δt が小さくなります。この方は数か月行ってきたのに帰ってきたら数日しか経っていなかったということで、浦島太郎の話と逆です。この等号で表された $\Delta e \times \Delta t = H/2\pi$ の関係式は電子が自然を観測するのを表す観測の基本式だと思えます。

話が飛んでしまいましたが、その頃、私たちは、物理学で使う三つの次元、長さL、時間T、質量Mの問題でよく議論をしていました。私の考えでは時間Tと長さLは次元であっても質量Mは無くても済むような気がすることを先生に進言しました。その理由は、冒頭に述べたように質量の性質で、高速で回転するモーターを手で持って回転軸方向を変えると直角方向に力を感じることは実感できることです。物質を動かすときに起こる抵抗である慣性質量の根源には、物質が空間で移動するときその構成する素粒子のスピンの逆電磁空間（複素空間）に潜り込み回転を余儀なくされてこの力が働き慣性質量として現れるのではないかという考えでした。先生も同感されましたが、暫くたって質量Mもまたプランクの常数を媒介して角速度 ω と交互に現れ、 $M\omega = H/2\pi$ の関係にあり質量が角速度の一面であることを先生の導かれたHマトリックスで証明されたのです。これは碩学ハイゼンベルグのやり残した大きな原理だと先生は云われていました。



宇宙空間に存在すると考えられる暗黒物質、dark matterという問題があります。それは、銀河系内や銀河間に大量に存在しないと全体のバランスから説明できない質量で、光から推定した銀河系の質量よりも運動量で計測した質量の



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

宇宙に暗黒物質は存在しない

品川 次郎

質量の本質は何か？ 慣性質量の特徴は物体を動かそうとするとときに抵抗する力を感じることである。かねてより、私が主張するように物質は動くとき反対の逆電磁空間に回転して没入して進む。我々の現実の電磁空間内だけで移動するのではない。物質はその内部に電子を始め多くのスピンを持った粒子で構成されている。それらがスピン軸を回転して逆電磁空間に没入する。その際各スピン軸の回転に伴う抵抗が発生する筈でその合計が慣性質量として現れるのである。高速で回転する物体を手を持って軸方向を変えようとするとき抵抗を感じるが、それと似た関係にあると思う。各スピンの空間を移動するのに伴う軸回転の抵抗を合計したものが慣性質量として現れる。念写研究の宮内力先生にこの考えをのべたところ、同感された記憶がある。

ある日、宮内先生が「分かったよ君」と言われてプランクの常数を中心にした時間とエネルギーの関係の図を説明され始めた。先生はマトリックス力学でプランクの常数 h の構造を解明されそれが仲立ちになって時間 Δt とエネルギー Δe が交互に $\Delta e \times \Delta t = h/2\pi$ と、 Δe と Δt が相補の関係で結ばれている仕組みを解明されたということです。

はじめ、私はさっぱり何のことか分かりませんでした。しかし、理解するにつれてこれは大発見であることに気づきました。ノーベル物理学賞の朝永振一郎博士の〈量子力学的世界像〉という

本があります。その冒頭に博士は嘆かれていますのです。現代物理学の2本柱である相対論と量子論が何故かどうしても融け合わない！これが現代物理学の超えられぬナゾである、と。アインシュタインも相対性原理に含まれているだろうと多年これを追求したといわれているが分からなかった。この様に、1世紀に近いナゾなのです。

ミクロの世界では不確定性原理により位置と運動量、時間とエネルギーなどの共役量は古典論と違い同時に正確に観測できないと言われていました。しかし、見方を変えてみれば、どんなマクロの現象の観測も、すべてはミクロの観測の集積で、そこには相互作用する観測機の電子が介在するわけです。電子との相互作用です。そこにはやはりプランクの常数がからんでいると考えてよいと思います。それは、いわばマクロもミクロもひっくるめた観測の実態です。マクロの観測を基礎とした特殊相対論も光の観測に由来した法則で、光と観測器との相互作用をしらべたマイケルソン、モーレーの実験でも瞬間々々の Δt と Δe は、当然、この法則の支配下にあつたといえます。ですから、特殊相対論のローレンツ変換式はこの不確定性原理つまり、観測の原理の支配下にあつたわけです。相対論と量子論の接合点がここにあると云えるのです。すなわち、光を観測する場合、観測機を構成する電子は光の持つエネルギー Δe と時間 Δt に相互作用します。光源と観測機の間に関係速度があれば



サイジヤナル

月刊
27-9・10
第423号

日本サイ科学会 平成27年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎ FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龜莊町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048-FAX 095 (883) 6159
--	---	--	---	---

九月本部例会のお知らせ

あなたの人生が楽しくなる
インド占星術

講師 山田 欽子氏

インド占星術とはサンスクリット語でジヨーティツシユと呼ばれ、光の知識」という意味です。インドの英知、ヴェーダの科学の一つです。

インド占星術の起源は正確にはわかっていませんが、五〇〇〇年前に初めて古代ヴェーダ文献「バラシヤラ・ホーラ・シヤストラ」に記されました。

そもそも占星術とは、「人がこの世に生まれたとき、どこの星座にどの惑星があったか」で占います。この人が生まれた瞬間の天体の配置図を「出生図」といいます。この出生図に込められた意味を読み解くことで、その人の生まれ持った性格、家族、恋愛・結婚、仕事、学び等の特徴、さらに人生における使命などもわかります。

この講演では、そもそもインド占星術とは何か？ 西洋占星術と

の違いは何か？ そしてインド占星術の魅力と特徴についてご紹介をいたします。また有名人のケースタディー等も使い、インド占星術の魅力を余すところなくお伝えしたいと思っております。

※近年インド占星術への関心が高まり、それを学ぶ方や運命鑑定を受ける方も増えております。山田欽子氏は第一線のビジネスマンから、インド占星術の研究者となり、本格的な占星術のセミナーも開催されており、これからの人生の生き方に大いに参考になるお話が聞けると思いますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●山田欽子氏のプロフィール

某国立大学経済学部卒業後、大手外資系メーカーに入社。営業・マーケティングの仕事を経験する。2度の転職で、年収は大幅に上がっても、ただ忙しいだけで、心の充実感が全く得られないことに気づく。そんな毎日に嫌気がさし同僚に相談したところ、インド占星術の鑑定を受けることを勧められる。

今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 全国大会開催にあたって
- ☆ 10月全国大会プログラム
- ◎ 関西サイ科学会九月十月予告
- ◎ 北陸サイ科学会九月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 九州サイ科学会九月例会予告
- ◎ 平成26年7月本部例会報告
- ◎ 平成27年7月本部例会報告
- ◎ 第三九七回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三九八回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 本部分例会講演録の販売
- ◎ サトルエネルギー学会大会告知
- ◎ オープ(たまゆら)形成過程の動的な観察

鑑定を受け、余りにも当たっていることに驚き、インド占星術をその場で学ぶことを決意。そして今日、講座を開くまでに至る。

日時 平成27年9月12日(土)
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ7階第一研修室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

羽寄りの階段を下り改札

口を出て見える高層ビル
 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円
 学生 一〇〇〇円

◆ ◆

「心を科学する博物館」と
 一般の御寄付御礼
 (7/11受領分まで)

金三万円也 森安 政仁 様

◆ ◆

十月日本サイ科学会第25回
 全国大会シンポジウム

テーマ「あの世と多次元世界」開催にあたって

大会委員長 小林 信正
 (日本サイ科学会副理事長)

私たちの生活は縦・横・高さの3つの方向性を持つ3次元空間に居住し、これに時間を加えて4次元世界に存在しているとされてい

ます。さらに3次元世界からは目に見えない隣り合わせには、多次元世界(異次元世界)が存在しているともいわれています。

そんなことを公言すると、「うそ」と言われて、奇人変人の類だと目を背けられるかもしれません。でも、これが最新の物理学界でもっとも注目されている新理論だとすれば…?

「確かに異次元の世界は存在する」と提唱するのは、アメリカの理論物理学者、リサ・ランドール博士。現在、彼女はハーバード大学、プリンストン大学、マサチューセッツ工科大学の各教授であり、終身在職権まで獲得している才媛です。特に彼女が得意とする研究分野は超ひも理論の「異次元」。私たちの存在する宇宙空間が、多次元の宇宙と隣接しており、消滅したり、現れたりする素粒子は、別の宇宙空間から行き来しているとするので説明できると言うのです。つまり、近くにあるにもかかわらず、うまくベールに隠されているので、大きくても見ることができないというわけです。

あの世といわれる死後の世界も、

実は私たちとは隣り合わせのベールの中に存在していると考えられています。死後の個性を持った靈魂に関する研究では、例えば臨死体験者の体外離脱体験の証言や退行催眠による前世記憶、それに優れた霊的能力者の霊視、霊聴、霊言や自動書記、霊界交信などの働き、さらに鏡視による故人との再会やオーブの存在も多次元世界からの交流かもしれません。いずれも人の死後、靈魂は肉体から離脱しても個性は存続し、幽界、霊界でも各々多次元に存在して、私たちが生活している現界に何らかの作用を及ぼしているといわれています。

一方、広大な宇宙には多次元世界が存在し、地球人以外の生命体でも、高度な知性と文明を持った宇宙人が存在し、我々の住む地球にもUFOが飛来しているとも言われています。

全国大会では、偶発現象(心霊現象、UFO等)の目撃と原因の推測・解明やサイ現象の仮説など様々な「サイ」に関連することなど、これまでの研究での新しい発見の研究発表がある予定です。

さらに多次元世界の存在について

◆ ◆
 のパネラーによる討論と質疑応答にて、好奇心を掻き立てる多次元の謎解きに少しでも近づけられることが出来ればと願っています。

関西日本サイ科学会
 九月研究集会のお知らせ

物質化現象
 無から有は生じる

講師 スワミ氏

日時 平成27年9月19日(土)
 午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
 七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
 北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
 関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

★日本サイ科学会 第25回全国大会プログラム★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2015年10月11日(日) 10:00～16:50

(会場) 北とびあ7階第2研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)
の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 小林 信正 大会委員長

◎会員の研究発表(6名)(20分発表5分質疑応答/1人)

10:10～10:35 小林 泰樹「PK、ESPの存在証明とその発現条件」

10:35～11:00 ロン 薄葉「オーブ現象と次元波動空間についての考察」

11:00～11:25 志賀 一雅「心霊治療におけるセラピストとクライアントとの脳
波共鳴」

11:25～11:50 森安 政仁「想念と病気との一考察」

11:50～12:50 昼休み

12:50～13:15 山根 真「新宇宙論・量子論 グラビトン(重力子)を求めて」

13:15～13:40 田中 義久「あの世と多次元世界〈四次元、五次元そして次元は
一気に十次元〉」

◎シンポジウム テーマ「あの世と多次元世界」

13:40～14:40 基調講演 飛沢 誠一「見えない世界の情報を如何に活用するか」

14:40～14:50 休憩

14:50～15:50 大会委員長、パネラー3名の発表(1人15分)

15:50～16:40 シンポジウム パネルディスカッション

大会シンポジウム委員長 小林 信正「愛する故人との再会 ～鏡視実験」

司会進行 阿久津 淳(日本サイ科学会理事)

パネリスト

飛沢 誠一 基調講演

橋本 和哉「気当て診断でチェックした死後の階層について」

飛田 洋子「大宇宙・小宇宙のはざまではがらかに死ぬ方 - 多次元の生
活化を通して -」

SOUL THERAPIST りんあん「憑依・輪廻転生・靈魂の推察」

16:40～16:45 優秀研究賞 表彰式 浪平 博人 会長

16:45～16:50 閉会のご挨拶 小林 信正 大会委員長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付け)

関西日本サイ科学会
十月研究集会のお知らせ

水と珪素の集団リズム力

講師 中島 敏樹氏

日時 平成27年10月17日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 朝公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



北陸日本サイ科学会
九月定例会のお知らせ

『水からの伝言』と『新しい
水の科学』

講師 根本 泰行氏

(IHM総合研究所所長)

江本勝会長は「波動」と「水」の

2つの分野における先駆者でした。

いずれの分野においても、「水は

情報を記憶する」ということが、

基本的かつ重要な概念となってい

ます。しかしながら従来科学にお

いては、「水の記憶」について、な

かなか認められず、結果として「波

動」も「水」も「非科学的である」

との批判を受けてきました。

ところが過去6～7年の間に、

世界のトップレベルの科学者たち

から、「水は情報を記憶する」とい

うことを証明する証拠が提示され

てきています。モンタニエ博士に

よつて、「水は遺伝物質DNAの情

報を記憶する」ということが、疑

問の余地のない形で科学的に証明

されてきている一方で、ポラック

博士は「第四の水の相」を発見し、

この「相」を考慮すると「水の構造

が想念や感情のエネルギーによつ

て変化する可能性」が十分にある

と主張しています。

本講演においては、江本会長の

業績について簡単に説明した後に、

モンタニエ博士とポラック博士の

研究内容について、専門外の人に

も分かりやすく紹介し、それらの

間の関連性について議論します。

◎根本泰行氏プロフィール

IHM総合研究所所長、合同会社

オフィス・マサル・エモト代表、

2級電磁波測定士。

1988年に東京大学より細胞

分子生物学の分野で理学博士を

取得。日本、マイアミ、ホノルル

のいくつかの大学で研究を行った

後、2002年に江本勝博士の元

で国際秘書として働き始めた。江

本博士の仕事における科学的な側

面を担当し、水の研究を通じて科

学と霊性を統合することをテーマ

としている。ごく最近、江本博士

の世界的なベストセラー「水からの

伝言」と、ジャック・ベンベニスト

博士、ジェラルド・ポラック博士、

リュック・モンタニエ博士などに

よつて提唱されている「水に関する

新しい科学的理論」との間の関連

性について解説するセミナーを始

めてきている。

日時 平成27年9月6日(日)

午後1時半～4時半

会場 金沢市文化ホール3階

大会議室

(石川県金沢市高岡町15番1号)

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎

お問合せ・お申込み

076・234・6634



中部日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年9月12日(土)

午後1時～5時

会場 博愛療院

名古屋市昭和区御器所3・4・21

052・871・9060

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 一〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎



九州日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

参加者の皆様と懇談会

講師 森安 政仁氏

日時 平成27年9月13日(日)

午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6
問合せ095・883・6048
交通 JR長与駅下車徒歩20分

長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

第3回スピリチュアル研究 分科会のお知らせ

守護霊との対話

講師 平池 来耶氏

(スピリチュアル・セラピスト)

幼少の頃より、神秘や高次元に
おける霊的体験に加え、心理学、
哲学、占術、神秘学を研鑽。個人
リーディングや瞑想の集いを通じ
て、魂の向上のセラピーや人生の
アドバイスを行っています。著書
13冊あり。

内容 会場にいる方の意識を読み

取り、ストレスの浄化と今
後必要なメッセージを送り
ます。

日時 平成27年11月1日(日)

午後1時30分～5時

会場 北とびあ7階七〇一会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 一〇〇〇円

一般 二〇〇〇円

第2回スピリチュアル研究 分科会報告

平成27年4月26日(日)

「北とびあ」にて開催。

○神霊能力者・渡辺薫龍氏「除霊・

浄霊について」霊能相談と解決法。

○心霊医療師・富樫昭夫氏「潜在

意識とセルフヒーリング」対処法。

○獣医師・石川允明氏「最新機器の

体感実験、健康状態とサポート」。

会場は五十余名と満席。講演後

は参加者の意見交換等で終了。

次回は11月1日(日)を予定して
います。

平成26年7月本部例会報告

ラップ現象の究明

ラップ現象との関連性について

講師 小林 信正氏

(特異能力研究所代表

日本サイ科学会理事)

今日はラップ現象とそれに伴う
オーブのお話をさせていただきま
す。日本人は世界で一番引越し
の回数が少ない民族で、一生で4
回くらいだそうですが、私はこれ
までに、14回引越しておりま
す。そのうちの数回の引越した
土地でミステリー体験をしました。
戦後ですが、六回目に引越し
た多摩川段丘の家では、ラップ現
象がバチバチと起こりました。そ
の近くの崖にある洞窟に入ります
たら、古墳跡があったので、ラッ
プ現象が起こるのも当然だったと

思います。十一番目に引越した
東京郊外の芝生の家では、近所の
医者がこの辺は奇病が多いとい
話を聞き、また女房も私も金縛り
に遭いました。そこでその辺りの
歴史を調べましたら、戦時中に軍
需工場があり、爆撃によって、働
いていた女工さん(女子学生等)
が多数死んでおり、供養もしてい
ないことが分かりました。

そこで霊能者に診てもらってい
い場所だと言われた杉並区の家
引越しましたら、副職的に万博
等の仕事で余録が入りました。次
に移った十三番目の多摩丘陵の家
でも、やはり近くに古墳跡があっ
て、女房やお袋がゴミ捨てに行く
といやな気配を感じるということ
で、現在の家に移りました。この
家は三人位の霊能者に診てもらっ
ていい所だということ、移りま
した。今のところ、安住の地とし
ておりますが、また引越したく
なるかもしれません。

実は私が生まれた港区芝南佐久
間町の隣の家で、60年前位ですが、
作曲家の滝廉太郎が生まれており
ます。彼の父親は大蔵、内務官僚
を勤めており、滝廉太郎は23歳で
亡くなっておりますが、それまで

にドイツ留学も含め、10回位引越しております。

自分の経験からも「いい土地」と「悪い土地」というのは確かにあり、そこに住むといい運氣がもたれる土地と、そこに住むと事故や病気が多い土地もあります。

ラップ現象とは

・英語で叩く(Knock)のような音を行う。

・床・壁などがコツコツ、ドンドン、バンバン、パチパチなど、様々な怪奇音が鳴る。

・ラップ音以外にも木材が乾燥する時の割れにより、「ミシッ」とか、「パーン」といった音が、室内に響くことがある。

・誰も関与しない部屋の空間から、ある種の音が発生し、鳴り響く現象であるが、超常現象、心霊現象の一つとされている。

本当にラップ現象があるのか、またこれらの現象はどういう意味を持つていて何なのか、ということとを調べるため、ビデオで十箇所位取材しました。

ラップ現象の体験

- ・伊豆の温泉旅館
- ・東北の温泉旅館
- ・山陰の温泉旅館
- ・猪苗代の某ホテル
- ・九州の某観光ホテル
- ・ロンドンのマナーハウス
- ・フランスの古城
- ・パリのホテル
- ・イスラエルのホテル
- ・ギリシャの古城ホテル

夏休みに伊豆の温泉旅館へ家族で行ったときに、たまたま空いていた部屋で夜中にラップ音がバチバチ鳴ったので、翌日仲居さんに「この部屋は何かあったんじゃないの？」と聞いたら、「ちよつとお待ち下さい」といわれて、後で、支配人が「詮索しないでください」と言われました。それで調べてみると、最近この部屋で、二人の心中事件があったことが判りました。

東北の温泉旅館では憑依現象を体験し、山陰の温泉旅館では夜中にラップ現象を体験しました。

ロンドンのマナーハウスは幽霊が出ることで有名で、フランスの古城ではロケ中に男性タレントが大げがをしたり、パリのホテルで

は夜中に金縛りやラップ現象が起こりました。後で調べたら、その場所は昔病院だったそうです。ギリシャの古城ホテルでは、昔の牢獄跡だと判りましたが、ラップ現象が起こりました

一九四八年、心霊研究の発端になったハイズビル事件

※古い家の写真を見せる

この家はアメリカのニューヨーク州の寒村ハイズビルにある家であるが、家族がこの家に引越したのですが、ラップ現象や幽霊現象で3ヶ月で出てしまい、その後入った家族も同じ現象で一年半後に出てしまい、一九四七年、三度目に引越してきたのがフォックス姉妹(マーガレットとケイト)と両親です。

やはり、一家はラップ現象、幽霊現象に悩まされたのですが、フォックス姉妹が、そこにいると思われる幽霊と交信を始めました。姉妹が手を叩くと同じ数で応答するので、次に質問に対してイエスなら一回、ノーなら二回ラップ音を鳴らしてくれと頼むと応えるようにラップ音が鳴るようになった

のです。

これによりフォックス姉妹はラップ現象の存在と交流する霊媒師としてマスコミで大々的に報道され、有名になりました。その後ケイトは、英国に招かれ、ウイリアム・クルックス(ノーベル賞学者)の下で実験が行われました。

一八五一年、バッファロー薬科大学が、「音の正体は、フォックス姉妹が足首や膝の関節を鳴らしていた」と調査結果を発表すると、フォックス姉妹も、種々の事情で自作自演であったことを認め、大波紋を引き起こしました。今のマスコミと同じでワッツと持ち上げて、今度はファーツと冷めてしまいました。ニューヨークでフォックス姉妹はスピリチュアル主義者たちによる罵声で迎えられました。それから約一年半後、マーガレットは暴露の内容の撤回をしました。当時の彼女の貧困状態や、二人の上の姉(リーア・ニューヨーク市在住)とのいさかいの中での情緒不安定な環境に乗じて申し入られて来た、前述の反スピリチュアリズム派の者からの金銭がらみの申し入れに応じたことなどを告白しました。また、その後、生涯通

じて二姉妹（マーガレットとケイト）は、この現象について事実であったと主張し続けました。

フォックス姉妹がラップ音の実験を続ける内に、昔この家に住んでいた行商人が、五〇〇ドル盗られて、殺されて地下に埋められたという話が出たきたので、地下室を掘ったら、本当に骨が出てきたのです。ただし骨が少量であったため、事件の裏づけとしては、不十分であり、信憑性が疑われる結果となりました。

ところがそれから60年近く経った一九〇四年、11月22日、ボストン・ジャーナルは、ハイズビルの「幽霊屋敷」の地下室にこっそり入り込んで遊んでいた少年達が、地下室の壁が崩れて人骨らしきものが見えているのを報告した事が皮切りとなり、この壁が二重壁であったことが判明し、その壁の下からほぼ一体分の人骨と、行商人用のブリキ製の箱が発見されたと報じました。これが殺人事件を裏づける結果となり、心霊現象の研究が本格的に始まったのです。という事で、心霊現象研究の発端はラップ現象なのです。

アメリカ、イギリスでも心霊科

学協会が設立され、蒼々たるノーベル賞クラスや有名な学者たちが研究に参加し、日本でも明治43（1910）年頃から東京帝国大学助教授の福来友吉博士が、御船千鶴子の透視実験から研究を始めました。しかし、その後東京帝国大学から追い出されて、高野山大学で教授職を終えられます。



ラップ現象の調査に際して

・ラップ現象は様々な性格がある反面、瞬時に消えて残存しないために、科学的見地からの客観的・合理的検証が行い難い現象である。

・ラップ現象を究明するには、その音を録音と映像も同時に残す方法が必要である。

・撮影後の音声のミックス作為もありうるという反論も考慮して、併せて、第三者複数による現場での立ち会いも必要である。

・木造の建材や建築工法の欠陥説、近くの工場からの身体では感知不可能な低周波振動や共鳴現象説も考えられる。

・また、ポルターガイスト現象などの条件も考えて、物理、心理、心霊などの見地からも調査を行う。

・TV局の報道番組として制作。実態の究明を行う。

取材にあたって

○怪音に悩む住人からの情報
○放送する条件で取材及び観測
○目的は怪音の解明と解決
・ビデオ撮影及び特殊音響観測機器を準備

・建築家、音響、映像の専門家の立ち会い調査
・建材の音響テスト
・住人の心理テスト

準備した観測機器

(A) 撮影機器
・高感度近赤外線カメラ（700

900ナノメートル）&赤外線ライト
・近赤外線ビデオカメラ定点観測用（Nightshot）
(B) 物理系機器
・磁場測定器（ホール素子方式、高周波）
・可聴音レベル計&低周波音レベル計
・集音マイク
・ノイズビジョン（音源を識別する機器）
・サーモトレーサー（温度、湿度測定器）

事例の検証

・事例① 埼玉県で廃業に追い込まれたレストラン
状況・ラップ音とオーブが同調している

・事例② 東京近郊・築3年の一戸建て住宅
状況・数百回の怪音と「誰か布団の上を歩く気配」

・事例③ 首都圏の新築マンション、恐怖におびえる住人
状況・専門家による建築構造調査とオーブとの関連性

・事例④ 首都圏の築23年、一戸

建て住宅

状況…観察↓仏壇、遺影付近で
ラップ音&オーブ

※最新機器「ノイズビジョン」
で音源調査

※以下の場所取材、TV放映さ
れたビデオが紹介される。

- ①埼玉の廃業レストラン
- ②東京近郊の一戸建て新築住宅
- ③神奈川県の新築マンション
- ④都内の築23年、一戸建て住宅
- ⑤岐阜の町営新築団地

(それぞれ近赤外線ビデオカメラ
や多数のマイク、測定器を設置し
て、長時間撮影し、それぞれオー
ブやラップ現象が記録されていま
す。)

前記ビデオ映像の事例の検証

・事例① 廃業レストラン
観察…ラップ音とオーブ出現が

同調

因果…自殺者、戦災死者跡
・事例② 東京近郊の一戸建て新
築住宅

観察…ラップ音が5H/約二百

回以上

因果…隣接の墓地で霊姿を目撃
・事例③ 神奈川県の新築マンシ
ョン

観察…ラップ音とオーブとの関
連性あり、怪奇現象

因果…爆撃で多数の焼死者

・事例④ 都内の築23年、一戸建
て住宅

観察…仏壇、遺影付近でラップ

音&オーブ

因果…自殺した母親との因果関
係

実態の観察

・ラップ音は築年数に関係なく発
生する。

・概ね建築構造上にもやや問題が
ある。

・ラップ音には様々な音がある。

・特に夜間に頻発する。

・誰かが居るような人の気配がす
る。

・ラップ音の原因とオーブとは関
連があると思われる。

・ラップ音が頻発する場所は、霊
的な因果関係がある。

(自殺現場、墓地、戦災死者地、
仏壇、遺品、幽霊目撃等々)

・ラップ音は、何かを訴えている
ように思える。

ラップ現象の考察

・ラップ音はオーブ出現と関連性
があり、従ってラップ音の発生

は、オーブのもつサイ・エネルギー
ギーが電磁場に作用して、空気

を振動させ、周辺の物質が共鳴
して起こる現象と思われる。

・波動とは、電波のように空間的
に連続的に広がっていくもので、

そこに高低差が生じる。オーブ
という物質は粒子であり、同時

波動(光)であり、いわば量子
レベルの現象と考える。

・いわば「ラップ現象は未浄化の
オーブが、霊的意識エネルギー

によって、あの世から紙一重の
この世の人に何らかの意図を持

って訴えようとしている心霊現
象」と考えられる。

・その根拠として、ラップ現象
が鎮魂供養により沈静化したの

は事実である。(ニセ折袴師には
要注意！)

シヤルル・リシエの言葉
(フランスの生理学者。1913

年ノーベル生理学・医学賞受賞)
「ラップ音の真实性は、心霊現象

全体に関わる根本的な重要性を有

する。物体が物理的作因なしに振
動させられ、しかもその現象の背
後に明らかな知性の存在が認めら
れるとなれば、この宇宙には、物
質に直接働きかけうる目に見えな
い知的存在が我々と共にあるだろ
うという、真に遠大な意味を持つ
事実が明らかにされることになる
のである。」

(「新・心霊科学事典」より)

住居によい地、悪い地

○よいエネルギーが放出

○生命力が旺盛となる

○家庭が明るくなる

×悪いエネルギーが停滞

×生命力が減退する

×病気になるがち

檜崎皐月氏(故人)の功績

(明治32年～昭和49年)

大地には微弱電流が流れていて、

磁場が発生する。この微弱な大地

電流が人を含む健康体にどのよう

な影響をもたらすか実測数を統計

的に調査する。

・イヤシロチ(弥盛地)

快適で居心地よく癒され、家庭

は明るく、植物も生育する地。

・ケガレチ(氣枯地)
病人や事故が次々起こり、家庭は暗く、気分が憂鬱な地。

住宅に不向きな土地

・穢れた土地・未浄化な地縛霊、浮遊霊の目撃された場所、及び神仏の祭祀跡地など

古墳跡、古戦場跡、処刑場跡、墓地跡、供養塚、祭祀跡、自殺・他殺・心中事件現場、戦災死者地、崖下、湿地や沼地、谷底地、井戸の埋め立て地。

パワースポットとしてお奨め所

箱根神社、戸隠の参道、御嶽神社、石上神宮、高千穂神社、室生寺、等々(著書「ご利益さま」参照)

平成27年7月本部例会報告

見えない世界の情報を如何に活用するか?

講師 飛沢 誠一氏

多くの人は過去世(過去に生まれて経験した過去の人生)の影響を知らず知らずに受けている事が今までの気功リーディングと気功施術からかなり明らかになって来ました。その数多くの例から一部を報告すると、例えば首の痛い人は過去世の戦争で首を切られ死んでいた事がありました。また病院が怖い人は過去世に病院で看護婦をしていた事があり、第一次世界大戦での壮絶な惨劇を見ていたことによる多大な心のトラウマがあった様です。



この様な場合、この過去世の記憶、カルマを消去する事で、先ほどの首の痛みや病院が怖い気持ちなどほぼ改善出来る事が分かり、同様に数多くの人の不定愁訴や精

神的な問題を軽減化させる事が出来ています。つまり私たちの身体の健康から精神的な問題は過去世からの影響を強く受けており、その情報を消去・変更する事でかなり改善する事が出来る事が分かっています。これら肉体起因

ではない体の不調が起こる結果も踏まえ、病気の原因については、

1. 肉体起因
2. 精神起因
3. 幽体起因

の3つに分類される事が分かりました。多くの人はこの3番目の幽体起因の病気について適切に対応して無い場合が多く、どこか病院に行っても原因が分からず途方に暮れてしまう事を経験する場合があります。

この幽体起因の病気には前述の過去世の記憶・カルマの他に霊体の憑依や生き霊(生きている人の強い思い)の憑依の様な事例もあります。この様な幽体起因の病気の場合も今までの経験から高次元レイキによる施術が大変効果を有している事が確認出来ました。この高次元レイキ気功では直接施術の他に、実際会わずとも遠隔にて施術する事が可能です。一度も会

っていないなくても、その人を良く知る人、その人の写真などが遠隔施術者の傍にあれば遠隔にて施術も可能である事も実際の施術結果から確認されています。

遠隔施術の原理についても、これは人間のアストラル体の様な肉体以外のエネルギー体である幽体が存在し尚且つそのエネルギー体のある高次元部分では皆互いに共有していると云う仮説が正しい事を示唆していると考えられます。

それと幽体も含め、その幽体部分の過去の経験や、未来に起こる事象も含めたデータベースのような物も存在する事が分かりました。

肉体部分以外の幽体ではより多くの情報を有し、過去・現在・未来が同時に存在するデータをも含んでいます。この情報データベースに普通の人間が高次元レイキのトレーニングを受ける事により、比較的短時間にアクセス可能であることも講座の受講生の事例から確認出来ました。従って我々の未来についてもこのデータベースを積極的に書き換えることにより、自分と他人の未来が変更可能なのです。

このデータベースは今まで一部の人が言われていたアカシックレコードとほぼ同一であると思われる。このアカシックレコードは確かに存在し、本当に現在・過去・未来のデータが格納されており、そのリーディング・ライティングにより現在・過去・未来を観て、変更する事が出来るのです。これにより未来は決まっているのか？ 変更可能なのか？ 一つの命題にも解答が可能となりました。未来はある程度の制約はありますが、幾らでも変更可能なのです。

これらの事象からアカシックレコードの存在とこの世の活動の關係もある程度分かかって来ました。つまり普通目には見えないアカシックレコードを活用する事や他人の幽体の高次元部分であるアストラル体の遠隔施術などを行う事で、我々は自分のみならず家族、友人、知人など他の人の人生もより健康に、より幸福に、より活性化する事が出来るわけです。

当然ながらアカシックレコードで未来をリーディングする事でこれから売れる商品やサービスなども調べる事が可能となる訳です。つまりアカシックレコードに沿っ

た技術開発や商品・サービスの提供が今後のビジネスでの鍵となることは容易に類推する事が出来ます。その開発を積極的に実施すればビジネスでの成功も容易な事となるでしょう。この様に目に見えない世界の情報を活用するにはまずアカシックレコードと繋がる事が肝要である訳です。

さてこのアカシックレコードと繋がる方法ですが、以前から色々な方法が試行されて来ています。その中の多くはとても厳しい修行と時間がかかる方法ばかりでした。そこで2年程前に誰でもこのアカシックレコードと上手く繋がる方法として飛沢式呼吸法を開発しました(詳細は「これからのビジネスエリートは見えない力を味方にする」飛沢誠一著東洋経済新報社を参照されたい)。今ちょうど世の中への普及を開始したところです。

この方法は身体の中を特別な呼吸法と共に気のエネルギーを循環させる事です。身体の中の気を呼吸と共に強制的に循環される事により身体と心の波動を上げる事で身体の次元が3次元から6次元に上昇し、結果としてアカシックレ

コードにアクセス出来ます。更に安定化してくるとアカシックレコードの書き換えも可能となります。これからの時代は変化が激しく、大きな混乱が起こります。しかしこの方法を活用することで、多くの人が宇宙の意志(アカシックレコード)と積極的に繋がる事が出来ます。うまく宇宙の意志と繋がる事でその変化に対して自信を持って力強く対応して行けるようになります。その結果多くの繋がった人の積極的で能動的な行動がよりのよい社会を創っていくことになるでしょう。これからも多くの人にこの方法を広め普及する事に注力してまいります。

第三九七回関西日本サイ 科学会研究集会報告

妖怪って何？ 妖怪講座一日
入門 有名妖怪スポットを巡
って

講師 亀井 澄夫氏

とき 平成27年4月18日
ところ 大阪科学技術センター

亀井氏は日本妖怪研究所所長。有限会社レベル代表取締役。編集者、音楽家、映画監督など、多岐にわたる創作活動を展開。「妖怪講座」や「ゴブリンマーケット」、コンサート、マラソン大会などのイベントの開催や、『妖怪新聞』『妖精美術館』『Fairy Book 妖精図鑑』など妖怪・妖精関係の書籍や、19世紀の妖精絵本の日本語版『誰でもない王女さま』『巨人退治のジャック』『ゴブリンマーケット』などの発行が好評を得ている。各文化センターにて妖怪講座の講師をつとめ、大阪日日新聞での「大阪ロマン紀行」も160回を超えて好評連載中。天満天神繁昌亭など、寄席にて怪談や化物噺の解説、「COMIXチャンネル」おちやのこ「satsuki」の準レギュラーとして大阪の不思議を語る。

概要

妖怪ってなんだろう。時代とともに変わってきた妖怪のイメージを、全国の妖怪スポットを巡りながら解説。画像を見ながらの楽し

い講座でした。

主な内容

1. 妖怪とは何か
神・人・物・超自然的の四つの視点から考察。
2. 大妖怪の時代
鶴 玉藻の前 紅葉 酒吞童子 など。
3. キャラクターの時代（ゆるキ ヲラへの系譜）
鶴の赤ちゃん 鬼姫 見越し入道など、江戸時代の草双紙の妖怪たち。
4. 妖怪スポット巡りの楽しさ
茂林寺 大中寺 太宗寺 京都など各地あれこれ。

ポイント

- ・江戸時代は妖怪と書いて「ばけもの」と読んだ。
- ・学問の対象にならなかつたものを、学者らしい研究対象のような言葉として「化け物」から「妖怪」という言葉を採用。
- ・水木しげる氏により、改めて一般に妖怪が定着した。
- ・妖怪とは何か（四つの視点から考察）

1. 零落した神々

ひとつのケースとして、その地域で後発の神々が栄えて、もとの神が落ちぶれる場合を紹介。
河童は、水の神が落ちぶれたとも言える。

一例として、隠岐の島の古典相撲などを紹介。相撲は神の判定を求める神事であった。隠岐の島は相撲の発祥の島と言われている。昔は神社に土俵があるところが多かった。

河童は相撲をとる。元は神であるので、人間には負けられない。



2. 人を妖怪と見る

山精（塩が好きとされている）
その理由
河童は冬になると山に入って山精となる。
つまり、夏に河川工事をする人

が、冬に山に入って鉾山などで働くこと。

稀人との接触時に妖怪と思う（異文化の接触）。

3. 動物を妖怪と思う

猫が年を経て尻尾が2本になる。
有馬、佐賀などの化け猫話は有名。
動物の習性や人間に似たところなどから妖怪を創造。

4. 物を妖怪と見る

九十九神絵巻を紹介。
うち捨てられた古道具が化ける。
その内には物をもつたいないと思ふ気持ちがある。

十返舎一九の家財道具の化け物などを紹介。

5. 超自然的なもの

それでも妖怪の存在を信じる人々がいる。「確かに見た」という類のもの。実話怪談。

妖怪のキャラクター化は江戸時代から

・ヌエが都島でマスコットになっている。

・京都にはヌエ退治の碑がある。

・玉藻前（九尾の狐）と鳥羽上皇

の話を紹介。

安部泰成（陰陽師）が正体を暴き、狐は奈須に逃げ帰る。

殺生石や奈須温泉神社などを紹介。

上方では講談が廃れている（講談は怪談物が得意なのに）

理由

・戦後、GHQによって仇討ちなど、戦記物の講談が禁じられた
・先代の旭堂南陵は怖いのが苦手だった。

・四谷怪談を上演中に、高座で講談師が心臓麻痺で急死したことにより、上方では四谷怪談は止めネタとなった（東京では盛んに上演）。

☆

☆

妖怪は時代、土地によって変わるらしい。これは人の深層意識を反映しているということであろうか。

当日の参加者は会員11名、非会員4名、合計15名であった。講演記録テープは20000円（送料込み）。事務局（0797・22・6425）まで。

（関西日本サイ科学会会長

河野明夫）

河童についての思い出

私（河野）の故郷宮崎では河童のことをガラッポと言った。夏の終わり頃に川で泳いでいるとガラッポが相撲をとりに来るとおどされたものである。そのときの心得としては、ガラッポは頭の皿に水が入っていれば力が強いが、水がなければ赤子と同じで力がでない。まずは深くお辞儀をせよ、そうすればガラッポもお辞儀をするから頭の皿の水がこぼれるので負けることはない、と教えられたものです。



第三九八回関西日本サイ 科学会研究集会報告

チャクラに響くコトタマパワー
体感セミナー

講師 宮崎 貞行氏

とき 平成27年5月16日
ところ 大阪科学技術センター

宮崎貞行氏プロフィール

昭和20年生まれ。東京大学卒業後、官庁に奉職、その後大学教授（行政学）を経て、現在は、日本人の魂を振り起す作法と神学を探究している。近著に『宇宙の大道を歩む』、『天皇の国師』、『寄りそう皇后美智子さま』、『アワ歌で元気になる』など。

概要

「初めに、背筋を整える体操を行い、膀胱経の気の流れをよくする。次にアワ（天地）呼吸法と天の鳥船を行い、全身を活性化する。体が整った段階で、ウオアエイのコトタマを発し、チャクラのどこに響くのか体験してみる。そのほか、ひふみ歌、トホカミ歌など皇室に伝わるコトタマの威力を実地に体験してみる。

最後に、アワ歌を練習し、全身の細胞を震わせる。アワ歌は、身体だけでなく、地球と宇宙を整える波動ともいわれているが、裏の世界に響かせるイメージを持つて歌う。」

すべては響き、すべては波動

真言密教の空海は地、水、火、風、空の「五大はみな響きなり」といつている（声字実相義）。真言密教は、マントラ（真言）の響きを通じて、感性和靈性を高めようとする点に特色がある。

たとえば、般若心経のマントラ。「ガートイ、ガートイ」Gate gate paragate parasangate bodhy svaha (ナ)で全員唱和する)

心経(heart sutra)のマントラにはア行の音が多い。これはハートのチャクラに響く音であり、したがってハートストラと呼ばれた。

幕末の国学者、山口志道も、宇宙は聞こえない音で満たされており、その宇宙の音の一部が肉體器官を通じて発露したのが、音声であると考えていた。したがって、彼によれば、その音声を宇宙に共鳴するように発声すると、雲を呼び雨を降らせ、台風の進路も変えることができる」と主張した。それを実施した超能力者たちも、多数いる。

西洋が論理の文化であるとすれば、日本は響きの文化である。フランスの文化人類学者レヴ

イ・ストロースは、「日本の文化は調べ（トーン）の文化である。」と書いている。日本は調べの文化——和歌、俳句、謡曲、詩吟などを発展させてきた。

声の出し方、イメージの使い方

イ、エ、ア、オ、ウは、それぞれ体のある部分を響かせるように発声する。

イ 上顎に響くように、脳下垂体と松果体に響くように

エ 下顎を前に突き出し、耳の奥を響かせるように

ア 喉の奥を開き、前に吹き付けるように

オ ミゾオチと食道が震えるように

ウ 下顎に響くように、そして唇を震わせる

イ、エ、ア、オ、ウは、チャクラの6から2に対応しているので、これを意識し、チャクラに集中しながら響かせるとよい。

7 サハスララー 松果体

6 アジナ 脳下垂体

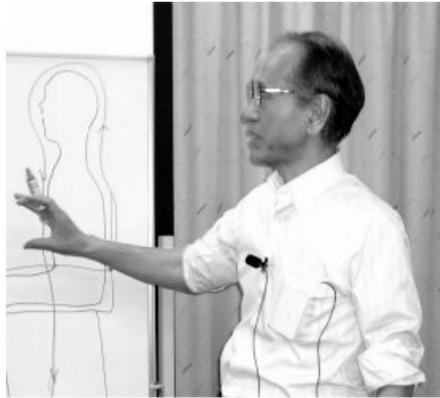
5 ヴイシユダ 甲状腺

- | | | |
|---|----------|------|
| 4 | アナハタ | 循環系 |
| 3 | マニプラ | 消化系 |
| 2 | スワディスターナ | 泌尿器系 |
| 1 | ムラダーナ | 生殖系 |

チャクラは体の表側(花)と裏側(根)両方にある。その表と裏を意識しながら、ウ、オ、ア、エ、イで背中を昇り、イ、エ、ア、オ、ウで前面を降る。これは小周天のひとつである。これにより暖かいモヤのようなものの移動を感じる。モヤのかたまりを体の後ろと前を自在に動かすように、練習するとよい。

気といわれるものに四つある。身気、心気、霊気そして先天気(宇宙の気)。身気は、意識しなくても体の経絡を流れているもの、心気は、意識によって早くも遅くもできるもの、霊気は、さらに精妙なものの、先天気は、それらを生み出す大本の根本的な宇宙気である。身気と心気は、体の中だけでなく、体の外側にもながれており、練習によってその体外の流れを強化することができ、霊気と先天気は、次元の高い場にある。

それらの気は、トーラスの形で、体の周りを流れている。トーラスというのは、たとえて言えば、穴の極めて細いドーナツのような形をしている。そのドーナツの周りを、右回り、左回りで猛スピードで裏から表へ、表から裏へと回転している。それが、あらゆるものの波動の流れであり、素粒子から地球まで、同じようにトーラスの動きをしている。



トーラスをイメージしながら、前後左右、あるいは縦に8の字状に体をゆらすことで気の流れのパランスを回復することができ、(石上の作法、天の鳥船体操などを試みる)

タマフリにより、元気を回復する

タマとはエネルギー体のことである。古神道では、四つのタマがあるとされている。

- | | |
|------|---------------|
| アラタマ | 肉体(荒い波動) |
| ニギタマ | 心体(微細な波動) |
| クシタマ | 遠方へ飛び、透視する波動体 |
| サチタマ | 包み込む愛の波動体 |

「タマフリ」というのは、これらのタマを、振動させ、増殖させること、それにより、人を元気づけたり、いやしたりすることができ

る。日本語の「ふる」には、五つの重要な意味がある。

1. 振る
2. 降る
3. 触れる
4. 震う
5. 殖える

この中で、最も重要なのは、増殖するという作用である。タマのエネルギー体を増やし、増殖し、発展させていくことが人の務めである。周りの人々、草木、山川、海空、地球などのタマをフル、増殖させ

るようにしなければならない。

アトランティスの時代、「オーアーウーム」などのコトタマで、病人を治療していたとエドガー・ケイシーは伝えている。大災害の後生き残ったアトランティス人がエジプトに着き、そこでピラミッドを作りアトランティスの叡智を残した。エジプトのピラミッドのなかでも、神官たちはコトタマで、王たる人の霊性を向上させたり、病気の治療に当たったりした。

数と形も波動体である

また、言葉だけでなく、形、数、想念もエネルギーをもった波動体である。

- | | |
|-------|---------------------------|
| カタタマ | 三角、四角、丸、それらの組み合わせの形から出るもの |
| カズタマ | 1から9までに集約される数 |
| オモイタマ | 想念、愛、憎しみなどは、自分を離れて飛んでいく |

形もまた、微細なエネルギーを出している。

三角と四角の組み合わせによる12面体、五角形と六角形の組み合わせによる36面体などがある。この36面体をペットボトルの水のそばに置くと、ボトルに細かい泡が生じ、次第に集まって大きい泡をつくる。ある形そのものが、水の分子構造に影響を与えていることが分かる。

古神道では、火は上向き、水は下向きの三角形で表徴される。二つの三角の組み合わせからなる六芒星は、火と水の作用を統合することを意味しており、これは、エジプトの神殿に記録されている。後世にユダヤ人は、これを国の紋章としたが、我が国の六芒星のほうがはるかに古いのである。ユダヤから来たものではない。

潜象界は、三の原理で動き、現象界は、陰陽の二の原理で動いている。

三の原理とは、一者から昇る力と沈む力が生まれ、三位一体となって活動していることを言う。ホツマツタエでは、ウという中心から、左巻き、右巻き、遠心(力)と右巻きの渦ワ(下降力、求心

力)が生まれ、ウアワの三者が現宇宙を形成したという宇宙観を示している。これが、のちに古事記において、アマノミナカヌシ、タカミムスビ、カムイムスビという神格化された形で表現されたが、内容は同じである。

空海もこの原理が分かっている、曼荼羅の金剛界マンダラは三の原理で描かれ、胎藏界は二の原理で描かれている。金剛界は、九の部屋に、九の仏が描かれ、胎藏界は、大日の周りに八の仏が安置されている。三と二の原理は、互いに共鳴しながら、交流しあっているという宇宙観がマンダラに含まれている。

ヒフミは、音によるカバラ

空海は伊勢神宮でヒフミの原典を見つけたが、それによると、ヒフミは、まるい玉の二個、三個、四個、五個、六個などの組み合わせで表現されている。すなわち、三角、四角、五角、六角などの組み合わせが本来のヒフミの意味なのであった。(鏡、剣、玉に比定されたのは、律令時代に入ってからである)

それらの形を組み合わせると、みごとにカバラの「生命の樹」となる。カバラは、十六世紀にエジプトの古文書から発見されたもので、それをユダヤ人たちは、ユダヤ教の中に取り入れたが、もとはエジプトの思想である(モーゼは、アークをピラミッドから盗み、エジプトの一神教をユダヤ人の守護神にすり替えたが、ユダヤ教そのものは極めて新しい宗教である)。

『生命の木』は、みごとに、ヒフミヨイムナヤコトと対応している。その意味は、宇宙の中心(ヒ)から、上昇力(フ)と下降力(ミ)が生じ、三位一体となって現宇宙を創り、そのあと陰陽の組み合わせ(ヨイムナ)によって万物が生じた。生まれた万物は、その役目を終えた後、高次の意識体(ヤコト)となって昇りいき、再びもとの宇宙の中心(ヒ)に還るといふ永遠の循環をうたったものである。これは、まさに古代エジプトに発祥するグノーシスの思想でもある。古神道と古代エジプトは、密接な交流があったものと推測される。

したがって、ヒフミをうたうときは、永遠の循環をイメージしながら、繰り返し繰り返し歌うのがよい。できれば、両手で三角と四角を形作り、ピラミッドの中にあることを想いつつ、そのカタダマのエネルギを浴びながら、ヒフミを豊かに響かせたい。そうすれば、痛みは消え、死者も元氣よく、霊界で活動を始めるはずである。そのほか、天(ア)と地(ワ)を結ぶアワの歌、各次元の場をととのえるトホカミエヒタメのコトタマも、重要である。皆が、自分の感性にあったコトタマを探し、日々唱え、周りの環境と自分をととのえていくことが大事と思う。

(宮崎貞行)

☆ ☆

当日の参加者は会員11名、非会員26名、合計37名であった。講演記録テープは2000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。
価格 1本につき 三五〇〇円
(送料含む)

以下のビデオ映像から、御注文願います。

- ◎2013年4月本部例会
講師 大野百合子氏
「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」
- ◎2013年5月本部例会
講師 浪平博人氏
「イメージによる瞬間教育」
- ◎2013年6月本部例会
講師 松原秀樹氏
「アレルギーを治す秘訣」
- ◎2013年7月本部例会
講師 酒向猛氏
「千鳥学説を知るために」

- ◎2013年9月本部例会
講師 奥野節子氏
「ブラジルの奇跡のヒーロージョン・オブ・ゴッド」
- ◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと自然治癒力」
- ◎2013年11月本部例会
講師 小久保秀之氏
「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」
- ◎2014年1月本部例会
講師 小川博章氏
「魂の発見」

- ◎2014年4月本部例会
講師 西川真知子氏
「生命の智慧 アーユルヴェエダ―アーユルヴェエダから見る生命のすばらしさ―」
- ◎2014年5月本部例会
講師 岩根和郎氏
「般若心経とサイ科学」
- ◎2014年6月本部例会
講師 秦西平氏
「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- ◎2014年7月本部例会
講師 小林信正氏
「ラップ現象の究明―オーブとの関連性について―」

- ◎2014年9月本部例会
講師 石川允朗氏
「死後の世界と輪廻転生についての一考察」
- ◎2014年10月第24回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと天変地異」
- ◎2014年11月本部例会
講師 坂井洋一氏
「日本人は知らない―縄文日本の驚くべき真実」
- ◎2015年1月本部例会
講師 英国からの特別ゲスト
THE SOURCE CODES
ソース・コードは何ですか?」
- ◎2015年4月本部例会
講師 根本泰行氏
「水からの伝言」と「新しい水の科学」
- ◎2015年5月本部例会
講師 水華氏
「君を見放したりはしない―宇宙神技点描画家―水華の世界(ヒカルランド)」
- 講師 上部一馬氏
「巨大地震を1週間前につかめ」
- ◎2015年6月本部例会
講師 末武信宏氏
「先端アンチエイジング医療&超人を生む自律神経の開発」

- ◎2015年7月本部例会
講師 飛沢誠一氏
「見えない世界の情報を如何に活用するか?」

※御注文はメールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2010年〇月〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psi.mail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。



《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文はメールまたはFAXで、下記のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇〇〇氏講演録音購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp FAX 047-330-4091

- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」
- 2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の存在と能力」
- 2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」
- 2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

4. 検討ならびに考察

オーブ(たまゆら)の形成要因をみる。地球を包み込んでいる大気は、上空では、宇宙線などの放射をうけて電離している。これが大気電界と帯電したエアゾール等の作用により、陰、陽イオン・ボール(プラズマ・ボール)になる。これらの内、電子、陽電子、プラナ(バイオ・ホトン、微細身素粒子)群を内包し、これを基盤とするイオン・ボールがオーブを造り、オーブと撮影者のサイ(気)が同調(共振、共鳴)したオーブが「たまゆら」であり、これが、研究対象になると判断している。なお、都合により素粒子で説明しているが、実際は光群であり、観測するまでは、素粒子群(オーブ)の形や姿は未定である。

一般には、オーブ(たまゆら)の形は円形(球体)であるが、特別なものとして、本稿に示した菱形オーブがある。この形は、本稿以外ではWebサイト等で2~3見受けられるのみである。この菱形オーブは、時間と場所をきめた時にも出現しており、再現性があると言えよう。また、意識によって、ある程度は、制御されている、と判断している。外国では、一般には、可視光で見えるのはUFOであると称しているが、本稿では、オーブ(たまゆら)が可視光(色彩像)で撮れている。

オーブは、霊界に属しているという主張がある。本稿のオーブには再現性が表れているので、この研究の意義と目的として、オーブを介して霊界と情報交換が出来る可能性がある、と言えよ

う。例えば、自分を護る守護霊に連絡して、何の為に生きているのか? 生きる目的や、より良く生きる方法、を教えて貰う。または、ピンチの時に助けて貰う。これらが実現する事が出来れば、どんなにか素晴らしいことか。本稿のSDK師の様な能力者は、普通人の我々よりも僅かにある部分の能力が高い、と考えることが出来る。普通人でも修行や努力によっては、特種能力が身につけられる、と考えている。

サイ(気)科学が進歩して、能力開発が進み、特異機能が身につくについて、霊界と連絡が取れる。例えば、ケイタイ電話で相手呼び出すように、私の意念によって私の守護霊を呼び出して、情報交換することが出来る可能性がある。例えば、条件設定をする。自分の守護の霊を見つける。意念で連絡して、お願いして、助けて貰う。

なお、外国では(米国、西海岸カルフォルニア州、Mt.Adams等)、いっばんに、赤外線カメラを用いて撮影した白黒模様のオーブ動画がWebサイトなどに出ている。日本では、本稿で述べたように、デジカメやハンディ・カメラを用いて、可視光でオーブ動画が撮影されている。つまりオーブ動画の色付像が得られている。なお、ごく最近になると、Webサイト等によれば、米国ECETI等では、大型の液晶モニターとレーザー光を用いて、オーブを呼び出し、ビデオカメラで、可視光状のオーブを写し出している例がある、との事。

◎ サトルエネルギー学会
20周年記念大会のお知らせ
(日本サイ科学会協賛)

大会テーマ

「見えない意識」と「見える現象」との橋渡し」

21世紀の歩き方・心と躰・意識の次元上昇

日時 平成27年10月17日(土)

開場 9時45分 開演10時15分

閉演 18時

会場 大崎ブライトコアホール

交通 JR大崎駅より徒歩5分

料金 前売りチケット

サイ科学会会員 六千円

一般予約 七千円

※内容等詳細はサトルエネルギー学会の公式サイトをご覧ください。

※申込みお問合せは

サトルエネルギー学会相模原分室

電話 042-748-8240

E-mail office@subtle-eng.com

URL <http://www.subtle-eng.com/>



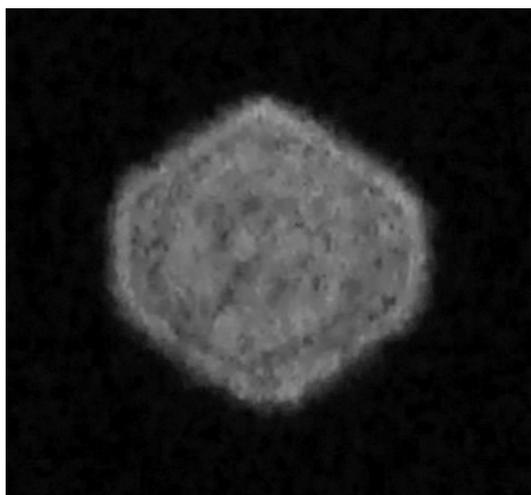


写真6 (orb9)

やって来ると判断できた。そこで、望遠ズーム写真の写真倍率(液晶モニター上)を変えて撮影する事により、オーブの成長過程動画を記録する事にする。場所は上記と同じ静岡県磐田市内。上記の翌日の2014年11月24日(月)夜、晴れ、動画として記録された時間は31分11秒である。まず、はじめにデジカメの液晶モニター上で、遠くにある星(又はオーブ、白点)を探し出す。すると、希望する芽(初期)オーブが飛び込んでくる。

液晶モニター上の倍率を変えると、菱形オーブの内部の模様が多少変化する場合もある。つぎに連続的に撮影された動画をとめて、拡大して得られるオーブ静止画像を見る。倍率を小にしたときの「切り取り像写真」の写真5(省略)には、極小球状の白色発光体(芽オーブ)。倍率を中位にした写真6 (orb9) には、ほぼ菱形で内部に模様(表情)のあるオーブ。倍率をより大にした写真7(省略)には、表情のあるより大きな菱形オーブが写されている。これらから、同一場所で、同一人により、菱形オーブ像の成長過程が写されていることがわかる。これは、菱形オーブの再現性が起きている事を意味するのであろう。

2-3) オーブ動画の意識面

撮影者のSDK師はデジカメを両手に持ち、変性意識に近い状態(ASC)で、液晶モニター上に現出したオーブに語りかけながら撮影している。——オーブの名称(愛称)はシリウスちゃん、木星ちゃん、金星ちゃん、月、星、等である。呼び掛けに応じてそれぞれに対応したオーブが出現してくる(別報で報告)。——金星ちゃんがシューッと入ってきた、——向こう側からキテくれる、——。キラ、キラ輝いている。——アッ、逃げた、逃げないで、この人、行かないで。必ずミドリちゃんがいる。——アーきれい、——スゴイ——くるくる回転している、——何、これ、赤だ、——よし、ぱちり(動画を切り取って静止画にする)、何、これ、——分離した、——どンドン動く、——私を呼んでくれて有難う。——。

以上などから、写している人の意識(ASC)が動画(特定オーブ)を呼び込んでいる様にみえる。またポジティブな遊び感覚で、興味を持って写している様子である。

2-4) オーブ動画の特徴

(1) オーブは割合に柔らかい結合状態で、種々様々に、形と状態が変化している。つまり、輪郭は不鮮明、形はほぼ一定。(2) 速度は、ゆら、ゆら、揺れる程度。またはピョン、ピョンと飛び跳ねる。(3) 三次元的な動きをする。回転もあり、また分離と結合がある。(4) 撮影者の意念の働きによって呼び込まれ、変化する様子。(5) フラッシュ光無しでも撮影出来る。(6) 色は乳白色から赤色まで様々に変化する。つまり、近赤外線から可視光まで変化する。しかも(7) 場所と時間をきめた時、ほぼ同一オーブが出現する。つまり再現性がある。

3. 内部模様のカオス解析 —— (省略)

の心理的条件(ASCに近づける)を揃えると写るようになる。良く撮れる場所とは、寺院仏閣(祈りの場)ならびにパワースポット等で、何回も普通(通常、既知)のオーブが撮れる(オーブが存在している)場所をいう。ただし、これには個人差がある。

2. 撮影、実験結果

撮影実験は、2014年8月6日(水)～2015年2月7日(土)。オーブ出現が未知の場所(有名でない)であると判断される長野県伊那市、静岡県磐田市、その他。晴れ、夜、に実施された。デジカメ撮影者はSDK師、彼女は特異能力保持者であり、変性意識状態(ASC)に近い状態で実験している様子に見えた。動画撮影の実験は8回以上おこなわれており、全部が成功している。本稿では、それらの中の二例について報告する。

2-1) オーブの動的変化挙動像

撮影は2014年11月23日(日)、晴れ、夜、場所は静岡県磐田市内。カメラを通常の広角にして遠くにある星(白点またはオーブ)を探しだし、望遠モニター上に写し出す。意念を集中して、「星(オーブ)よ、キテーー」と念ずると、突然に、ピョンと芽(初生)オーブが飛び込んでくる。そして、近づいたり遠ざかったりする。上下左右に動く。またキラ、キラ瞬いている(微動)そして回転する。様々に乱舞する。オーブの光群の結合は、わりあい弱い感じである。これを見やすい状態まで拡大する(液晶モニター上、倍率大)。

オーブが液晶モニター上に写り込み、成長した後、ズームを固定して、オーブの動的な変化挙動をデジカメで観察、撮影する。同時に別置きの手回しカメラで、これらの全体像を記録する、この場合の撮影時間は、18分38秒であった。なお、これらのオーブの動画は、手回しカメラにより、フラッシュ光無しで撮影されている。写真1(オーブ撮影像)は、手回しカメラが写し出したデジカメの液晶モニターを含む全体像の一例である。



写真1 (orb撮影)

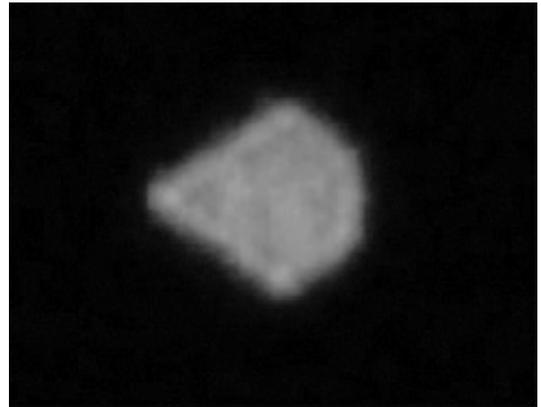


写真2 (菱形2)

次に動画をコピーして得られるオーブ像の写真を示す。写真2(菱形2)、写真3(省略)、写真4(省略)は、動画オーブ像の「切り取り像写真」である。全体として、十の字の各尖端を結んだ形の四角形の菱形オーブが写されている。写真2は、その菱形の右がわの一部が円弧に置き換わったもの。写真3は、横方向の尖端が丸められた形。写真4は、ほぼ完全な菱形、である。このように、動画として得られたものは全部が菱形像である。この菱形は、撮影場所に関係のある特異現象であるといえる(場所としての再現性あり)。また大きさもほぼ同一である(再現性あり)。

2-2) オーブの成長過程動画像

予備実験ならびに前報(PSIJ、2015年7・8月号)によれば、オーブは次第に成長しながら此方に



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

オーブ(たまゆら)形成過程の動的な観察

佐藤 禎花 佐々木 茂美 苗 鉄軍

日本の「たまゆら」は万葉集の時代から知られており、死人の霊や魂などが写り込まれている写真像であると言われてきた。しかし時間が経過して、近世の「心霊写真」の中には、幼稚なトリック写真であると見破られるものもあった。「オーブ」はデジタル・カメラで撮影した写真(CCD)像の中のノイズとして出現してきたので、「オーブ」もそれらの一種であると言う人達がいる。

たとえば多くのカメラマンは、オーブや心霊写真は、レンズフレヤ(ハレーション)や、またはガラス、水滴、埃等に対するフラッシュ光からの反射である場合が多いと言う。残念ではあるが、一般にはそのように考えられている。しかし実際に検討してみると、意識と体外の巨視物質(オーブ)との間で情報交換している(マクロPK)現象の一種であると考えられるので、重要な研究対象であるといえよう。今回は、オーブとそれが形成される過程を動的に観察し、体外にある巨視的なオーブ(たまゆら)像と意識の間の情報交換(相互作用)を知るための基礎的な検討をおこなう。

1. 実験方法

使用したデジタル・カメラは市販のカシオ EX-ZR700BK、カシオ EX-Z330ならびにハンディ・カメラ、ソニー HDR-CX270、パナソニック HC-V210Mである。望遠ズームを用いて、カメラの焦点距離を遠くに合わせて(倍率は液晶モニター上で設定)写すことにした。しかし、このようにすればカメラの視野が狭くなるので、オーブ

を探しだすのが難しくなる。そこで、予めデジカメを用いて広角で(焦点距離、短)液晶モニター上に小光球(白点状の星、又はオーブ)を写し出し、つぎに望遠ズームで拡大して(焦点距離、長)見やすくしてから観察し、同時にこれの動的な変化を別置きのハンディ(ビデオ)カメラで撮影して「オーブの動画」を写すことにした。なお、今回は、カメラを「手持ち」で写す方式をもちいた。

別報によれば、オーブは近赤外線域に存在しており(活性化エネルギー、1.4eV)非可視なので、液晶モニター上でのみ可視となる。つまり、はじめに、デジカメの液晶モニターを用いて微小オーブを探し出し、つぎにこれを拡大して観察する(測定する)事にした。この理由として、デジカメのシャッターを半押しにすると、カメラからは近赤外線が放射されるので、その視野内にオーブが来れば(写り込めれば)、液晶モニターに映ることになる。つぎに、これを拡大して、撮影し記録する。この時、場合によっては、肉眼で見える(近赤外線から可視光にまで拡大する)事もあった。このような方法でオーブの動画を記録する。同時に、適時にデジカメを全押しでシャッターを切り、オーブの切り取り静止像を撮影・記録する。

撮影場所については、オーブが写り難い場所と、良く撮れる場所がある。しかし、なかなか撮れない(オーブが居ない)場所でも、天候条件等の物理的ならびに、無心で熱心に撮影するなど



サイジャーナル

月刊
27-11・12
第424号

日本サイ科学会 平成 27 年 11 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龍荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--	---	--	---	---

十一月本部例会のお知らせ

野性と靈性・ヒトの原点 「直立二足歩行」から問う

講師 坪井 香讓氏
「8気流法(身体技法)創始者」

日本の芸道や武道などの特色の一つは「老い」を負の価値でとらえないところである。私のお出会った合気道の植芝翁は晩年、自分の最期の息の時にこそ、最も冴えた技を見せるのだと言い、その通りにした。他に武道の老名人達の似た逸話も聞く。画家富岡鉄斎は70歳過ぎまでは「若描き」とされ、その後の作品にこそ高い評価がされる。江戸期の木食上人は80歳過ぎて生命輝く彫刻作品をものした。彼等は最晩年に幼児のような無邪気を放つのである。能楽でも60位までは若僧(?)とされる。

これは、一つには生命観や身心のとらえ方、その実現技術に秘密がある。昔の人は凄かったで終わるのでなく、そこに何が生じていたのか？

舌、指、掌、足、息、釣合い、

そして想いなど具体的な技術が大切で、私は(身体の文法)として30年以上、ジャンルを越えて探求してきた。今回、(気)の世界を含みつつ、一般向きの実技(希望者参加可)と武道の演技を通して解明し、論じたい(特別演技・气流舞も)。

※武道家であり、身体を使った気の芸術家でもある坪井香讓氏の御講演と气流舞の実技のご紹介もある貴重な機会ですので、皆様はご友人、知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●坪井香讓氏のプロフィール

早大哲学科(心理学専修)卒。少年期にロマン・ロラン、ユング心理学に触れ、弓道と合気道等実践。1980年ビジョン体験で身心技の極意の一つに出会い、8気流法創唱。パリ国立舞踊研究所、朝日カルチャー新宿、相模女子大(非常勤2003~2006)講師歴任。『やわらげの武』最高師範。著書『メビウス身体気流法』平河出版社、『気の身体術』工作舎等多数。

今月号の記事

- ◎十一月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎十二月一月本部例会のお知らせ
- ◎関西サイ科学会十一月十二月一月研究会のお知らせ
- ◎第3回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎第26回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎六月通常総会報告
- ◎平成27年9月本部例会報告
- ◎第三九九回関西サイ科学会報告
- ◎第四〇〇回関西サイ科学会報告
- ◎オーブ(たまゆら)形成進行過程の望遠ズーム撮影
- ◎サイ現象のメカニズムスカラ1波の有源性

日時 平成27年11月14日(土)

午後1時30分~4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(10/11受領分まで)

金六万円也 木村 陽一 様
金二万円也 匿名 様
金一千元也 前田 知則 様
金一千元也 小山田昌弘 様

十二月本部例会のお知らせ

忘年会も兼ねた会員の体験 意見発表と討論の会

毎年恒例となっている一人の講師の講演ではなく、参加者の皆様からのUFO、超常現象、心靈現象、オーブ等サイ現象に関する目撃・体験や意見の発表、それらをテーマにした意見交換・討論等、気楽な感じで懇談会を開催致します。

皆様の中で、ご自分で撮った不思議な写真、ビデオ映像等をお持ちでしたら是非ご持参してください。(VHSテープやDVDビデオ

等の映像をお見せしたい方は、早めに事務局にお知らせ願います。) スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。また、ご自分では気が付いていないのに、思いがけない超能力を発揮する方もおられるかもしれません。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。参加費は、会員、一般とも千円です。ので、気楽にご参加願います。

日時 平成27年12月12日(土)
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ7階701会議室
J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 一〇〇〇円

一月本部例会のお知らせ

※サイ科学の主要研究テーマとなったオーブ(ORB)につきまして、3名の主要な研究者により、最新のデータを公開していただき、オーブの正体やその機能、メカニズムについて、解説していただきます。日本における最先端のオーブ研究が分かる貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

オーブ研究の現状報告 (動画を含む)

講師 佐々木茂美氏
日本サイ科学会名誉会長
電通大名誉教授
講師 佐藤 禎花氏
北陸日本サイ科学会長
iJO College Japan 学長
講師 苗 鉄軍氏
日本サイ科学会理事、工学博士

内容…(講演30分+質疑応答15分)を、3名が行う。その後、総合討論。

佐々木茂美・マクロPKの新分野として約3年前からオーブ撮影を開始した。講演では主として、オーブの撮影技法とその結果を述べる。

1. 誰にでも撮れる。デジタル・カメラによる近赤外線域撮影の可否テスト。

最初に偽オーブを撮る(雨滴、スプレー水)。次にズーム無し(偽オーブ混入)。ズーム有り(真オーブが多い)で撮影する。様々な撮影条件とオーブ像との関係。

2. 撮影の意識的な面(霊界との連絡)。はじめに、潜在脳(無意識)並びにチャクラの活性化を行う。

脳波(EEG)を α 波と θ 波の「境目」にして、両者が入れ替わる時に霊界を呼び込む(例、鏡見の実験)。このために瞑想(または自己催眠)、真言等を用いて「境目」に入る。なお霊界、アカシック・レコード等は脳幹(視床下部)並びに多次元世界にあると推定。鏡(像)見テスト(鏡像は前後が逆転している)。こちら側(我)と真我(あちら側)を拮抗させ、相殺ゼロ場を形成・累積させるとマクロPKが発生する。

佐藤禎花：web-college-japanの学長として学生を指導している。特異功能保持者であり3年前からオーブ研究を開始した。霊性の目覚め、ヒーリング等の技法を開発。

オーブ動画を介して、霊界との初歩的な情報交換を、世界で始めて成功させた。このオーブ動画の実際の提示、各種オーブ撮影の実験結果等の報告。その他を述べる。

苗鉄軍：カオス解析に関連した研究と、生体計測関連機器の開発等を行っている。講演会では、画像フラクタル解析法を用いたオーブのフラクタル解析。オーブの分類。オーブ動画のカオス解析。オーブ静、動画の比較検討。オーブ形成メカニズム分析。太極図形との関連性等を報告する。

日時 平成28年1月9日(土)
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ7階第一研修室
交通 JR京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 会員二千円 一般三千円 学生一千円

**関西日本サイ科学会
十一月研究集会のお知らせ**

**EGGOからEGGOへ
フルーツ二〇〇〇日物語**

講師 中野 瑞樹氏

日時 平成27年11月21日(土)
午後1時30分～5時
会場 大阪科学技術センター 六〇五号室
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車 北へ徒歩5分 鞆公園内
会費 会員 二〇〇〇円 一般 三〇〇〇円 学生 一〇〇〇円
問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

**関西日本サイ科学会
2015年忘年の放談会**

非会員の方も大歓迎です。
十二月の研究集会はお休みです。

日時 平成27年12月5日(土)

午後5時30分より
場所 山海倶楽部
06(6443)0209

※大阪市西区京町堀1・4・3
TCF肥後橋ビルB1階

※参加ご希望の方には会場案内図をFAX等でお知らせ致します。
参加費 四五〇〇円

※12月2日(水)までに、事務局木村までお申し込み願います。
0797・22・6425

**関西日本サイ科学会
一月研究集会のお知らせ**

地震予知・20年間の検証
講師 森川 薫氏

日時 平成28年1月16日(土)
午後1時30分～5時
会場 大阪科学技術センター 七〇一号室
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車 北へ徒歩5分 鞆公園内
会費 会員 二〇〇〇円 一般 三〇〇〇円 学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

**第3回スピリチュアル研究
分科会のお知らせ**

守護霊との対話

講師 平池 来耶氏
(スピリチュアル・セラピスト)

幼少の頃より、神秘や高次元における霊的体験に加え、心理学、哲学、占術、神秘学を研鑽。個人リーディングや瞑想の集いを通じて、魂の向上のセラピーや人生のアドバイスを行っています。著書13冊あり。
内容 会場にいる方の意識を読み取り、ストレスの浄化と今後必要なメッセージを送ります。

日時 平成27年11月1日(日)
午後1時30分～5時
会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
 会員 一〇〇〇円
 一般 二〇〇〇円

※参加希望者は公式サイト
 のフォームからお申し込み願
 います。

<http://homepages3.nifty.com/PSIJ/form/spform.html>

第26回宇宙生命研究分科会

第3回 異能科学会議

テーマ「存在と無…エネルギーとは何か?」

日時 平成27年12月26日(土)

10時30分～17時45分

会場 品川健康センター3会議室

(品川区北品川3・11・22)

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」行

で「新馬場駅前」下車

会費 会員一〇〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会・
 太陽の会会員)一般二〇〇〇円
 (要注意)会費・一般会費がアッ
 プしておりますので、よろしくお願
 い致します。

(世話人 阿久津 淳)

六月通常総会報告

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

◎平成26年度本部事業報告

1. 会員の現状

(平成27年5月末現在)

名誉会員	1名
維持会員	4名
正会員	191名
学生会員	23名
準会員	63名
合計	282名

2. 講演会、研究集会(敬称略)

本部は10月の「第24回全国大会」
 を含み、計14回の例会・分科会を
 開催した。

◎本部例会・大会

平成26年

4月12日(土) 西川真知子

「生命の智慧 アーユルヴェー

ダ&アーユルヴェーダから見る

生命のすばらしさ」

5月10日(土) 岩根和郎

「般若心経とサイ科学」

6月8日(日) 秦 西平 「気超科

学と宇宙生命哲学 新病気学」

7月12日(土) 小林信正

「ラップ現象の究明とオーブと

の関連性について」

9月13日(土) 石川 允明

「死後の世界と輪廻転生につい

ての一考察」

10月12日(日) 第24回全国大会

テーマ「サイと天変地異」

11月8日(土) 坂井洋一

「日本人は知らない! 縄文日本

の驚くべき真実」

12月13日(土) 忘年会も兼ねた会

員の体験意見発表と討論の会

平成27年

1月10日(土) 英国からの特別ゲ

スト 「THE SOURCE

CODES ソース・コードは

何ですか?」

2月14日(土) スワミ 「物質化

現象無から有は生じる」

◎分科会

●宇宙生命研究分科会

2014年

7月21日(月) 第22回 「第8回

UFO&オーブシンポジウム」

12月1日(日) 第23回

「第2回異能科学会議」

2014年

3月30日(日) 第24回 「第7回

ヒポクラテス・シンポジウム」

●スピリチュアル研究分科会

2014年

11月16日(日) 第1回スピリチュ

アル研究分科会

3. 総会 平成26年6月8日

北とぴあ901会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

平成26年6月8日

北とぴあ901会議室で開催

5. 本部理事会(第184回)第

191回)を4月、5月、7月、

9月、11月、12月、1月、2月

と8回開催した。

6. 出版物 「サイ科学」第36巻

第1号を発行した。

「サイジャーナル」第415号

から第420号までを発行した。

◎平成27年度本部事業計画

- ・10月11日(日)に全国大会(シンポジウムテーマ「あの世と多次元世界」)を開催する。
- ・月例会を9回(4、5、6、7、9、11、12、1、2月)開催する。
- ・宇宙生命研究分科会を3回(7、12、3月)開催する。
- ・スピリチュアル研究分科会を2、3回(4月+)開催する。
- ・本部理事会、全国理事会評議員会を開催する。
- ・サイジヤナルを6回発行する。
- ・「サイ科学」を発行する。
- ・公式サイトを運営する。
- ・「心を科学する博物館 サイ科学遺産」の資料を整備する。
- ・その他

○活動方針として

- ・刊行物に種々の分野の解説・応用や新鮮な情報を増やす。
- ・会の活性化を図るため、例会等でアンケートを実施、活用する。
- ・インターネットの公式サイトやメルマガリストを活用する。
- ・雑誌等の告知欄やメールマガジンに行事の予告を載せていく。

・地方日本サイ科学会との連携を深める。

- ・地方からも講師を招く
- ・理事や若手の幹事(理事候補)、評議員を増やす。
- ・新しい事務局長を募集し、来年6月までに小林から引き継ぐ。
- ・謎、不可思議と思えるミステリー写真や映像などを募集し、展示発表する。
- ・その他

◎地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会

会長 佐佐木 康二

◎平成26年度事業報告(敬称略)

平成26年

4月12日 第194回研究会総会

*平成25年度事業報告、平成26年度事業計画

*『引き寄せの法則』と宇宙人

佐佐木康二

6月14日 第195回研究会

*『若返る水』をつくって飲む

根本忠明、佐佐木康二

8月9日 第196回研究会

*「浄化(真の霊能) 生命力+利他愛」

佐佐木康二

10月11日 第197回研究会

*「霊視の方法」勘がよくなるパワワード」佐佐木康二

12月13日 第198回研究会

*「量子チェシヤ猫と『量子まねき猫』」佐佐木康二

平成27年

2月14日 第199回研究会

*「霊能力や金運は重力場×磁場のことだった!」佐佐木康二

◎平成27年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及び超能力者の先人たちを出来るだけ深く探求して、誰でも本来的に持っているはずの超能力を万人に成長させて人類の活動能力を本質的に高めること」を今後も目指し、次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成果を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進

サイ現象の観測量化―「スカラ」波カメラ」等の開発、気・意識の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証(福来心理学研究所との共同研究)、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究

4. 講演会等の開催

「念写実験」等のテーマで5月、8月に実験会を開催する(福来心理学研究所と共催)

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」(福来心理学研究所との共同事業)及びビデオ資料等の閲覧サービス・管理

中部日本サイ科学会

会長 眞野 博英

◎平成26年度事業報告

研究会I

日程 平成26年9月20日(土)

会場 博愛癒院ホール

参加者 12名

研究会会Ⅱ

日程 平成27年3月14日(土)
会場 博愛癒院ホール
参加者 8名

◎平成27年度事業計画

研究会Ⅰ
日程 平成27年9月12日(土)
会場 博愛癒院ホール
研究会Ⅱ
日程 平成28年3月12日(土)
会場 博愛癒院ホール

講師 苗鉄軍(工学博士、日本サイ科学学会理事)

◎平成27年度事業計画

平成27年5月24日(日)
「外惑星(天王星、海王星、冥王星)が与える個人の運勢の大きな波と世界の動向」
講師 瀬尾泰範(才能開発研究所代表、占星学研究者)
平成27年9月6日(日)

「水からの伝言」と「新しい水の科学」
講師 根本泰行(IHM総合研究所 所長)

研究所長)

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤 禎花

◎平成26年度事業報告(敬称略)

平成26年6月29日(日)

〈映像〉幻解!超常ファイルUF
O映像徹底分析 「光の十字架」
阿久津淳が帯津良一先生に聞く
「自然治癒力とはなにか?」
解説・講師 佐藤 禎花(北陸日本サイ科学会会長 ホリスティック健康科学研究所代表)

平成27年2月22日(日)

「エナジーセンター」〈チャクラでみる五感療法〉

関西日本サイ科学会

会長 河野 明夫

◎平成26年度事業報告(敬称略)

平成26年度は8月12月を除き、26年4月(第387回)から27年3月第396回(の10回開催した。参加者は合計364名であった。

研究会会

平成26年

4月19日 小林信正「靈感・霊能力について」

5月17日 橋本和哉「気で読みとる鬱積感情、霊障とその治療」

6月21日 平岡憲人「よみがえるやまと古事記以前の日本」

7月19日 高尾征治「放射能分解理論の発見と可能技術の数々」

9月20日 安藤理「人生を変える一番シンプルな方法」

10月18日 水口清一「潜在意識と習慣」

11月15日 志賀一雅「いま脳波が面白い!」

波共鳴」

平成27年

1月17日 高峯秀樹「手相の神秘と科学」

2月21日 坂井洋一「比較言語学で読み解く記紀が黙して語らない日本の古代の真実」

3月14日 長堀優「見えない世界の科学が世界を変える」

◎平成27年度事業計画

平成27年度は下表のように8月12月を除き、27年4月(第397回)から28年3月(第406回)の10回開催する予定である。

◎平成26年度事業報告(敬称略)
研究会会を6回開催しました。
平成26年
7月6日 森安政仁「生霊について」
9月7日 森安政仁「心の調和について①」

平成26年

4月 亀井澄夫「妖怪って何?妖怪講座一日入門」

5月 宮崎貞行「チャクラに響くコトタマパワー体感セミナー」

6月 小牧昭一郎「意識による鉱石の成長・サイをめぐるよもやま話」

7月 梶原和義「永遠の生命 死んでたまるか、死は真つ赤な嘘、死ぬのは真つ平御免、人類は死に完全勝利した」

9月 スワミ「物質化現象 無から有は生じる」

10月 中島敏樹「水と珪素の集団リズム力」

11月 中野瑞樹「EGOからEGOへ フルート二〇〇〇日物語」

九州日本サイ科学会

会長 森安 政仁

10月12日 福田 康宏「ボディトクについて」

11月2日 森安政仁「心の調和について②」

平成27年

1月25日 新年会
2月8日 島重忠(長崎伊勢宮神社 宮司)「神社について」

◎平成27年度事業計画
4月12日(日)橋本和哉「医師が語る目に見えない世界」

6月14日 森安政仁「心の調和について③」

7月12日 森安政仁「研究集会」

9月13日 森安政仁「研究集会」

●平成27年度日本サイ科学会役員構成(*印は新任または改選)

- 名誉会長 佐々木 茂美
- 会長 浪平 博人
- 理事長 久保田 昌治
- 副理事長 小林 信正
- 顧問 窪田 啓次郎
- 品川 次郎
- 西條 一止

地方会長兼理事

東北日本サイ科学会会長

佐々木 康二

中部日本サイ科学会会長

眞野 博英

北陸日本サイ科学会会長

佐藤 禎花

関西サイ科学会会長、副理事長

河野 明夫

九州日本サイ科学会会長

森安 政仁

理事(常任理事を含む)

阿久津 淳、大木 高伸、大谷 宗司*、小林 泰樹*、小林 正典、小牧 昭一郎、志賀 一雅*、志村 則夫、徳永 康夫*、中島 敏樹*、鯨江 勇*、本間 修二、前田 知則、苗 鉄軍*、渡辺 宙明*

幹事

飯見 勇、石川 允朗*、小久保 孝行*、吉田 一美

評議員

薄葉 達夫*、占部 浩一、瓜生 昌代司*、大西 章*、奥村 八郎*、加納 愛信、鴨川 裕司*、小林 隆文*、佐藤 ひろ子*、杉立 繁、高橋 至誠*、谷口 五月*、飛田 洋子、三浦 良江*、屋敷 益男

監事

和田 守央*

(1) 本部役員・理事会は会長、理事長、顧問、常任理事、幹事に

よって構成される。

(2) 常任理事は月1回開催される本部理事会に出席できる理事を示す。

(3) 常任理事の選出は、理事の自己申告による。

◎基幹研究賞・功労賞表彰

基幹研究賞↓本年度は該当者はありません。

功労賞

三浦 良江 殿

あなたは日本サイ科学会会員(日本サイ科学会評議員)として、永年にわたり 研究と啓蒙活動にご尽力されました

本学会の輝かしい発展はあなたのご努力におう所が大でありますよって日本サイ科学会功労賞を贈り表彰し感謝致します

平成27年6月7日

日本サイ科学会 会長 浪平 博人

〔平成26年度決算報告〕

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	2,000,000	会費(正)	1,780,000
例会	400,000	会費(学生)	147,500
寄付	500,000	会費(準)	215,000
本・他	100,000	会費(維持)	40,000
繰越金	2,451,346	会費(賛助)	0
合計	5,451,346	入会費	75,000
		例会収入	621,000
		本会寄付	851,300
		本・他	143,820
		広告料	0
		前年度繰越金	2,451,346
		合計	6,324,966

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	2,000,000	ジャーナル発行	600,000
例会	500,000	会誌発行	300,000
寄付	500,000	人件費	1,530,000
本・他	100,000	例会会場費	120,000
繰越金	2,628,247	講師謝礼	200,000
合計	5,728,247	事務用品	120,000
		郵送・配送料	50,000
		通信費	80,000
		会議・打合せ	80,000
		交通費	40,000
		事務所維持費	140,000
		郵便・銀行振込料	10,000
		予備	100,000
		末期繰越金	2,358,247
		合計	5,728,247

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	600,000	657,711
会誌発行	300,000	318,600
人件費	1,530,000	1,534,000
例会会場費	120,000	136,420
講師謝礼	200,000	268,000
事務用品	100,000	267,355
郵送・配送料	50,000	46,209
通信費	80,000	87,541
会議・打合せ	70,000	91,482
交通費	40,000	44,316
事務所維持費	140,000	155,767
郵便・銀行振込料	10,000	3,870
予備(予稿集印刷代)	100,000	85,448
末期繰越金	2,111,346	2,628,247
合計	5,451,346	6,324,966

〔平成27年度予算〕

平成27年9月本部例会報告

あなたの人生が楽しくなる インド占星術

講師 山田 欽子氏

9月12日に講演の機会を与えてくださった日本サイ科学会の皆様、当日お越しくくださった皆様、大変ありがとうございます。

以下は私が当日にお話しした内容を簡単にまとめたものです。

インド占星術とは

インド占星術とは、サンスクリット語でジョーティッシュユと呼ばれ、「光の知識」という意味です。インド占星術の起源は正確にはわかっていませんが、五〇〇〇年前に初めて古代ヴェーダ文献「パラーシヤラ・ホーラ・シヤストラ」に記されました。

インドの賢者たちが深い瞑想状態の中で直接、神の啓示を受けて与えられたものであると言われて

います。

での天体の配置図を「出生図」と呼びます。その出生図の意味を読み解くことで、インド占星術は占



インド占星術は西洋占星術と同様に黄道12星座を使用します。

インド占星術では、太陽、月、水星、金星、火星、木星、土星の他に黄道(太陽の通り道)と白道(月の通り道)の交点であるラーフ、ケートゥも含め全部で9つの惑星(実際は惑星以外も含む)を使いま

す。またこれら9つの惑星の他にラグナ(リアセンドラント)も使用しま

す。ラグナとは、生まれた時の東の地平線と黄道帯との交点です。

出生図は以上のラグナと9つの惑星、星座、そしてハウスで構成

されています。

ハウスはラグナを起点として、12ハウスが割り振られます。

これらの12ハウスにはそれぞれ象意があり、また9つの惑星のうちラーフ、ケートゥを除く7惑星のいずれかが、それぞれのハウスの支配星として対応します。

インド占星術の魅力 ヽ ヱイムシヨタリダシャー

インド占星術の魅力の1つにヴェイムシヨタリダシャーと呼ばれるものがあります。ヴェイムシヨタリダシャーは出生図の持ち主の120年の人生の年表です。

この120年の年表もインド占星術で使用される9つの惑星を用いて表現されます。このヴェイムシヨタリダシャーは、出生図で表現されていることが、いつ頃強く現象化するかを表します。

言い換えると、ある惑星のヴェイムシヨタリダシャーの時期は、その惑星が支配するハウスや在住するハウスのテーマ、星座の性質、また惑星自身の象意が現象化されるため、これらを読み解くことで、

出生図の持ち主の人生の浮き沈み、成功の時期、カルマの発芽する時期など、人生に何が起こるかを予測することが可能になるのです。

終わりに

インド占星術(ジヨーティッシュユ)で自分のホロスコープ(出生図)を眺めると、自分自身についてより深く知り、理解することができようになるようになります。

また、自分の人生の波がどのように来るかを知ること、自分の人生に役立てることも可能です。

インド占星術で自分の人生を知ることによって、過去を悔やみ、未来を心配するのではなく、今現在を生きているということに集中することが出来るようになります。

現在のこの混沌極まる世界において、インド占星術は皆様の人生の道標となってくれます。

人生に迷ったとき、立ち止まった時、どうしてよいか分からなくなったとき、インド占星術はきっと皆様を助けてくれるでしょう。

インド占星術について無料ホロ

スコープを作成する方法などを無料メール講座

<http://ameblo.jp/pipacari/theme>

10086560178.html

で紹介しています。

皆様のインド占星術習得のお力添えになれば幸いです。



第三九九回関西日本サイ 科学会研究集会報告

意識による鉱石の成長・サイをめぐるよもやま話

講師 小牧 昭一郎氏

とき 平成27年6月20日

ところ 大阪科学技術センター

小牧氏は東京大学工学部卒、猪股修二氏と共に日本意識工学会(JPI)を創立時に参加、副会長を務めた。INNE(新エネルギー電磁気学研究会)主宰。現在は日本サイ科学会理事。自由エネルギー研究会会員。著書・機械式時計講座・東京大学出版会2014刊
今回は小牧氏に知人が大事にし

ている鉱石の結晶の大きさが時間とともに変化したことについて話して頂きます。これは人間の意識が物質に作用した事例の可能性があります。

小牧氏はNマシンなど、主として物理領域での異常現象を追求、意識による磁気の発生は長く研究されました。その他、チェコスロバキアのパブリータ・超能力発生器を尋ねたなど、長い経歴をご紹介します。

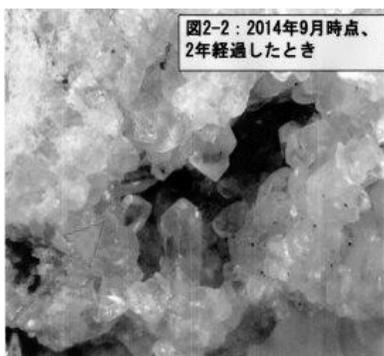
講演内容項目

1. 鉱石が人のふとところで成長するらしい
 2. 磁気が身体周辺に発生して観測できた事
 3. あの世との通信事例
 4. Nマシンの検証
 5. 世界一構造が簡単な電車に関する考察
 6. あの世での楽聖達の作曲した小品を聞く
 7. サイ関係の研究のあり方
1. 鉱石が人のふとところで成長するらしい
超能力者である知人のりんあん氏の所持する鉱石にくぼみがあり、

その中に多数の水晶の単結晶である六角柱があるが、それが2年ほど経過したときに観察すると、六角柱が大きくなっている、形状が変化しているのが観察された(図参照)。

2014年9月に撮影したものを図2-2に示す。

撮影角度が微妙に違うので正確ではないが矢印Aの先端付近は図2-1では空間であった部分が鈍い白い鉱石で埋められているようである。ここでの洞窟の深部の付近でも図2-2の方が浅く見える。



りんあん氏の祖父、祖母や父が超能力的な力を持っていた。また自分自身もあの世の霊と会話をし、癒やし、成仏させたりして、そのようなやり方でクライアントの病気を直すという、単純な霊能師の

範疇には入らない、非常に幅広い能力をもつ人と思われる。

りんあん氏は「体験に基づく憑依・輪廻転生・靈魂の推察」と題して本サイ学会誌に投稿予定で、本年中にその全貌を紹介される。きわめて稀で貴重な、サイ・テラピストである。

2. 磁気が身体周辺に発生して観測できた事

やはり、超能力者の一面であるが、ある意識状態に入るときに、その超能力者の身体周辺に磁気が観測されるということとを正確に把握して実験データとして報告した。超能力者須田氏の身体周辺でのこの磁針が動く、地磁気と同じ位の磁界となる様子をとりえた。また、この人は、空港の金属検知器でよくアラームがなることがあるという。こうした超能力者の身体周辺には現代の物理学では説明のできない現象がいろいろあり、むしろ現代の科学的な方法の方には何か欠けているものがあるのではないかと問題提起をしたい。

3. あの世との通信事例

私はJPI副会長のころ、昭和

49年たま出版発行の『ソ連圏の4次元科学』に出ていたチエコのPavita氏を訪問面会、超能力発生器を見学し、動作の説明を受けることができた。楊枝のような木片が磁針となつて動くということである。このパブリータ氏も他の超能力者と同様で、ある作業、ある意識状態では単なる木片・楊枝を磁針とすることができて、南北を指す磁針として動作させる様子を実際に観察した。前記した須田氏と同様、ある意識状態になつたときに通常ではあり得ない磁化が発生して楊枝が磁針となり、南北を指す状況となつた。全く同様な道具を帰国してから作成して自分と同様な操作をしても全くそのような状況とはならなかつた。楊枝の磁化はパブリータ氏が行うときのみ、生じる。

4. Nマシンの検証

1993年に日本意識工学会会長の猪股修二氏は小型双子ネオジムNマシンの題としてこれがOU異常を示したと応用物理学会で発表を行った。私はこの実験を追試して実験精度の問題点を明らかにした。この時の結論はOUが観察

されたとはいえない。ということであつた
(OU: over unity 入力より出力が大きいこと)で、永久機関の条件である)



5. 世界一構造が簡単な電車に関する考察

コイルの両側を永久磁石で挟んだ電池をコイルの中に入れて自力で走り出すというもので、これは実物で実験がなされた。

コイルの中に「電池」を入れると殆ど瞬間的に電池は反対側へ移動した。

この説明・乾電池から出た電流が導体のネオジウム永久磁石を介して絶縁のない導体のコイルに流れる。この時右ねじの法則によりコイルに磁界が発生する。コイルの作る磁界とネオジウム永久磁

石から発生する磁界の相互作用により、乾電池の可動子に推力が与えられ、可動子の進行方向前方のコイルから吸引され、反対側から反発される。

6. あの世での楽聖達の作曲した小品を聞く

Rosemary Brownの霊感

1960年代中頃から1980年代にかけていわゆる音楽霊媒として活動したイギリス女性で、当時のイギリスのテレビ、新聞などでしばしば取り上げられ、物議を醸した人である。霊と交流する能力である世の音楽家達から沢山曲を受け取っていたといわれる。

この演奏CDを準備されていたが、残念なことに当日ケーブル接続に異常が発生し、聞くことができなかった。

7. サイ関係の研究のあり方

2.でもものべたように、現代科学は物質とエネルギーの関係だけを論じている限りは問題はないが、世の中の事象はそれだけではなく、意識が関係する出来事が結構たくさんあり、その意味で、説明のできない事が多いといわざるを得な

い。現代の科学はいわば一面的な科学になっていけると言える。サイ現象には前述のOUの問題も含めて実験者の意識(あるいはサイ的能力)がからんでいる。

新(未知)エネルギーの研究を進めている井出治氏はいわば物質科学の側面だけで、説明ができていうなOU現象をつかんだ状況とも言えるのであるが、いまだにその進展がない。しかし、井出氏も体外離脱の経験の有するなどの体験を持ち、こうした意識に関わる部分と通常問題にされる科学的アプローチとをうまく組み合わせる研究を進めるのが大事ではないか。

☆ ☆

小牧氏は好奇心旺盛な方で、通常の工学の方法・現象とともにサイの現象も知見があり、知人も多く話題豊富であった。場を変えて再度聞きたいものである。

当日の参加者は会員14名、非会員11名、計25名であった。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第四〇〇回関西日本サイ科学会研究集会報告(1)

永遠の生命—死は真つ赤な嘘
死ぬのは真つ平ごめん、人類
は死に完全勝利した。

講師 梶原 和義氏

平成27年7月18日
とき 大阪科学技術センター

梶原和義は昭和16年名古屋市に生まれる。長年、般若心経と聖書の研究に没頭。13年間、都市銀行に勤務後、退職して事業を始める。「永遠の命」についての講話活動を関東、関西で行っている。聖書研究会主幹の故村岡太三郎先生に師事し、般若心経と聖書の根本思想について、多くの事を学ぶ。永遠の生命に関する著書多数あり

すべての人間は、「人間は絶対に死んでしまふに決まっています」と、固く思い込んでいます。ところが、他方で、「人間は絶対に死にたくないと思っっているのです」。もし、人間が100%絶対に死んでしまふ

ものなら、「絶対に死にたくない」となぜ思うのでしょうか。

ここに大きな秘密が隠されているのです。

イエスが誕生するまでは、人間は絶対に死ぬものと決まっていたが、イエスが死なない命を持って来て、死なない命がある事を証明しました。そうして、イエスは全ての人々が、イエスと同じ命を持っている事を証明したのです。地球上に、死なない命を持った人間が誕生した。そこで人間の歴史がまったく変わってしまったのです。絶対に死んでいく人間の歴史から、絶対に死なない人間の歴史に変わってしまった。そこで西暦紀元という新しい紀元が始まったのです。

現在西暦紀元は世界中で用いられています。これはなんでもないことのように思いますが、1つの紀元が世界中で用いられているという事は、大変な事なのです。これはそうしなければならぬという必然性があるからです。

イエスが現れて、人間のあらゆる知識、常識、仕来り、伝統、文化、文明を激しく批判したのです。

それは、人間が絶対に死んでいくという考えに基づいて構築されているからです。特に律法学者、宗教指導者の教えを悪魔の教えだといって口を極めて罵倒したのです。

そこでイエスはユダヤ教の律法学者と宗教家に捕まえられて、十字架につけられて殺されたのです。イエスは金曜日(殺されました)に、死なない命を持っていたので、日曜日に復活したのです。日曜日は人間が死を破ったという記念日です。そのために日曜日が休日になっているのです。

現在、日曜日は全世界で用いられています。しかも日曜日は1週間に1回、1月に4回あります。1年に50回くらいもあるのです。建国記念の日、憲法記念日、昭和の日(天皇誕生日)、文化の日、勤労感謝の日は、1年にたった1回です。ところが、日曜日は1年に50回もあります。日本人の常識から考えたら、日曜日よりも憲法記念日、昭和の日のほうがはるかに重大な日です。はるかに重大な憲法記念日や昭和の日の休日が1年でたった1回であるのに対して、日本人にとってほとんど意味がない日曜日という休日、1年に50

回もあるということとは、一体どういうことでしょうか。ここに大きな秘密が隠されているのです。

死を破るということは、人類最大の出来事です。死にたくないというのは人類の悲願です。人類の悲願が間違はなく実現した。人類が何千年も待ち望んできた死を破るといふ悲願が実現した。人類にとってこんな有り難いことは他に絶対にありえません。この有り難い事実をじっくり味わいなさい。心ゆくまで十分に味わいなさいという意味で1年に50日もの休日(祭日)を与えられているのです。ところが日本人は、日曜日は遊ぶ日だ、レジャーの日だと思っっているのです。とんでもない事です。

日曜日が何の日か、日本人は誰も知らない。世界中の人々も誰も知らない。人類はなんという愚かなのか、無知なのかと言いたいです。学校の先生も、大学教授も、知者、学者、評論家もまったく知らないのです。

日曜日と西暦紀元を徹底的に勉強したら、全ての人の中に死なない命がある事が、ありありと分か

るのです。死なない命が在ることは、宗教に全く関係がありません。あらゆる宗教は永遠の生命を与えるふりをして、人間に強引に死を与えて地獄に引つ張っていくという、極悪非道のことを、堂々としているのです。

宗教家は仏さんを信じたら、死んだら極楽に行ける、神様、イエス様を信じたら、死んだら天国に行けるといいます。死んだら、死んだらと言って、死をはっきり認めているのです。人間に死を堂々と押し付けているのです。新約聖書の中で、「私を信じる者は、たといい死んでも生きる。生きていて私を信じるものは、いつまでも死なない」とイエスがはっきり言っているのです(ヨハネによる福音書11・25)。

講演会において、全ての人の中にある死なない命を、はっきり証明したいと思います。

私は永遠の生命に関する著書を、20年前から書き始めました。その頃は永遠の生命というタイトルの本はありませんでした。人類が死なない命、永遠の生命を求めているのは間違いないと思ひまして、

釈尊、イエス・キリストを研究してきました。そうして、釈尊が2500年前に考えたこと、2000年前にイエスが言った事を、講演会等で述べているのです。

今の人間は、人間は絶対に死ぬものだと考えています。死ぬ命を自分の命だと考えています。そうすると、死ぬために生きている事になるのです。赤ん坊は死ぬために生まれてきた。死ぬために学校に入り、死ぬために勉強している。死ぬために就職して、死ぬために働いている。死ぬために結婚して、死ぬために家を買ひ、死ぬために子供を産む。人間の政治経済、法律、教育、宗教、学理学説、文化、文明はすべて死ぬためにあるのです。72億の人間は、全部、死ぬために生きているのです。

大乘起信論は、人間は無明から生まれて、無限の無明に沈殿していき、無明の内に死んでいくと言っています。

人間が現世に生まれた事がカルマです。業(ごう)です。これはどういう事かといえますと、絶対に生まれたくない世界に生まれてきた、絶対に生まれてはならない世界に生まれたことを意味するのです。

なぜなら、人間社会は矛盾に満ちているからです。自分の気持ちが正確に他人に伝わらないし、他人の気持ちも正確に分からない。言い間違い、聞き間違い、誤解は頻繁におきています。そのため、人を憎んだり、妬んだり、呪ったりして生きている。だから、窃盗、強盗、振込み詐欺、傷害、放火、殺人事件が絶え間ないのです。

自然災害も絶え間ないのです。地震、台風、洪水、噴火、津波が頻発しているのです。

病気がたくさんあります。癌、脳溢血、脳梗塞、心筋梗塞、心臓麻痺、肝臓病、腎臓病、鬱病、認知症等2万種類の病気があるという医師もいれば、10万種類の病気があるという学者もいるのです。これはどういうことかと言いますと、現世は嘘の世界、仮の世界です。もし本当の世界であれば、これほど多くの災害、病氣、犯罪があるはずがないのです。

般若心経は、無受想行識、人間の感受も、了解も、意思の決定、それに属する色々な認識もないといっているのです。それだけでな

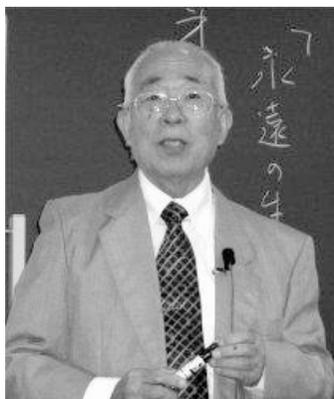
くて、無眼耳鼻舌身意つまり目も耳も、舌、身体、人間の意識さえもないといっているのです。そうして、無色声香味触法、つまり、色や形もないし、声や香りもない。味もないし、触覚の対象もない。そのような道理さえもないというのです。

無境界乃至無意識界、つまり、視覚の領域から意識の領域に至るまで、ことごとく存在しないと云っているのです。そして、無無く無無明尽、つまり知恵や悟りもないし、知恵や悟りがなくなることもないと言っているのです。そうして色即是空、つまりあらゆる物質現象は実体ではないと言っているのです。

人間の考えも思想も空であるし、あらゆる物質も存在しないというのです。山も川もない、日本列島もない、地球もないというのです。これが一切空です。こんな、人間の考えでは到底信じられないことを、般若心経はなぜ堂々と云っているのか。

釈尊が一切空と言ったのは、彼は「明けの明星」を見て、大悟したからです。「明けの明星」は太陽が出る直前の星です。

太陽が出ている世界は昼の世界です。「明けの明星」が出る前は夜の世界です。夜の世界は闇の世界です。人間がどんどん死んでいく世界です。弱肉強食の世界、善悪利害が何か全く分らない世界です。



昼の世界は死なない命の世界です。本当の理想が実現している世界です。これが彼岸の世界です。昼の世界から見たら夜の世界は皆間違っている。夜の世界にいる人は全部死んでしまう。そこで釈尊は、五蘊皆空、人間の考えは皆間違っている。色即是空、目に見える現象世界は実体ではないと言ったのです。

人間が現世にいたら、皆死んでしまう。そこで彼は、ギヤティ、ギヤティ、ハラギヤティ、ハラギヤティ、ハラ

ソウギヤティ、早く彼岸に行け、一生懸命に頑張ってください。1日も早く彼岸に行くと、叱咤激励したのです。しかし、釈尊は彼岸に行け、行けと言いましたが、彼自身は彼岸に行く事ができなかったのです。

釈尊は死ぬ直前に、「私が説いた事が間違いだと言う人が出るだろう。やがて本当の事を言う人が現れるから、その人に聞きなさい」と言ったのです。そして釈尊の死後500年後に、星が現れた。そこでインドの3人の博士が、「黄金、乳香、没薬」を持って、はるばるインドからユダヤのベツレヘムに行つて、キリスト誕生のお祝いをしていのです。この間の事情は新約聖書マタイによる福音書2章に詳しく書いていますので、参照していただきたいと思ひます。今の人間はまちがひなく全部死んでしまいます。全世界72億の人間は全部死んでしまいます。わたしはこれが残念で、残念でならないのです。何とかしてこれをストップしたいのです。

一体死とは何か。人間はなぜ死ぬのか。

宇宙には、最初に死はなかったのです。ところがこの宇宙に死が発生したのです。広大な宇宙に無数の天使がいますが、宇宙の総括者、絶対者は自分で宇宙全体の天使を治める事をしない。これはトヨタ自動車の社長が、33万人の従業員を直接管理しないのと同じことです。部長に命令する。部長が課長に、課長は係長に、係長が平社員に命令するのです。

宇宙の絶対者、即ち神は、天使の中の最も優れた天使を、天使長に任命した。これがルシファア（輝ける者）と呼ばれる大天使です。宇宙の絶対者はこの大天使に素晴らしい知恵と力、能力、才能を与えたのです。

彼はこの素晴らしい能力を用いて、宇宙全体の天使を治めていましたが、ある時に、自分にある素晴らしい知恵、力、能力、才能は初めから自分のものではないかと言ひ出したのです。だから、自分は偉い、宇宙で一番偉い、宇宙の絶対者より偉い、自分こそ宇宙の絶対者だ、自分は神だと考え始めたのです。

宇宙の絶対者に対抗するもう一つの絶対者ができた。これが死の

権威をもつ者、いわゆる悪魔の発生源です。宇宙の絶対者は誠の神です。命そのものです。悪魔は死そのものです。悪魔が死を創造したのです。

実は、人間は現世に生まれてくる前に、エデンの園において、神が絶対に食べてはいけないという掟を破ってしまった。これは神を裏切って悪魔に同意したことになるのです。悪魔に同意したという事は、死んだという事です。死んで、エデンの園に置いておけなくなったので、地球に放り込んだ。これが人間のカルマです。業です。(この間の事情につきましては、旧約聖書創世記2章、3章に詳しく書いていますので、参照してください。)

死ぬはずがない人間が死んでしまった。そこで地球に追放した。これが人間のカルマです。人間は絶対に食べてはいけないものを食べて死んでしまったので、地球に放り込まれたのです。犯罪者です。今地球にいる人間は全部必ず死んでいく人間ばかりです。90歳か百歳まで生きて、皆死んでいく。必ず死んでいく。これは無期懲役刑になっっている死刑囚の状態を意味

するのです。トルストイが言うように、地球は無期懲役刑に処せられた人間がいる巨大な強制収容所です。必ず死んでいく人間ばかりが収容された、強制収容所です。死刑囚ばかりを収容する、強制収容所です。これが人間のカルマです。業です。

それでは、人間は死から逃れる事は絶対にできないのか。できるのです。死から逃れることができ、たった一つの方法があるので、全く幸いにも、私はそれを教えられたのです。異邦人として、また日本人として、全く有り得ない破天荒な恵みを与えられたのです。

私はそれを独り占めすることが出来ないのです。人々が死んでいくのを黙って見過ごしに出来ない。そこで、浅学菲才の身ですが、何とかして、死なない方法を人々に伝える事が出来ないのか。伝える事しようとしたのです。

どうしたら死なない命を獲得する事が出来るのか。まず、宗教ではない般若心経を正確に勉強する。そうして宗教ではない聖書を勉強する。そうしたら死なない命を得

て、地球という強制収容所から脱獄できるのです。

今の人間は絶対に死ぬものとして生まれたのです。死ぬことに向かつて、生きています。赤ん坊は死ぬために生まれた。すべての人生は死ぬためということになるのです。ということは目的がなく生まれてきたという事になるのです。これがカルマです。仏教では人間は妄念から生まれて無限の妄念に落ち込んで、妄念のうちに死んでいくと言っているのです。

釈迦は生老病死から出発した。なぜ人間は生まれたのか。なぜ人間は病気になるって死んでいくのか。この根本原因をとことん究明しようと考えた。そして当時のバラモン教に入り、死ぬほど厳しい修行をしたけれども分からなかった。その他の色々な宗教で修行したけれども分からなかった。

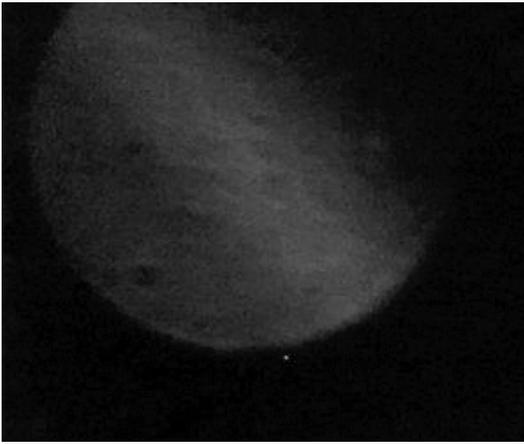
そこで、一切の修行をやめて、自分の一切の考え、経験、記憶を捨てて、全く何も考えずに菩提樹の下に座ったのです。そして、40日目の早朝に、「明けの明星」を見て素晴らしいことを発見したので、釈尊がいる世界は闇の世界で

す。

「明けの明星」の後に太陽がでます。太陽が出ると、暗闇の世界から、真つ昼間の明るい世界になるのです。これを見て、釈尊は、現実の暗い世界、人間が絶対に死んでいく世界から、明るい世界(全く新しい世界)、絶対に死なない世界に行くことができると直感したのです。

般若心経に一切顛倒夢想という言葉があります。今の人間の考えは全部逆さまである。無いものがあると考え、悪を善と考えている。夢想とは夢の中にいるというのです。夢想の中で思案している。ちようど、認知症患者、夢遊病者が、夜中に徘徊しているようなものです。何をしているのか、自分自身で分からないのです。今の政治、経済、宗教は夢想です。政治に本当の目的がない。本当の理想がない。ただ生活が豊かになればいいと言う。

(次号に続く)



写真No.20131216 (望遠ズーム)

た(存在した)が、まだ円内にマンダラ状模様、唐鏡状模様などはない。厚みを感じされる月影状のスジ線(影)が見える。単なる平板状では無く、厚みを感じられる。オーブの外周は割合に鮮明であり、またヘイロー(Halo)も極わずかである。

3. 検討並びに考察

実験を介して判ったこととして、(1)サイ(気)の光(オーブ)は、遠くから、撮影者に向かってやって来るらしい。筆者らも経験したが、日本(山下祐人氏)と中国(数人以上)の非眼視覚の実験の場合。両目に眼隠しをしてイメージで物を視る実験(遠視実験)の場合のサイ(気)の光は、どうも、向こう側からやってくる(サイ科学、29-1、pp.62-66参照)様子である。この傾向が今回の実験の場合にも現れている(前報と本報の写真No.20131106なども参照)。(2)このサイ(気)の光は、撮影者の意識(ASC)と同調(共鳴、共振)する傾向がある。つまり、別報(PSIJ No.420、参照)を見ると、撮影するたびに出現したオーブ(気功)内部の模様(表情)はランダムに代わる。しかし一枚の写真に写される模様のそれぞれは、ほぼ同一模様である。これは、オーブと意識とが、撮影される度毎に同調した(マクロPK)為であろう。(3)オーブ(たまゆら)の芽は、強い発光体を核にした柔らかい綿状の塊の複数

以上の集合体であり、これがゆらゆらと、回転しながら次第に大きさを増して、成長するのであろう。つまり、望遠ズームで撮影したオーブ像を見ると、オーブは、極小球(芽)オーブからイオン・ボール(プラズマ・ボール)状オーブ、通常オーブ(たまゆら)と次第に成長するものと推定される。成長の極後期(ズームの倍率、零)に現れる通常オーブ(たまゆら)は、輪郭が鮮明、Haloがあり、円内部に非対称の干渉縞やマンダラ状の模様を持っている。(4)撮影場所の選定。撮影者の意識とオーブとを同調させる(マクロPKとして)ために、撮影者のバイオホトン(プラナ、オーラ、微細身素粒子)とその周辺の光の海(市街地の光群)との和が放つ光信号を(オーブを呼び寄せるといふ)、遠くにあるオーブの芽が受信して、こちらに向けて、近寄って来ると判断している。または意識とオーブとの間のテレパシーに依るかも知れない。したがって、両者を同調させる為の配慮(マクロPKとして)が必要になる。なお、通常のオーブが多出する場所は、古いオーブが既に多数存在しているので、新しいオーブの芽は近づきにくい、と考える。反面、古いオーブが居ない、しかもオーブが存在しやすい新しい場所が、オーブの形成、成長を見るのに適している、と判断した。本稿の撮影に用いられた福島市内、大谷PA、伊那市などは、この条件を満足していると考えられる。さらに本稿の特徴は、(5)望遠ズームを用いたフラッシュ撮影にある、といえよう。このとき、レンズ付近の偽オーブはほとんど撮影されず、ボケも無く、割合に鮮明に写されている。これが本来の真オーブ(たまゆら)の姿かも知れない。

(注釈) 使用カメラ：カシオEX-Z330、カシオEX-Z2000、カシオEX-Z40、カシオEX-S12、カシオEX-ZR700BK、ニコンCOOLPIX 2200、パナソニックDMC-FX7、ハンディカメラ(ソニーHDR-CX270、パナソニックHC-V210M)。

2-3) 形成中期過程のオーブ

上の(2-2)節と同一雰囲気(環境・周囲の光群)で、場所を変えて実施した。東北高速自動車道路の下り線側の大谷PAである。近くにはめまぐるしい車のライト(赤、黄)の往来があり、遠くには街の灯が夜空の下端をあかね色に染めている。液晶モニター上で約15%の拡大倍率条件で、撮影した。部分拡大図の写真No.150330(1667中期、1)～No.150330(1670中期、2)を見る。綿を球形に纏めた中に4～5個の極小球(白点)を配置した形のNo.150330(1667中期、1)。また(1668中期、2)は内部の極小球形が右上の半円部に集められて「く」字型になっているもの。次の(1669中期、3)は円形の上部が半円形に削られた状態になっている。(1670中期、4)は、白色がより白くなり、その白色円形状の内部に数個の黒点状の核(白色が黒に変化)があるもの。これらは、上の形成初期オーブがしだいに増殖進行して中期過程オーブになったもの、と判断している。

2-4) 中期過程オーブの動的観察

イオン・ボールは陰イオン、陽イオンのスピンドルとバイオ・ホトン(プラナー、微細身素粒子)の集合体である。サイ(気)もほぼ同一内容である。別報ならびに予備試験によれば、このイオン・ボールが次第に成長(集合)して、上述(2-2節)のオーブの芽になる。また、このオーブの芽は、通常は、近赤外線領域(非可視)に潜んでいる。そして、これが次第に成長するものと判断している。なお別報で、サイ(気)を水に吸収させた気功水の活性化エネルギーを求めたところ、約1.5eVの値を得た。これは近赤外線量域の波動を意味している。従ってオーブもサイ(気)も非可視である。

オーブの動的な(増殖)進行過程を知る為に、デジカメの液晶モニターを用いてオーブを観察する(測定する)事にした。デジカメのシャッターを半押しにすると、カメラからは近赤外線が放射されるので、その視野内にオーブが写り込めれば、液晶モニターに映ることになる。

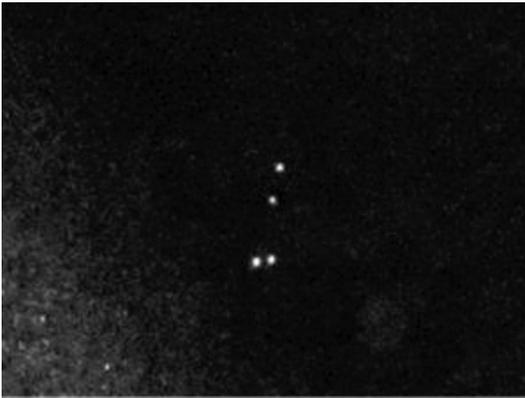
そして、これらの動きを、別置きの手回しカメラに記録する。このような方法でオーブ動画を記録した(詳細は、別報)。観測実験は、2014年8月6日～2015年2月7日。オーブ出現が未知の場所(有名でない)と判断される長野県伊那市、静岡県磐田市、その他。晴れ、夜、に実施された(2-2節と同一雰囲気)。

液晶モニター上でオーブ観測する途中で撮影者がシャッターをきる。すると、動画の一部を切り取った静止像が得られる。撮影者はSDK師(特異能力保持者)である。詳細は別報にゆずるが、此处で述べる実験結果は、上述の記述とほぼ矛盾しない。このような方法で成功した観察実験は8回以上もあり、SDK師は変性意識状態(ASC)でテストしている様子である。得られた結果をみる。

(1)ズームして拡大してから写したオーブ像は、変形しやすい柔らかい綿状の光雲であり、大部分は乳白色である。しかし黄、オレンジ、赤、青、等に変化する場合もある(近赤外光～可視光の間で変化する)。(2)ゆらゆら(回転)、くねくねと、柔軟に変化し、踊る。ときにはモニターの枠外に飛び出す。(3)「キテ」、「キテ」――と、お願いすると、戻ってくる。――また飛び出す――。かえってきて、また踊る。――。頃合いをみて、「エイ」――と(4)全押しで、シャッターを切る。すると、オーブの静止画(像)が撮れる。不思議なことに、(5)ほぼ一個だけがモニター上に写る。さらに此が分離する事もあるが、また結合する、など(動的オーブ写真、省略)。

2-5) 形成後期過程のオーブ

拡大率約25%で望遠ズーム写真をとる。2013年12月16日、晴れ、夜、上の(2-1)と同じ千葉市内、スプレー噴射水を用いたフラッシュ撮影。一例としての写真No.20131216(望遠ズーム)をみる。これは既知のオーブが多出する場所で写されたものであり、写真の左上に円形の大型オーブが写っている。動的に変化・拡大しながらレンズ付近に迄近づいてき

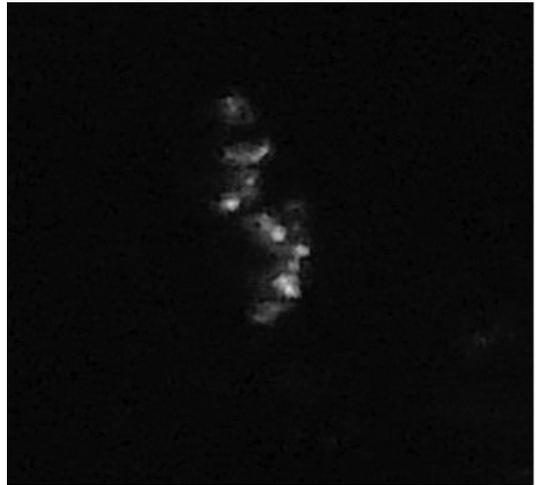


写真No.20131106「向側から来る」

このときの出現頻度は約5%程度である。しかし、経験によると(なれてくる、感覚的に判る)、20%以上の確率で撮影されるようになる。写真No.20131106「向側から来る」は2013年11月6日に千葉市の良く写る場所でフラッシュ撮影された。これと同一内容(同じ日に撮影)で別の画像が別報にもある。写真を見る。左下にキリ状の噴霧放射水(キリ)が放物線を描いて写っており、そのキリ群のなかに強い発光の小粒の光球らしいものが出始めている。同時にその右側に天空(上方)から下方に向けて、ほぼ重力線方向に一列に並ぶ3~5個の連続した(強い発光の)極小白色光球集団があり、この粒は下に行くほど、大きくなる。小粒を拡大してみると、強い発光の小粒の光球体を含んだ柔らかい綿状結合の光集合体(群)である。我々は、これらを形成初期過程(芽)オーブとした。

2-2) 形成初期過程の芽オーブ

オーブの出現が未知の場所(福島市内)で、デジタル・カメラを用いて撮影した。このような場所は、住宅地付近のパワー・スポットや、庶民信仰の場所や、実験室まわりであり、その付近または遠景には、住宅や道路上に色とりどりの照明光(近赤外線などを含む)が存在している。ただし初期過程の芽オーブは稀にしか撮れないので、ここに提示する撮影場所や時期は様々である。つまり、寄せ集めで



写真No.20140131「連続、小球」

ある。これらの「形成初期過程芽オーブの部分拡大写真」の一例を、写真No.20141222「尾を引く」~No.20150201「二列、連続小球」に示した。いずれも晴天の夜間にフラッシュ撮影している。液晶モニター上の倍率表示で約25%拡大したカメラを用いた。No.20150201はタイ国のチャオプラヤー河、その他は福島市内である。No.20141222は2014年12月22日。No.20131213は2013年12月13日である。No.20141222「尾を引く」をみると、点状の極初期のオーブ(白点、芽)が長い距離をすべて天空に線を引いたと思えるような光筋が描かれているが、それぞれの軌跡の方向や大きさは別々である。No.20131213「2本の腕、巴形」には、3個の芽(白点)がある。大白点状一個を中心にして、手を結んで2点が右回り運動を始めたような軌跡が描かれている。No.20140131「連続、小球」は、それぞれの光筋が芽に巻き付いて小球状になり、それらが2~3個ずつ連結されたと思える様な構図(右側と左側)である。No.20150201「二列、連続小球」は、それらの小球状がさらに連結されて二筋になった(中央)と思える様な図になっている。これらの特徴として、極小球の核らしい白点(芽)を補う様な柔らかい光筋線(又は雲状)に囲まれて(護られて)存在している。つまりオーブの芽が形成される過程が写されている様に見える。

オーブ(たまゆら)形成進行過程の望遠ズーム撮影

佐々木 茂美 佐藤 禎花 (故)川崎 利男

ここで扱う「たまゆら(オーブ)」は万葉集の時代から知られていたが、出現条件やその性質が不明だったので、注目される事はなかった。しかし、心と物に関連して出現してくるので、マクロPKとしては、重要な研究課題である。ごく最近の検討によると、電離した薄暗い空間にむけてフラッシュ撮影すると写りやすい。水との親和性が高く、スプレー噴霧水(キリ)が消えた後に写りやすい。しかし、それでも出現し難い場合には繰返して撮影すると写る、等が判明している。本稿では、あらたに、オーブ形成の初期・中期過程の観察を行うことにした。

1. 本報の特徴

本稿はあらかじめ予備実験を行い、その結果を参考にしてテストしている。例えば、写り易い場所でフラッシュ撮影した場合には、既知(通常)の真オーブや偽オーブ(水滴、埃、等)が写りやすく、これを望遠ズーム写真に換えると真オーブのみが写り易い、等を考慮して実験計画をたててある。具体的には、体外にあるオーブと意識との情報交換がしやすい条件設定(例、変性意識状態と場所など)が必要なので、この観点から(1)撮影場所と撮影方法を選んだ。また、サイ(気)の光は向こう側から近づいてくるので(2)望遠ズームカメラを用いて遠方に焦点を合わせて撮影する。また、ゆらゆらと回転しながら近づいてくるので(3)これを動的に撮影する。以上を考慮して実験が計画された。

2. 撮影の条件と結果

市販されている通常のデジタル・カメラを用いて、夕方の暗い電離した空間に向けて、フラッシュ撮影する。このとき条件が満足され

ていて運が良ければオーブの静止画像が得られる。偽オーブを避ける為、同時にオーブ形成の初期過程を知る為に、焦点距離を遠くに合わせて(倍率は液晶モニター上で設定)写すことにした。これを「望遠ズーム」撮影と仮称する。しかしこの時はレンズの視野が狭くなるので、オーブを探しだすのが難しくなる。これを防ぐため、さらに動画撮影の目的から、広角で(焦点距離、短)液晶モニター上に小光球(芽オーブ)を写し出し、つぎにズームで拡大して(焦点距離、長)見やすくしてから別置きビデオカメラで撮影して「オーブ形成の初期・中期過程の動画」を写すことにした。この理由として、オーブは非可視(近赤外線域、0.14eV)なので、液晶モニター上でのみ可視となる。詳しい撮影条件は本文の中で、使用カメラ等は付録に記述してある。なお特記以外は総て静止画である。

撮影場所については、オーブが撮影し難い場所と、良く撮れる場所がある。しかし、なかなか撮れない(オーブが居ない)場所でも、天候条件やスプレー噴霧水を用いる等の物理的ならびに、無心で熱心に撮影するなどの心理的条件(ASCに近づける)を揃えると写りようになる。また、一度写ると(居場所が出来ると)、つぎの二回目からは写り易くなる。良く撮れる場所とは、寺院仏閣(祈りの場)ならびにパワースポット等で、何回も普通(既知)のオーブが撮れる(オーブが存在している)場所をいう。

2-1) スプレー噴霧水撮影

オーブが良く撮れる場所(オーブがいる場所)で、諸条件が満足されていて、環境としてスプレー噴霧水(霧)を放射すると、霧が消えた5~10秒後にオーブが出現してくる(前報)。

4. コントラストが低い
5. 念写対象の部分だけが写る
6. 画素が粗い(解像力、解像度が悪い)
7. 積層の場合中層のみに写せる

これらの実験事実を説明するものとして筆者はスカラー波を考えた。

スカラー波はこれまでの電磁気学では純粋には存在しないとされる縦波の電磁波のことである。電磁波は横波であり、真空中ではいわゆる光速度で伝搬するので、スカラー波は超光速とみてよい。縦波であれば横波が入っていかない物体の中に入っていけるということはある。もともと念写は透視の実験をやっているが発見された。また超光速であれば過去に起因して伝搬する波の他に未来から来る波も考えざるを得ないが、透視実験をしていて予知現象が起こることはよくあり、福来が関わった能力者の中に透視、念写能力の他に予知能力をもつ人もいたのはスカラー波を用いていたからとも考えられる。

そして念写については、眼が受光するとき網膜にあるロドプシンなどのタンパク質がレチナールの変形とともに変形し、その緩和過程でエネルギーの再放出を行う際、スカラー波としても眼から放出されるという機構が、とくに残像ができるまで見つめる念写では、使われていると思われる。スカラー波が両眼から出て焦点のところで交わるときに横波に変換されるので光子が湧き出す形になり写るわけである。

このようにみると、上記念写像の特徴が説明される。1.などは眼球を動かす筋肉の解剖学的特徴に一致するし、3.なども網膜ではエッジ検出も行っているのがそれが反映しているとみれる。4.や6.については光子の密度がふつうの写真より少ないことで説明される。7.については正にスカラー波の特徴そのものである。なお、スカラー波による念写の機構説明については福来心理学研究所会報No.57(2005)に詳述している。

実は電磁場の方程式(Maxwellの方程式)は流体力学から導くことができる。その際、第一近似がMaxwellの方程式であり、より正確にみると磁場をつくる電流(密度)に対応して電場をつくる磁流(密度)が無視できなくなる。その物理的意味は移流項を無視すれば循環加速のことであり、

比容のグラディエントと圧力のグラディエントの外積に比例する存在であるが、これが純粋なスカラー波になる部分である(この辺は「サイ科学」Vol14 No.1やサイ実測研究会誌No.1でも述べた)。場の量子論では電磁場をケージ対称性が破れている領域まで拡張したものが正統的に扱われているが、それがこうした拡張にあたる部分である。だから量子論はスカラー波の存在を否定していない。たとえば、陽子(プロトン)と電子との電磁相互作用を表現するときそれを媒介する光子(フォトン)が虚数の質量をもつ場合があることが知られている(もちろん光子の質量はふだんゼロである)。実はこれこそ純粋スカラー波が発せられている状態である。

このような機構が我々の生体にもある。それはミトコンドリアなどにある電子伝達系であり、ここでは上記グラディエントの外積としての循環加速があり電子とプロトンの相互作用がみてとれる。ここが実質上スカラー波の送受信器であるとみられるのである。より具体的には電子伝達体のひとつニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸(NADP⁺、NADPH)のNADPHオキシダーゼによる



の平衡状況などがそれにあたる。

こうした反応は網膜の受光タンパク質ロドプシン(+レチナール)などにもあり、これが眼からのスカラー波の発生と、透視、予知などスカラー波の受信になっているとみられる。眼球が小刻みに揺れている若い人程念写に成功するのはスカラー波が上記循環加速によって起こされているからであろう。

実はこのような機構は眼だけでなく各神経細胞の受容体にもあり、スカラー波の送受信は各所で協同的に行われることが可能であるため、ヒーリングの物理的側面やテレパシー、霊視なども説明できるのではないかと考えられる。

※佐佐木康二氏は発明家でもあり、磁流研究室のホームページには、下記の製品等が紹介されていますので、ご参照ください。

◎「磁流図」シリーズ ◎スカラー波発生器

◎「念力計」 ◎音声によるプラーナ測定

URL <http://www1.odn.ne.jp/jiryu/>



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

サイ現象のメカニズム – スカラー波の有望性

佐佐木 康二

何かサイ現象の実験をやってその存在が統計的に有意に確認されたとしても、なかなか世間一般にサイ現象の存在が認められたということにならない。その理由のひとつはおそらくそのサイ現象のメカニズムが従来の正しいとされる科学理論の範囲内で説明できないということがあるからであろう。

もともと新しい現象なので従来科学の外にあるとしても、従来科学の延長線で「科学的」に説明されたとすれば、世間一般に受け入れられていく方向に推移するかもしれない。そのような考え方でみて有望なのは純粋スカラー波の存在である。もし電磁気学の教科書がスカラー波を扱うような時代がくれば、多くのサイ現象を人々は完全に受け入れるようになっているのではないか。

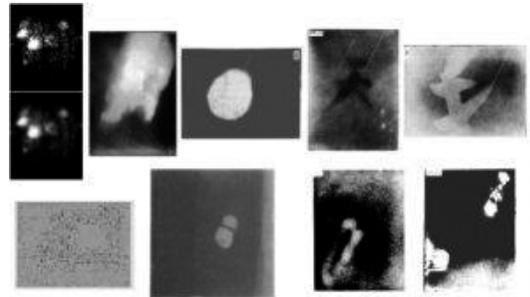
ここではそうしたサイ現象のひとつとして1910年福来友吉によって発見されたとする念写についてみたい。東北日本サイ科学会ではご縁があって福来心理学研究所と共同で長年、公開の念写実験会をやってきており、多くの念写サンプルが得られてきている。この過程で筆者は大半の人が可能な再現性のよい念写方法を発見した。それは念写したい図柄を未開封のフィルム（最近では歯科用フィルムでやることが多い）を脇に用意し、それを残像ができるまで見つめ、残像ができたら視点を未開封のフィルムの方に移し、未開封のフィルムの外から残像を消えるまで見ているという方法である。こうするととくに若い眼をもつ人や年がいても能力者、静止画なのに動いて見えるエニグマ錯視が起きる人ではフィルムを開封現象すると見つめていた図柄が再現性よく写っているのである。エニグマ錯視は眼球が小刻みに

揺れていることに起因するらしく老化とともにこの揺れが少なくなることが知られている。

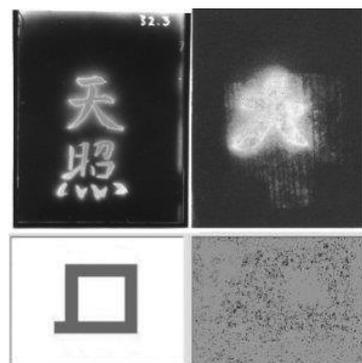
そのような中で最近、福来友吉がやった時代の念写と比較して昔も今も共通にみられる特徴が整理されてきた。

念写像にみられる特徴を列挙すると

1. 図柄（図像）が上下の軸から22°の方向に流れる



2. 同じ図柄が多重になって写る
3. 文字や図柄の輪郭（エッジ）が光る



[左上：長尾郁子1910年 右上：森竹鉄子1911年
左下：課題の図柄 右下：課題の図柄（左記の念写（白黒反転像）S氏 2004年（デジカメへの念写）]



サイジヤナル

月刊
28-1・2
第425号

日本サイ科学会 平成 28 年 1 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (871) 9060	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159

年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、
日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



世界は混とんとしてきました。事例は事欠きません。これが、人の誇る理性・科学の結果なのでしょうか。

海外のサイに関する論文に、サイ現象の新しい理論の構築の呼びかけがありました。そこでは、従来の科学は局所理論に基づき、何かのシグナルの局所的なやり取りの枠組みの上に構築されているが、サイ現象はこの方向での形式では

説明ができないとの指摘がなされ、素粒子の世界でもつれ現象を軸に新しい説明の枠組みの提案がありました。

たまたま図形の性質を俯瞰する機会があり図形の本質を考えていた折、形にはその形独特の場を形成することに気づきました。たとえば三角形や円を描けば、それぞれの領域内のすべての点で満たされるべき共通の縛りがそれぞれの形に応じて発生します。そして、その場の性質から、その形に伴う理論がすべて導出されることを確かめました。

一度存在した場が時空に刻まれるならば、これがもつれを生むと考えられないでしょうか。なにか仮説があれば、それを足掛かりに議論あるいは検証の作業に発展します。

サイ科学の一層の発展を期して、皆様の大胆な新しい仮説の提示を望みたいものです。皆様のご活躍を期待します。

今月号の記事

- ◎ 会長 年頭のご挨拶
- ◎ 一月本部例会のお知らせ
- ◎ 計報
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 二月本部例会のお知らせ
- ◎ 事務局スタッフ大募集
- ◎ 関西サイ科学会一月二月三月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部日本サイ科学会三月研究集会のお知らせ
- ◎ 第27回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎ 第4回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎ 平成27年2月本部例会報告
- ◎ 平成27年11月本部例会報告
- ◎ 第四百回関西サイ科学会報告II
- ◎ 第四百一回関西サイ科学会報告
- ◎ オープ(たまゆら)の動画を撮影する方法について

一月本部例会のお知らせ

※サイ科学の主要研究テーマとなつたオーブ(ORB)につきまして、3名の主要な研究者により、最新のデータを公開していただき、オ

オーブの正体やその機能、メカニズムについて、解説していただきます。日本における最先端のオーブ研究が分かる貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

オーブ研究の現状報告 (動画を含む)

講師 佐々木茂美氏

日本サイ科学会名誉会長

電通大名誉教授

講師 佐藤禎花氏

北陸日本サイ科学会長

ieb-college-japan学長

講師 苗鉄軍氏

日本サイ科学会理事、工学博士

内容…講演30分+質疑応答15分を、3名が行う。その後、総合討論。

佐々木茂美…マクロPKの新分野として約3年前からオーブ撮影を開始した。講演では主として、オーブの撮影技法とその結果を述べる。

1. 誰にでも撮れる。デジタル・カメラによる近赤外線域撮影の可否テスト。

最初に偽オーブを撮る(雨滴、スプレー水)。次にズーム無し(偽オーブ混入)。ズーム有り(真オーブが多い)で撮影する。様々な撮影条件とオーブ像との関係。

2. 撮影の意識的な面(霊界との連絡)。はじめに、潜在脳(無意識)並びにチャクラの活性化を行う。

脳波(EEG)を α 波と θ 波の「境目」にして、両者が入れ替わる時に霊界を呼び込む(例、鏡見の実験)。このために瞑想(または自己催眠)、真言等を用いて「境目」に入る。なお霊界、アカシック・レコード等は脳幹(視床下部)並びに多次元世界にあると推定。鏡(像)見テスト(鏡像は前後が逆転している)。こちら側(我)と真我(あちら側)を拮抗させ、相殺ゼロ場を形成・累積させるとマクロPKが発生する。

佐藤禎花…ieb-college-japanの学長として学生を指導している。特異功能保持者であり3年前からオーブ研究を開始した。霊性の目覚め、ヒーリング等の技法を開発。

オーブ動画を介して、霊界との初歩的な情報交換を、世界で始めて成功させた。このオーブ動画の実際の提示、各種オーブ撮影の実験結果等の報告。その他を述べる。

苗鉄軍…カオス解析に関連した研究と、生体計測関連機器の開発等を行っている。講演会では、画像フラクタル解析法を用いたオーブのフラクタル解析。オーブの分類。オーブ動画のカオス解析。オーブ静、動画の比較検討。オーブ形成メカニズム分析。太極図形との関連性等を報告する。

日時 平成28年1月9日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

訃報

永い間関西日本サイ科学会の事務局を勤めて頂いた木村のり子氏が平成27年12月12日急逝されました。

木村のり子氏は関西日本サイ科学会初代会長の木村六郎氏の娘さんで、父と娘で永年関西日本サイ科学会の発展のために尽くされました。

心からご冥福をお祈りいたします。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(12/14受領分まで)

金五万円也 小澤 佳彦様
金二千三百円也 小牧昭一郎様

二月本部例会のお知らせ

靈魂觀の現在

講師 正木 晃氏

あらゆる宗教にとって、死後世界や靈魂にまつわる教説は欠かされません。ところが現代の宗教、とりわけ日本の仏教界はこの領域に對してすこぶる消極的です。その原因は明治以降、欧米から導入された近代仏教にありま。

すなわち日本の仏教界は、近代化の過程で、合理主義に偏向した結果、仏教を生の世界だけに閉じ込め、死後世界や靈魂にまつわる探求を避けてきたのです。現に、伝統仏教界において、靈魂の存在を認めている宗派は日蓮宗と高野山真言宗にとどまり、他の宗派は認めないか、曖昧な答えに終始しています。

今回の講演では、日本人の伝統的な靈魂や死生觀を学びつつ、近代化の過程で犯したあやまちを指摘し、今後の展望を示唆したいと考えます。あわせて宗教と科学のあべき関係を、この領域ではは

るかに先行する現代キリスト教神学をふまえて、論じます。

※正木晃先生は日本密教、チベット密教を深く研究され、修行がもたらす心身変容とその視覚表現が主な研究テーマです。精神科医とともに不登校・引きこもりを防ぐ運動も実践されており、宮崎駿らのアニメを題材に、宗教的伝統的な智慧を解きほぐすセミナーなども開催されているなど、幅の広い活躍をされている先生ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

◎正木 晃氏のプロフィール

1953年、神奈川県小田原市生れ。筑波大学大学院博士課程修了。国際日本文化研究センター客員助教授、中京女子大学助教などをへて、現在は慶應義塾大学文学部・立正大学仏教学部非常勤講師。専門領域は宗教学。日本とチベットの仏教を中心に、修行における心身の変容、宗教図像学などを研究。著書に『密教』・『増補チベット密教』（筑摩書房）、『マンダラとは何か』・『宗像大社―古代祭祀の原風景』（NHK出版）、『現代

の修験道』（中央公論新社）、『空海と密教美術』（角川学芸出版）、『現代日本語訳 法華経』・『お坊さんのための「仏教入門」』・『マンダラ塗り絵』シリーズ（春秋社）など多数がある。

日時 平成28年2月13日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※3月の本部例会はお休みです。

◎事務局スタッフ大募集

現在の事務局は一人体制で、

1. 毎月の理事会・本部例会の準備と運営、会員管理、刊行物の注文応対
2. 「サイジャーナル」と論文集

「サイ科学」の編集＋発送準備をこなしてきましたが、年齢的にきつくなってきましたので、事務局の仕事を前者と後者の2つに分割することになりました。

そして、前者1.を担当する新しい事務局のスタッフを並列記憶能力が高い20代～40代の会員か、会員のお知り合いから募集することになりました。

最初は幹事として役員会等にも出席し、数ヶ月で引き継ぎを受けて、問題なければ7月から正式に給与の出る事務局スタッフになっていたと予定です。

資格は首都圏在住、ウインドウズ・パソコンで「WORD・EXCEL」等のソフトが使える、機械音痴ではなく、多少の几帳面さと責任感を持てる方です。会員とのやりとりはメールが主体で、通常のルーティーンのお仕事に就いている方でも、兼職は可能です。詳細につきましては、事務局にメール願います。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

関西日本サイ科学会
一月研究集会のお知らせ

地震予知・20年間の検証

講師 森川 薫氏

日時 平成28年1月16日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通

地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員二千円 一般三千円

学生一千円

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会まで

関西日本サイ科学会
二月研究集会のお知らせ

運の良い人、悪い人それぞれ
の潜在意識はどうなっている
のか？

講師 佐田 弘幸氏

日時 平成28年2月20日(土)
午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通

地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員二千円 一般三千円

学生一千円

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

命をつなぐ

講師 畑田 天真如氏

日時 平成28年3月19日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通

地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員二千円 一般三千円

学生一千円

問合せ072・445・7737

中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成28年3月12日(土)

午後1時～5時

会場 博愛³癒院³ホール

名古屋市昭和区御器所3・4・21

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎

問合せ052・871・9060

第27回宇宙生命研究分科会

第8回ヒポクラテスシンポジウム

日時 平成28年3月27日(日)

10時30分～17時45分

会場 品川健康センター3会議室

(品川区北品川3・11・22)

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」行

で「新馬場駅前」下車

会費 会員一〇〇〇円(日本サイ
科学会・サトルエネルギー学会)

一般二〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

第4回スピリチュアル研究
分科会のお知らせ

大いなる存在との不思議な
出会いから目覚めて

講師 大石 陽子氏

(スピリチュアルヒーラー)

霊能者というよりシャーマン(高次元の神霊などと繋がり、直接交流する役割を担った人)と呼ぶに相応しい方です。ある時、大いなる不思議な存在と出会ってから高次元のエネルギーの波動を媒介として知人たちにヒーリングを施すようになり、病院では治らない病気とか憑依による霊障、さらに運の悪い人や人生をネガティブに歩んでいる人にも光明を与えて元気をとり戻したと感謝され、世の

ため人のためにその使命を負っているものと自覚されています。

ヒーリングによる癒しやサイコメトリー（物に残る人の残留思念を読み取ること）などの実演を披露し、さらに花々からのメッセーヂを受けとる方法などをお伝えして、一人ひとりの意識が靈性に目覚め、世直しの大きなうねりへと広がっていったらと願われています。

体調の思わしくない人、霊障ではないかと思われる人、不運続きの人などは必見です。

○大石陽子氏のプロフィール

フエリス女学院短期大学卒。現在は埼玉県の新神泉村の山里で自然に親しみながら、知りの人々にヒーリングを施しながら、日常生活では、テレビ、ラジオ新聞などは一切視聴せず、自然界からの恩恵に感謝しながら、無農薬の野菜や山野草を使った自然食、健康食、日本の伝統食など研究。人間の命や靈性（エネルギー）を高める為の食生活・子育てに大切な食育活動を通して、日本人の精神性・情緒を大切にする生き方を啓蒙しています。

日時 平成28年4月24日（日）

午後1時20分～4時30分

会場

北とびあ9階902会議室

交通

JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札

会費

会員 一千元 一般 二千元
学生 一千元

※定員次第で締め切りますので、

参加希望者はお早目にお申込み下さい。

参加予約は公式サイト

のスピリチュアル研究分科会の欄の

フォームからお申込み願います。

<http://homepage3.nifty.com/PSIJ/>



平成27年2月本部例会報告

物質化現象 無から有は生じる

講師 スワミ氏（氏名非公開）

とき 平成27年2月14日

ところ 北とびあ701会議室

1. 幼少期のUFO体験と進学

「幼少期より、理解が困難な現象に遭遇し、特に多数のUFOを目撃しました。小学校4年生の7月20日、その山（広島県呉市の灰ヶ峰）に登りますと、地球上の生命体とは思えないような姿形をした動く物体2体と遭遇しました。幼い私にしたら、『宇宙人に遇った』という表現になってしまいます。非常にグロテスクな形でした」

宇宙人の話をすると皆が嘘つき呼ばわりするので、信じて貰える人になるため大学の物理学の先生を目指し、小学校時代から独学で相対論や量子力学を学んだ。高校では2つの大きな疑問にぶち当たった。

① どうやって宇宙ができたのか？

② なぜ宇宙が必要だったのか？

念願の筑波大学に入り物理学を専攻したが大学院には進まなかった。

「そして、レーシングドライバーとして、数々のレースで、国際レースにも出て、レーサーとしてずっと活躍しておりました」

命を懸けた一瞬の判断を求められるレーサーの経験に鍛えられて、

その後のインドでのメチャクチャな修行にも怯むことがなくなっていた。

2. 物質化現象、研究から実践へ

ある日、深野一幸氏に出会い、その超常現象研究の意気込みに非常に感銘を受け、深野氏の講演に同行しているうちに、物質化現象を研究することに決めた。

「物理をかじった人間としましては、この物質化現象という現象だけは捨て置けなかつたのです」

インドの聖者サティアサイババの元に向き、1対1で話をした。「手からニョキニョキニョキと竹の子が生えてくるように、仏像が物質化して出現して、それを頂きました」

帰国し、その仏像を手には、サイババの物質化現象の講演を行った。「その2年後ぐらいでしたか、日本中サイババブームがやってきました」

次に、サイババ以外にも物質化できる人がいるのではないかと、アジア中の心霊治療家や聖者を探して、

「どうやったらできるのか？」と尋ねて回った。しかし最後は「エンジェルがね」

「神様がね」

誰もがそういう答えをいう。調査・研究は行き詰まり、もはや自分自身で物質化するしかなくなっていた。そして遂にインドで物質化を覚えてくれる、とある聖者を見つけ出した。

3. エンジエルの召喚とインドでの学びの終了

グルと二人で特殊なブジャ(神への祈りの儀式)を行い、願いを一つだけ叶えるエンジエルの召喚した。

「そのエンジエルが出現したときは、もう震えて緊張して声もでないくらくらします。『Please give me super natural power! (奇跡の力を下さいー)』そう言うと、そのエンジエルが、『オッケー、アイギブユー スーパーナチュラルパワー』と日本人の英語で話し、その瞬間にいなくなっちゃったんですね。するとグルが『銀の指輪を買ったとけといつただろ? 渡すな! 本当に銀の指輪だな? OK、じゃあその銀の指輪を、今から金の指輪に変えろ!』というのです」

元素の周期律表や銀を金に変換する原子核反応などを想起していたスワミ氏に、さらにグルは言う。

「お前の考えそうなことはすでにわかっている。いいから変えろ! こないだ教えたろうが、あのマントラでも唱えとけ!」

そのマントラを唱え、10分弱、

「よかろう、開けてみろ!」

「ほんまじゃ、変わっとる!」

指輪は金に変わっていた。

「それが《私の手のひらのなかで起きた最初の奇跡現象》です。そのときやっとわかったんです。そうか! エンジエルとの関係性が先にできたので、エンジェルに頼んでこの物を変えてくれただけなんだ。だからみんなが言っていたことは全部本当のことだったんだ。自分が勝手に嘘だと決めつけていただけだったんだと」

4. 聖者達の物質化現象の方法

「出す物を先に買っておきます。

そして、ある特殊なブジャをやって置いておく。手を回すのは『ここですよ!』という合図なんです。『ここにワームホールを今から作りますよ』と。で、この場所と、置いてあったところを、ワームホールによって同じ場所にするんです。で、手をつつ込んで取ればいいだけです。有る物をこっちに移動させただけなんです。だからそ

のことを知った私は結構落胆しましたよ。『無から有が生じているのではないんだ。私の本当に求めていることじゃあないんだ』と」

5. フィリピンの魔法学校の開催

インドで物質化をマスターし、ジャイナ教最高峰アーチャリーダルの元でも学んだスワミ氏は、次にフィリピンの心霊治療の最高峰ジュンラボ先生の元に行き、ある人のところで心霊治療を習い、体得した。

「ブラッドタイプという血が出現する心霊治療を4日ぐらいでできるようにになりました。その後、フィリピンで、魔法学校を開催することになり、魔法学校の教頭という形で、魔法の顕現に関することをずっとやってきました。インドでの勉強はまさにほんの入り口、いかにこの世界は広いのか、我々は何も知らないのだ、ということをお思い知らされました」

空飛ぶ吸血鬼アスワンとの戦いや、心霊治療で心臓を取出したり、宙に浮く患者を押さえたりといった、科学では全く説明できないオカルト映画の世界のような体験談が続く。

「お腹から亀を4匹出したかな、生きたミミズとか蟻とかいろんなものが出てきましたね。《バラントラ》というブラックマジックで

す。人の身体の中に物を送り込むタイプですね。そういったものを取り除かないと、問題の解決はできません。それをやる人がいます。《エクソシスト》といいます。そして私は《エクソシスト》です」

しかしトニー先生が亡くなりフィリピンの魔法学校は終わりとなった。

6. タイの洞窟の「天の扉開き」

現在、スワミ氏はタイの「神聖秘法術科学学校」を開き、洞窟で「神の世界のドア開け」を行っている。

「ビッグバンの非常に小規模なもの、それが目の前で観察できます。『宇宙が始まったビッグバンの瞬間は、超高温』との通説は、それは嘘だな、ということがよく分かりました。今からお観せする現象は、人間の手を離れて客観的に起こる現象です。ですから、物凄く意義があると思うんです。物が出現する前にピカッと爆発が起きます。そしてその後に、色々な物

が落ちてきて、それを受け止める天幕を張っています。結構分厚い布です。そこに非常に大きな音を立てながら、バラバラバラバラつときます」

7. 「天の扉開き」のビデオ上映

「まずは、爆発が起きます。そして落ちてきます。落ちてきたものが下でまた光りました。これ違う角度のカメラです。これ非常に面白いものが撮れました。上で光るんですが、横のところから飛び出してきます」



「超小型ピックバン現象」洞窟上部で発光があり、爆発音がして、物体が落下してくる

「これは洞窟を下から上に真上に見上げて定点カメラで撮影しているシーンです。人工的な照明は一

切使えないので、ローソクだけです」

「インターサウンマハー」

司祭の唱えるマントラが流れる。

「いま唱えているのは、神様のドアを開ける《鍵》のマントラです。そうするとドアが開きます。爆発が起きました。ドアが開いて物が発生する音がします。このバラバラつという音です。天井までの高さは30m位あったかもしれせんね」

「別のグループが撮った映像です」読経と、木魚のような音と、金属をたたく金属音が鳴り響く。

「爆発とともに出てきたのが、非常に長い、パヤサミンレックで、長いときは20mでも30mでもいくらでも伸びてきます。金属状の形をしますが、蛇のようにクネクネと動いてきます。これは神の世界が開いたときに向こうの世界から降りてくるんです。先端部が金属状に光ります。時には目の前にきて、グニョグニョする場合があるそうです。私はまだその体験がありません」

「横から物質化して大きなものが飛び出してきました。途中から物

質化しているところが見えます。

これは真上から撮った定点カメラの映像です。スローで見てくださいます。ここで影になって、ここから物質化が始まりました」

物体が現れる《瞬間》の映像が流れた。読経が止まり、その驚愕な映像に会場は静まり返った。

「次が新しく発見した映像です。音速を超えて物が出現したために、その場所の空気が衝撃波となって布の上に与えたものではないかと、今私は推測しています。布のところに現れてくれるようにと頼んでおりますので、布の表面で現れるのと、下側で現れる場合があります。下側で現れる場合は布の下に落ちていくわけです。それで下をよく探したらいくらかもあつた」



2015年8月、筆者のビデオカメラで撮影
天幕上にはごぼし大の物体が落下していた

「では、幕の上で出現する瞬間を、超スロー映像で見てください。黒いのが、今現れましたね、ポイント。あの映像をよく見てください。あんなにちっちゃな物でこれだけ波たつのですから、もつと優秀に映像を解析したら、最初の波が下から持ち上げられている場合と、下に向かって下げられた場合があるかもしれません。これだけ波立っているにも関わらず、それに相応する量の物が発生していないのではないかと思われんですが」

8. 人間を構成する三要素(肉体、魂、JIT)とスピリッツについて

休憩後、スワミ氏の「天の扉開き」の解説が始まった。

「私は、この《非物理的世界》の中に、いかなる存在が、どのような形で、何の目的で、どのような役割で存在しているのかについて、徹底的に学び、体験し、実践し、確信に至っております。《非物理的世界》の存在が動いて様々な理解困難な現象を起こしているのだという大前提に立って物事の動きを見ていくならば、その《非物理的世界》の世界地図が綺麗に書いて

いきます。私はそのような存在を《スピリッツ》と呼んでおります。これはフィリピン魔法学校で使われてきた言葉です」

「人間には魂の他にJIT(ジッ。以下JITと表記)という《非物理的》なものが存在しています。魂が存在している場所は心臓の心室の中です。JITは脳みそのところに存在します。多くの人々が一生で使う脳の割合は5%から7%だと類推されていて、死んだあとJITは消滅し、魂だけになります。」

9. 脳みそを50%以上使った人は死後《ジッ融合体》になる

「脳みそを50%以上使くと、肉体が消滅したあとJITは消滅せず、魂と融合します」

※魂とJITが融合したものを《ジッ融合体》又は略して《ジッ》と表記することにします。

《ジッ融合体》になると、死後に魂だけになったあとに行くべきタウエースワン(閻魔王)のところにいくことがなくなり、輪廻転生の輪から外れます」

肉体の死後、魂とJITが融

合し《ジッ》になる。《ジッ》を《スピリッツ》ということもある。その《ジッ》は正統な道であるテワダーの道の他、ルーシーの道、エントイテイの道など進むべく道が多数ある。

「数万年前の方々は、様々なことにセンサーを張り巡らせていかなどと生命の危機があり、脳を50%以上使っていた人が沢山いたんです。テワダーの道じゃなくて、別の道を選んだ《ジッ》がいます。それらの《ジッ》はどこにでも存在できるんです。空気の中でも、水の中でも、そして地の中でも。洞窟の中にも数万年前の《ジッ》が住んでいます。そして彼らの望んでいることは、学んでもっと上へ上がることです」

10. 洞窟の中の《ジッ》たちの役割

「洞窟の中に《ジッ》たちが沢山住んでいます。プジャーリー(司祭)がインターサーバンマハー」といってマントラを唱えていく。そうすると神がドアを開けます。《天の岩戸開き》は、美女ウズメノミコが踊りましたがそれでは一

種類の神様のドアを開くことしかできません。しかし『天の扉開き』のやり方ですと、様々な種類のドアを開けることができます。何故ドアを開けてこつち見るのか。彼らが勉強するためには《プラプッタジャウ》(ゴータマシッダルタ、お釈迦様)の言葉が必要なんです。そのマントラを唱えたならば、それを聞きたいからドアを開けるんです。ドアが開いたので、神の世界のエネルギーが流れ出してきま



「天の扉開き」で物質化した神聖物の数々。神聖物の中には《ジッ融合体》

そして、プジャを行う司祭のJITと洞窟に存在する《ジッ》とが関係性を持って、どのようなものが欲しいのかという設計図をこの《ジッ》たちに与えます。神の

世界のドアが開いてエネルギーが流れ出してきて、この設計図を持った《ジッ》とエネルギーとが一緒になったときにその設計図通りの物質が出現するんです」

「4大要素でこの世界は成り立っているといわれています。地の要素、水の要素、火の要素、空気の要素。『天の扉開き』で一番多く使われるのが地の要素です」

「物が出来上がった瞬間、火花が飛び出たときです。それはドアが開いたときです。それでエネルギーが流れだしてきて《ジッ》によってここに物質が出現する。この物質が出現した瞬間は熱くないです。ですから、いま見られたように、空間をかき分けて物質がポツと出たわけですから、空間のひずみ、あるいはそこに空気があれば衝撃波も出るでしょう」

11. 宇宙創造時の物質化現象と低温ビッグバンの可能性

「同様に宇宙を創る場合、テーププーサンという創造主と呼ばれる神々が持っている《ジッ》が、どのようなものが欲しいかという設計図を考えます。その設計図に対

してエネルギーが必要になります。エネルギーが《ジツ》を使って物質を創るんです。これが《クリエーション》いわゆるものが出現するメカニズムです」

「推測の域を出ませんが、ビッグバンの瞬間、その最初に物質が宇宙の元の大きな塊を物質化させた時には、熱くなかったはずですが、しかしこの三次元に発生するときの、何かの反作用によって、大きな熱が発生したのではないかと思われれます。」

12: 「神の扉開き」の手法はJITを飛ばして教えて頂いた

魂がもし身体から出たら即刻肉体の死を意味します。死ぬ以外で魂が外に出ることは絶対にあります。幽体離脱は魂ではなくJITが出たんです。このJITを出す特別の瞑想法、特別のやり方やっていくならば、JITを自分の身体から外に出して自由にどこにでもいけます。神々の世界にも行って、直接マントラを教えて貰ったり、色々な英知や疑問の答えを貰って帰ってきます。そのようにしてこの手法を生み出しました。JITを外に出して色々なところ

にいつて色々なことを知ることが出来る人のことを《アンタルヤミー》とインドでは言われます。あらゆることが知ることができ、最近では、150年前位に活躍されたシルデイサイババという偉大な聖者は《アンタルヤミー》と言われていました。

そのようにして、英知というのは築かれてきたのです。『神の世界のドア開け』もそうです。

さて、そろそろ時間ですので、皆さんから質問があれば受け付けます」

13: 質疑応答

① Q 光って爆発したのは、破壊の神シヴァ神が関わっているのか？

A. シヴァではありません。私はインドではシヴァ派です。シヴァは不要を破壊し必要を再生する神様でテープポツポンの最高レベルです。

② Q. ガイヤモンドや黄金などを頼んだら出てくるのか？

A. 「欲しい」といったら出ません。「もしそちら側から見ると、我々に必要ならば、一番あっているならば、それをどうぞお与え下さい。」

我々からは何も要求することができ、立場にはありません」というマントラを唱えていかなければなりません。

③ Q. パヤサミンレックの役割は？

A. 我々を護る役割があるのだから。

④ Q. パヤサミンレックは人が操る人工物では？

A. 自分で、足を運び、そこにいれば、それは直ぐに分かります。

⑤ Q. 物質化は洞窟内での大音響のマントラの共鳴がダークエナジーに働きかけて起こしたのでは？

物質化現象にマントラは必須なのか？

A. 山の上でも物質化現象は起こしました。テープレコーダーでマントラを再生してもJITがないから物質化現象は起きないでしょう。

⑥ Q. 真言密教の空海の評価は？

A. 私は真言宗のお寺の出ですが、海外が多いので日本のことは良く知りません。

⑦ Q. 超能力者が空中から出したお金を使った後、神棚にお金を供えて消していたのを見たことがある。物質化現象は貰うだけでなくお供え物を捧げることも大切か？

A. お供え物は凄く大切です。超能力者のおこす物質化現象はカッポレなどのスピリッツとの関係性を知らずに持った場合に起こります。

⑧ Q. 地球文明の今後のあり方として、もつと知られて欲しいですね。

A. 沢山の方が体験をし、司祭も行うことができるようになれば、世の中変わると思っています。我々日本の歴史の中で『天の岩戸開き』という、神様のドアを開けたという神話があるんです。その神話をみんなが実現していったならば、それは認められる世界になっていくんです。

⑨ Q. 凡人でも物質化現象を起こすことができるのか？ 物質化現象は般若心経の『色即是空空即是色』と関係ないのか？

A. 過去世で学んだことやスピリッツとの関係により、修得のしやすさに違いはあるかもしれませんが、手法を修得すれば皆できるようになります。般若心経の原典はサンスクリット語です。『色即是空空即是色』のくだりは『ルーパン』つまり『現れる』あるいは『今すぐやっってください』という意味です。

⑩ Q. 超常現象は「意識が現象を作る」という考え方で説明できるか？

⑪ そのが傲慢につながります。思いを超えたことをスピリッツにやっつて貰って、もっと良くしていきたいでしょうという方向に、もっともつと発展させていくことができますかと思えます。

⑫ Q. この物質化現象は $E=MC^2$ に則っていないと考えていいか？
A. $E=MC^2$ は物質が出来上がった世界の中で、ほぼ成り立っている現象だと思えます。私がいっているのは、その $E=MC^2$ が成り立つ世界を創り上げたときのメカニズムの話です。

【参考サイト】

- ① 天の扉開き公式 Website
<http://www.amanotobira.com/>
② 第9回 UFO・オーブシンポジウム 小澤佳彦「無から有へ、エネルギーの物質化について」
<https://www.youtube.com/watch?v=y1v7UWQNKkQ>

☆ ☆

講演は驚きの連続だった。講

演後「この世とあの世の《解体新書》」そんな言葉が浮かんできた。

このレポートを、スワミ氏に何度も何度も助けられ、講演の日を目前にして、九十歳という若さで自宅で天寿を全うした母元子に捧げる。

(日本サイ科学会会員 小澤佳彦)



平成27年11月本部例会報告

野性と霊性・ヒトの原点
「直立二足歩行」から問う

講師 坪井 香譲氏

「8気流法(身体技法)創始者」



坪井香譲氏のプロフィール

早大哲学科(心理学専修)卒。少

年期にロマン・ロラン、ユング心理学に触れ、弓道と合気道等実践。1980年ビジョン体験で身心技の極意の一つに出会い、∞(メ

ビウス)気流法創唱。この30数年来、国内にとどまらず、フランス、ドイツ、ベルギー、ノルウェー、オーストラリアなどで定期的に講習、各界の人々が参加している。パリ国立舞踊研究所、朝日カルチャー新宿、相模女子大(非常勤2003~2006)講師歴任。
『やわらげの武』最高師範。著書『メビウス身体気流法』平河出版社、『気の身体術』工作舎等多数。ブログ「文武随想録」。

◎講演内容

〈からだ〉のことは からだに習う
「松のことは松に習え、竹のことは竹に習え」と俳句の極意、あるいは基本を、芭蕉は説いた。
俳句に限らず、極意と基本はほとんど重なるように一つであることが多い。

実は〈からだ〉のことも同じだ。
〈からだ〉のことは〈からだ〉に聴き、習う。

最も身近な〈自然〉としての〈か

らだ〉は、松や竹と同じく、よく観じ耳を澄ますようにして謙虚に集中していけば、その真相をあらわにする。

〈からだ〉の裡に自然がある、ともいえるし、〈からだ〉は自然の裡にある、ともいえる。

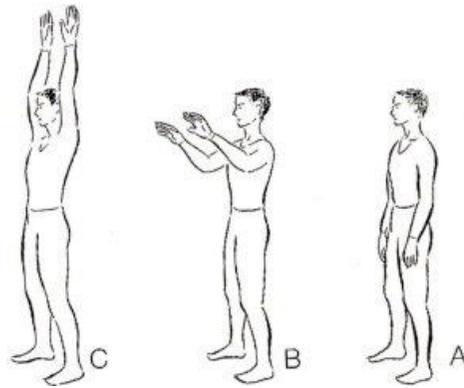
〈からだ〉の裡にある〈原自然〉、天然を大切にすることは、生き物としての基本的な〈マナー〉ではないだろうか。自然としての〈からだ〉を受け容れ、その響きを聴くことから、身体の活動や技法すべては始められてゆく。(そうすることで人は、生な〈原自然〉とは異なった位相に入る。)



エクササイズを始める前提に行う基本中の基本

「3R(スリーアール)」

「3R」は、Relaxation, Relation, Realizationの三つ。リラククスとつながりと実感・集中の三側面のことである。三つの原則なので「三則」とも言う。



たとえば両腕をできるだけゆっくり高く上げてゆく。これは腕の動きのようにだが、深くリラククスして集中し実感してゆくと、この両腕の動きが、脇腹、下腹、腰へ…と次々につながっているのが感じられる。そうした場所が呼吸して動くのが感じられる。すると両腕の動きはほとんど全身の運動でもあることが少しずつ実感されてゆく。

つまり、そのようにして体の各部へ「あいさつ」してゆくことになり。すると部分は全体に連っていることが実感されてゆく。そうすると実感された身体の部分が、より鮮明に「あいさつ」してくる。また、そうして目覚めた各部同士も呼吸して一層互いに「あいさつ」をしてゆくということになる…という具合である。

リラククスしてる？ リアライズ（実感）してる？ そこにつながりがある？ …と問いつつ、全身のひびきを聴く、ひびき合いを感じる…というのが「3R」の第一歩、いわば身体による「自問自答」の作業なのである。

こうして意識のネットワークが全身に張り巡らされ身体深部にまでゆきとどくようになる。これだけで、呼吸は自ずと深くなり、立ち方や歩き方の姿勢や動作のめりはりが相当変わってくる。様々なジャンル、スポーツや武道や芸術、医療などの人々が、その技法や集中力を大いに進展させている。

身体は、一冊の書物に似ている。その裡に多様な言葉と英知を含んでいる。

ただ、それを読み解くには鍵が必要だ。それが〈身体の文法〉という発想である。

「身体の文法」（※註）と、それに伴う技法は、大きく次のように分けられ、相互に密に関わり合っている。

- ① 重力に沿って重力を活かす。
技法「垂直気流」
- ② 息のリズムに則って息を活かす。
技法「息をかんずる」
- ③ 動きは〈巡り〉となる。
技法「やわらげ」

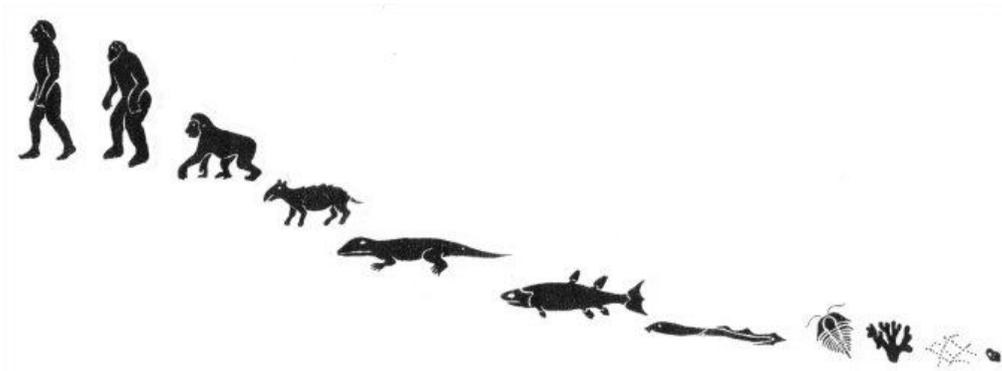
さらに、この三つの〈文法〉を、すべて円転と渦の原則が支えていることに基づく技法「うづたま」がある。玉を用いて行う。

そして窮極は、〈直立二足歩行〉という人間の原点に発する「歩み」の技法に至る。これらを養生法、日常の身ごなし、運動や芸術の集中やバランスに活かし、対決を和へと誘う武術にも活かしてゆく。

人の原点、〈歩く〉からはじめる

ヒトが人間となった原点とされ

る「直立二足歩行」。遙か数百万年も前からこの二十一世紀まで、人類は歩き続けてきた。



人は直立二足歩行によって、道具の使用や言葉の獲得など…様々のことが可能になった。そうした能力の獲得から、文化、文明も進展してきたとされる。とすれば、人間の立ち方、歩き方をとらえなおし、そのあり得べき原則があるとして、もしそれをとらえることができるならば、人間の個人の生活も、健康も、文化や文明のための活動や様式も根本的に洗いなおされ、新たな視点が導き出されるのではないか……。

足の裏と大地(床)が出会い、(親和)することによってこそ、人の(歩く)意味合いが出てくる。そのことは相当忘れられてしまっている…。あらためてそのことを問い直し、∞気流法の「身体の文法」に照らした稽古法「歩きの型」ができた。

・∞(無限記号、メビウスの環)状態の動き(やわらげ)は、足の裏と歩き方にこそ活かされるものだった。

・なんと、宮本武蔵がこの歩き方のコツを説いている(『五輪書』)。
・足の裏が大地と(親和)するこ

と。ナンバ歩きを伝える現代の研究者たちもそれについては触れていない。

・一歩一足、大地と出会う、そのプロセス自体が味わい深いものとなる。それはつまり一歩一歩を(使い捨て)にしないことである。

右のようなことが実感されつつ、実現されてゆくための技法が「歩きの型」なのだ。

始めた人の中には、足が暖かくなったとか、目がよく見えるようになったとか、姿勢が変わって足運びが楽になった、肚(ハラ)が少しできた感じがするとか、武術の技も劇的に変わった人もいる。しかし、このような身体的な変化だけではない。

片方の足の裏は体表の200分の1。そこに人と地球(自然)との出会いも、立つことと歩行を根源とするあらゆる身体活動も、術、芸、表情、言語活動、思考、想像力でさえかかわってくるのである。

足裏の 広さに 人の立つ不思議
薬師寺の上 雲 流れゆく

(福田光子)



(※註) 日常生活の立居振舞い、芸術、武道、スポーツ、健康法などを行う際の様々な身体活動に通底する法則性を「身体の文法」とする。∞気流法はその「身体の文法」を実感し、体現するための技法である。それによって様々な身体活動の可能性を拓くと同時に、人や自然との出会いをより深くし、創造的な共感の世界を実現しようとするものだ。常に、言語、身体、想像力がそこに関わってくる。

※東京(多摩市、新宿区)、名古屋、大阪、関東各地で定期講習会・見学体験日有り

連絡先/∞気流法の会

電話042・378・6648

E-mail lab@kiryuho.com

ホームページ

<http://www.kiryuho.com>

ブログ「文武随想録」

<http://d.hatena.ne.jp/tsuboi>

kajo+2/



第四〇〇回関西日本サイ
科学会研究集会報告(Ⅱ)

永遠の生命―死は真つ赤な嘘、
死ぬのは真つ平ごめん、人類
は死に完全勝利した。

講師 梶原 和義氏

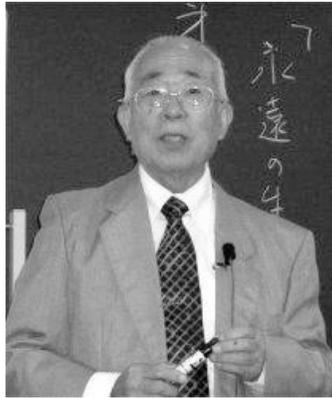
とき 平成27年7月18日
ところ 大阪科学技術センター

(前号からの続き)

日本の総理大臣は、国民の生活が豊かになるように政治をしようと、盛んに言います。アメリカの大統領、ロシアの大統領、ヨーロッパの首脳も、同じことを言っています。それらの人々は、生活が豊かになってどうするのか。もう分からないのです。だから人間は何が本なのか皆目わからない世界に生きています。どんなに生活が豊かになっても、やはり人間は死んでいくのです。

宗教は死んだら極楽に行く。死んだら天国にいけると説いている。これは真つ赤な嘘です。これは死んだら5000万円あげますという生命保険と同じ言い方です。5000万円の死亡保険金をかけても、本人は受け取れないのです。奥さんか子供さんが受け取るのです。死んだら本人はいないから受け取れないのです。死んだら、極楽や天国に行くべき本人はもういないのですから、絶対に極楽、天国には行けないのです。このように宗教は行けるはずがないのに、死んだら極楽や天国に行けると、堂々と嘘をいつている。人々を堂々と騙してお金を取っているのです。

極楽、天国は生きているうちに行くのです。イエスは今神の国を探索と言っています(マタイによる福音書6・33)。水からと霊から生まれ神の国に入れと言っています(ヨハネによる福音書3・5)。また、「生きていて私を信じる者は、いつまでも死なない」(ヨハネによる福音書11・26)と言っているのです。



今の人間は死ぬ世界にいます。絶対に死ぬことをカルマと言います。人間はどうしても行きたくないところへ来てしまった。これが人間の業(ごう)です。

人間は生まれてくる前に命を裏切つて死んでしまった。そこで、強制的に地球に放り込まれたのです。エデンの園から追い出された

のです。地球には命を裏切つた犯罪者ばかりがいるのです。必ず死ぬという死刑囚ばかりがいる世界ですから嫌なことがいっぱいあるのです。ガン、エイズ、脳溢血、脳梗塞等の10万種類の病気に満ちている。災害、詐欺、犯罪、人間関係の矛盾などがいっぱいあるのです。

ところが人間は死にたくない、死にたくないと思つている。これは一体どういうことか。絶対に死んでしまふと思つていながら、絶対に死にたくないと思つている。切願しているのです。これは一体どういう事か。

つまり1人の人間の中に、2人の人間がいるのです。絶対に死んでいく人間と、絶対に死なない人間と、2人いるのです。

絶対に死んで行くのは何かと言いますと、自分がある、自分の命がある。自分の人生があると思つている人格です。全ての人間は自分が生きている、自分が生きていると固く、固く思い込んでいます。

ところが自分はいないのです。人間は自分の意志で生まれてきたのではない。生まれてくる国を自

分で選んだわけではありません。世界にはアメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、インド、中国、韓国、エジプト等、200余りの国がありますが、生まれる国を自分で選んだ人があるでしょうか？

日本に生まれたとして、両親を自分で選んだのでしょうか？ 今日本には2000万くらいの世帯主がありますが、それを自分で選んだ人があるのでしょうか？ また、生年月日を自分で決めた人があるのでしょうか？ 奈良時代、室町時代、鎌倉時代、江戸時代、現代といろいろありますが、それを自分で選んだ人があるのでしょうか？

男女別を自分で選んだ人はあるのでしょうか？ 自分の顔を自分で決めた人があるのでしょうか？ 自分の服は自分で選んで決めています。乗っている車も自分で決めた。何でもいいですから車をくださいという人は多分いないでしょう。ましてや自分の顔です。一生使いますから、自分の顔なら絶対に好きな顔を自分で決めます。ところが顔を自分で決めていない。嫌な顔でも変更できないのです。自分の名前さえも自分で決めていないのです。だから、今いるの

は自分ではない。これらのすべてを自分で決めていないのですから、今いるのは自分ではないのです。自分はいないのです。これが人間には絶対に分からない。これが人間のカルマです。どうしようもない人間の業です。

釈尊は、人空（人間はいない）、生空（人間が生きている事もない）、我空（自分はいない）と喝破しました。これが、五蘊皆空です。

病気になるって困るのは自分です。地震が来て困るのは自分です。津波が来て困るのは自分です。死ぬのが困るのは自分です。もし自分がいなくなったらどんな事があっても困らないのです。困る自分がないのですから、困らないのです。死んでいく自分がいないから、現世を去るとしても気楽です。

人間は生まれてくる前に何をしていたのか。いるはずがない自分がいると、思ってしまったのです。これが悪魔に同意した事になるのです。そこで死んでしまった。命の本源である神を裏切って、悪魔に同意した。だから死んだのです。

人間が地球に生まれたのは何のためか？自分が本当にいますか？見

極めるためです。もし本当に自分がいない事が分れば、もう1回生まれてくる前にいた、命の世界に戻れるのです。仏典で言う彼岸、聖書で言う神の国です。ここに帰れるのです。魂は神を裏切る前に、ここにいました。これが私たちの本当の古里です。ここに帰ることが、人生の唯一無二の目的です。商売をして大儲けをするか、大会社の社長になるとか、国会議員や、首相、大統領になる事が人生の目的ではないのです。そういう事でも命を獲得してください。それからゆくりと、商売でも政治でも、好きな事をしたらいいのです。思う存分好きな事をしたらいいのです。

人間は自分が生きている、自分が生きていると、固く、固く思い込んでいます。ところが心臓を自分で動かしている人はいません。もし心臓を自分で動かしていたら大変です。夜、絶対に眠れません。寝たら止まってしまうからです。心臓を自分で動かしていないから、夜ぐうぐうと眠れるのです。

呼吸も自分はしていません。も

し自分で呼吸していたら、夜、眠れません。自分で呼吸していないから、眠れるのです。腎臓も肝臓も脾臓も、胃腸も自分で動かしているのではないのです。

すべての人は、自分が生きている、自分が生きている、と思っっています。本当に自分が生きているのでしょうか？人間は空気が水、太陽光線がなければ生きていきませんが、それらを自分でつくっているのでしょうか？人間は空気がなかったら10分間も生きていられません。その空気を自分でつくっているのでしょうか。穀物、野菜、果物、肉類、魚介類を、大自然の恩恵なしに、自分の力で作れるのでしょうか？

人間は一〇〇％大自然によって生かされているのに、自分が生きていると思ひ込んでいます。これが死んでいく原因です。

自分がいるという考えは天使長ルシファーが勝手に考えたもので、これは真つ赤な嘘です。釈尊が人空、生空、我空というように、自分はどこを探してもいません。自分がいるというのは大嘘です。人間はこの嘘を本当だと思ひ込んでいるので、死んでいくのです。こ

れが人間のカルマです。業です。嘘を信じなかつたら、死なないのです。

なぜ人間は死んでいくのか。いない自分をいると考え、実在しない現象を实体と考えているからです。

日本には幸運にも、般若心経があります。現在般若心経は、インド、タイ、ミャンマーにもありません。日本だけにあるのです。宗教ではない般若心経を正確に学ぶと、人間の間違いが大部分かかってしまうのです。その後には宗教ではない聖書を正しく学ぶと、死なない命がはっきり分かってくるのです。

私は幸いにして、死なない命が分かりましたので、書いて70冊出版しました。電子本を含めると130冊になります。数年前に、「死は真つ赤な嘘」という本を書きました。この本が「全日本図書館協会選定図書」になりました。もしこの本の内容がでたらめで、インチキなら、全日本図書館協会選定図書にはならなかつたと思います。日本の歴史が始まってから、日本人が全く分からなかつたこと、今、世界中の人が全く分からなかつたこと、死か

ら脱出する方法を書いていますので、宜しかったらお読みください。

さらに、「我死に勝てり」「死なない人間になりました」「あなたも死なない人間になりませんか」「死なない人間の集団をつくります」という本を書いて出版社に送りました。順次出版されると思います。

今、世界中で、毎日毎日、多くの人が死んでいきます。死ぬ命を自分の命だと思ひ込んでいるからです。私はこれが、残念で、残念でたまらないのです。何とかして死なない命を人々に伝えたいと思ひているのです。

死なない命の勉強は根気よく勉強する必要がありますので、機会をえて、何回もお話ししたいと思ひています。(梶原和義)

☆ ☆

当日の参加者は会員13名、非会員15名、学生2名、計30名でした。

●永い間関西日本サイ科学会の事務局を勤めて頂いた木村のり子氏が平成27年12月12日急逝されました。今後の連絡は会長河野明夫(072・445・7737)にお

願います。

なお、講演記録のテープ販売は当面中止します。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

第四〇二回関西日本サイ科学会研究集会報告

「水と珪素の集団リズム力」
いのちの水はコロイダル

講師 中島 敏樹氏

とき 平成27年10月17日
ところ 大阪科学技術センター

中島敏樹氏は昭和16年生、石川県出身、水産大学校卒。平成7年ニッスイエンジニアリング(株)取締役、平成12年・23年 東洋化学株式会社技術顧問

誘電分極の原理を用いて、水集団の新たな振動領域(500〜4000kHz)を世界に先駆け明らかにした、また、気、想念、音響など微弱エネルギーを水を通して測り、その本質解明の道筋を

つけた。



「いのちを成している水とは、どのような水なのだろうか」。

ミクロな素材に科学者の焦点が当てられている。だが、この宇宙には構造の仕方で自己組織化を果した無限のモノが顕在化している事は誰一人として疑う余地は無い。水も物質、「集団になることの意味」を求めて、水の本質「性格」を模索している。水は数千万個から数億個の集団構成の動的リズムで自己触媒力を発揮している。定量的物性値「ゼータ電位とその粒度分布」の物性値データで補完した「いのちの水はコロイダル」について話します。

水と珪素が「命」を生み育む場の媒体です。土星の衛星エンケラドスの生命体存在の可能性も水と水

溶性珪素ナノシリカと熱の存在の確認でした。それは生命を成す自己組織化の三大要素です。「寄り集いて和し、群れて輪す」との我が研究の根幹作用そのものです。半世紀も前に赤血球の可逆分化や初期化などを実証した千島学説のAFD現象「Aggregation 寄り合い、Fusion 溶け合い、Differentiation 分化発展する」とのシンクロに意を強くしています。

水の二つの生命エネルギー「水素結合」と「双極子特性」と珪素の生命エネルギー「強い水素結合」と「表面陰電荷力」そして常磁性に關する話です。触媒能、酵素能を発揮する大事な媒体に關する生命場の話に他なりません。中島の新分析手法で治験したサイエネルギー、サトルエネルギー、音響エネルギー、超低周波(4〜13Hz)律動エネルギーの連携的な治験事例を述べます。

1. 集団になることの意味について

集団になることの意味とは、端的に言って「命の水」を生み育むことです。物質として顕在化するにはエネルギーのゆらぎ凝集に始

まり、ビッグバンを経て素粒子が生まれ、原子核が生まれ、宇宙の晴れ渡りで原子が生まれた。原子同士がうなり合い分子を形成、物質の顕在化が伸展し現在の宇宙が存在する。

遡ること38億年前、宇宙の奇跡「生命体」が地球上に誕生したので。水と珪素が、生命体の素となるコアセルベートの一等最初のコア(核)を成し、奇跡のドラマが始まった。命を生み育む自己触媒作用をなす場の媒体のお陰である。「寄り集いて和し、群れて輪す」とのいのちの根幹作用そのものです。千鳥喜久男博士はじめ先哲/先達の凄いい見に助けられ、水溶性珪素コロイドの実践と理論の結びとして、一つの科学的視点を示すことができました。

『人体は電解質と云うより、むしろコロイドで成り立ち、いのちしている』

2. 生命体誕生の「核」となり「魂」を成す水溶性珪素コロイド粒子

水の緩やかな塊は「核」となる非晶質「水溶性珪素コロイド粒子」と出会い強い塊となる。さらに周囲環境を抱き合い、会合を重ね集団

を囲う会合体が芽生える。「自己組織化」の原点です。そこに新たな集合体の脈動の命が芽生える。古来より「命は自然に生り出るもの」として、多くの人々は受け止めている。命の自然発生の本意とは「相互扶助が為す多様性の叡智」にあると云えます。

水と珪素の常磁性集合体自らが成した新たな集団の秩序「連成調律リズム」の脈動そのものが「命」魂ではないでしょうか。命の磁性生体エネルギー「魂」が「場の調律リズム」を奏で、秩序が秩序を生み重ね(自己組織化)、会合体を構成する個の方向性を整え、維持していると考えられます。脈動する微弱な生命エネルギーを発生する「生命体誕生」の類推です。

3. 粘土食「モンモリナイト」一名水溶性珪素の検証

理に合った人類的土食文化について、粘土の薬用解毒作用、消化機能を高め滋養強壮に直結する整腸作用、殺菌・浄化・癒し作用などが人類誌に語られている。地球には生命自助浄化力がある。花崗岩の生理活性触媒作用、玄武岩の界面活性溶解作用、かんらん岩(マ

グマ)の水質浄化分離除去作用である。大地が成す生命循環、免疫作用、溶解作用、分離アトックス作用を自然は備えている。自然の摂理を遵守し生命誕生が成された筈。必然的に生命体は、その掟をDNAに刷り込んでいる。粘土食や粘土治療の話とは、ミネラルの核「珪素」そのものの働きを述べたものです。好事例としてフンザの氷河乳コロイドやNASAも宇宙飛行士の健康維持に重宝しているコロラド川のアゾマイトやイオンミンなどのモンモリナイト(珪酸塩粘土鉱物)があります。

4. 人工的水溶性珪素UMOの実体に迫る物性値との整合性

最近、ケイ素ニストに持てはやされる珪素の生命機能発揮の条件とは、水と相互作用ができ常磁性を発揮することです。珪素は酸素と組むことで常磁性を発揮し、且つ表面陰電荷を発揮することで。もう一つは水溶性です。水分子と一体で浮遊同居できることです。その大きさは、水の3次粒子200nm以下であり、2次粒子20nmと同等程度以下がベターです。さらに触媒機能を最大限に発揮す

るには1次粒子2nmと同等程度であればベストです。

この様な条件を満たす人工水溶性珪素UMOは高純度の水晶を2000℃超の高温で気化したアモルファスの一種です。安定した表面陰電荷力を発揮する優れたものです。実績年数を重ね、生命的な機能は数多く実証されています。

珪素は水溶性珪素の状態で細胞に吸収されます。シリケート4面体の珪素(SiO₄)は、水分子同士が水素結合する以上に強く水分子と水素結合している。純水を作るため蒸留を幾度繰り返しても、最後まで水と共にあるのは珪素だと科学は認めている。このような状態を水溶性珪素と見做しています。

微生物の生命活動の産物、あるいは、植物自らが根毛から根酸を出し岩石を溶かし体内に取り込んでいるのです。ちなみに人工的に岩石からミネラルを抽出するには塩酸、硫酸、クエン酸等が用いられている。

細胞のアクアポリン(大きさ7(8Å)を通過する際、水は単分子化するという。このアクアポリン細胞壁の陽電荷(+)(例えば水素イオンや窒素イオン)が、関所

これがシューマンレゾナンス（地球の共振7.8Hz）をキャリアーとして、両者間に同調（共鳴、共振）、を生じさせるのであろう（マクロPK）。

さきに、上記の（1-2）で触れた様に、特異現象（マクロPK）が生起した時の生体内では、「緊張とリラクセス」、換言すれば「陽と陰」が同時に進行している。つまり体内でも「物質に類似した相殺ゼロ場」が形成されている事が推定できる。これらは「意識」と「無意識」、「交感神経」と「副交感神経」の拮抗対峙を意味するのであろう。

4-2) まとめ

緊張とリラクセスを対峙させて「相殺ゼロ」を体内に創り、これを離散的に累積する。体内に形成された「相殺ゼロ」と、体外のオーブ上の「相殺ゼロ」を同調（共振、共鳴）させる事により、意識とオーブ間の情報交換が可能になる（マクロPKが生起する）。これをオーブ動画撮影によってほぼ確かめる事が出来たと判断している。

（写真は都合により省略）

的に水分子の水素結合を切断し単分子化するという。だが、中島は水分子同士の水素結合よりはるかに大きい水素結合した珪素と水の水素結合を切断する事は困難と考えている。つい最近、「太古の水」治験でその根拠を示すことができた。製造最終工程が「時間をかけた蒸留」という。蒸留水の筈なのに乾燥すれば珪酸塩ミネラルが驚くほど多い。珪素は水分子と水分子同士の水素結合よりも強く水素結合しているからである。

5. 超常感覚ESPや念力PKなどの作用と脳波やシューマン波の関連性

微小なものほど高周波数振動を成し、大きなものほど低周波数の長波長を発している。だが、素粒子を凌ぐ極超高周波振動とスピリチュアリストの脳波レベルの超低周波数振動の平常心との整合・補完性に大きな疑問を感じている。

リュック・モンタニエ博士の「DNAの電磁波伝達にはシューマン波振動の存在が必須」との研究発表を根本泰行博士が紹介している。また、志賀一雅博士が「アルファ波における右脳と左脳との

コピーレンシーについて、シューマン波の存在が「気」ではないだろうか」との推論を述べている。中島は超能力者、気功師、そして匠の意念エネルギーの治験で気付いた事がある。皆さん平常心で気負いも無く淡々と治験にに応じている。無垢な平常心こそ何よりの集中力であり、動植物や自然とも一体となり交信できる波長域ではないだろうか。

また、脳波域5・6〜13Hzの振幅2mmの律動機器タップマスタを用いた実験結果では、9〜11Hz辺りが水の秩序性、活性化に適している。単調な律動であり、印加時間も7〜10分程度の印加が適宜である。但し中島が治験している振動は振幅2mmの動的振動であり微弱な電氣的電磁波振動ではない。当然だが、電解質系の溶液より、コロイド系溶液への影響力が顕著であり、また無機系より有機系の物質を含有する水溶液が変化に富んでいることが分かってきた。生命体対象では、精神性の微弱電磁波の効用と肉体的ゆすりの効用が、何故かシューマン波やアルファ波の振動域でシンクロしている気がしてならない。医師によ

る律動機器の治験ではスローアルファ波以下の低周波域が幼い子供

の脳波育成に適しているとの知見結果も報告されています。

統合的に判断すれば自然が成す、宇宙普遍に存在する場の磁性を有したエネルギー媒体が地球大気の鼓動で揺れ動き、生命場の根源的触媒作用を成している様子が観える。以心伝心の情報を乗せた搬送波である連成生体波が気負わずぶれずに平常心を維持しつつ、その場の媒体秩序にシンクロしてこそ、生命体健康に大きく寄与できるのではないだろうか。スピリチュアルの健康とは自然が成す無垢な平常心のリズムなのかもしれない。深謝（中島敏樹）

☆

☆

当日の参加者は会員12名、非会員24名、計36名でした。

（関西日本サイ科学会会長

河野明夫

本報を参考にして、未訓練者は練習・実施して戴きたい。そしてオーブ(たまゆら)に御願ひして、「それぞれのお願ひ」を叶えさせて貰いたい。たとえば、あたかも気軽に携帯で知人(先祖霊)を呼び出す様に。

3. オーブ動画の実験結果

デジカメを用い、焦点を遠くにあわせて(望遠ズーム法)撮影・観測した。別報(PSIJ.2015年11・12月号)にも述べたが、この時に得られた(ズーム拡大してから写した)オーブ像は、変形しやすい柔らかい綿状集合体の光子雲群であり、大部分は乳白色である。しかし時々黄、オレンジ、赤、青、等に变化する場合もある(近赤外光~可視光の間で变化する)。ゆらゆら(回転する)、くねくねと、柔軟に変化して、踊る。勢いが増して2個に分裂する場合もあるが、また1個に戻ってくる。ときにはモニターの枠外に飛び出すが、「キテ」、「キテ」…と、お願ひすると、すぐに戻ってくる。不思議なことに、液晶モニター上には、御願ひした一個(今回は、略称「金星ちゃん」)だけが飛び込んでくるが、時には、別のオーブ、例えば「シリウスちゃん」が飛び込んでくる場合もある。また、出現オーブに話し掛けると、飲んで踊ってみせる。その他。この時、ポジティブで遊びの感覚が必要になる。

「オーブ動画」観察の途中で、シャッターを「全押し」して、切り取って静止画を求めた。この一例を写真6枚に限定して報告する。写真No.1(望遠、ズーム)はハンディ・カメラで写した全体像。オーブが液晶モニター(下側に倍率表示)上に写されている。デジカメの液晶モニターの下側には遠くにある街の灯(電灯)が写っている。写真No.20150306(金星オーブA)、は2015年3月6日、金星(オーブの略称A、B、C…)は切り取り静止写真像の番号。柔らかい(ダイダイ色)の円形綿状オーブが写されている。写真(金星オーブB)は、陰陽の巴型のそれぞれの結合状態がより強くなり、ついに二つ割れになって右側はダイダイ色、左側はややキイロとなる。写真(金星オーブC)は、その二個のオーブが移動して「く」の字形になって写っている。ただし、色は混合して左右はほぼ同一となっている。写真No.20150207(金星オーブD)と写真(金星オーブE)は、2015年2月7日に、同一場所で撮影されたもの。前述とほぼ同一形状寸法のオーブが写された。つまり再現性はある。

以上、形状と寸法は5枚の図ともほぼ同一で、色合いや形が多少変化している(分裂もある)。

4. 検討と考察

マクロPK(念力)とは、意識と体外にある物質とが、直接に相互作用しあう現象である。なかでも、意識による物の変化が研究対象になる。念力の存在は、古くから知られていたが、どの様な機構で生起するかについては、不明であった。著者らは、メタルベンディング、透視、念写、ゼロ磁場、パワー・スポット等の実験研究を続けてきた。それらの中から生まれたモデルに「相殺ゼロ場仮説」がある。これがより普遍的な仮説であれば、物質と意識の両者に適用される筈である。この物質面の一部は、上記の(1-1)でも触れた。ここでは、対象を「意識側」にうつして、検討する。

4-1) 意識的な「相殺ゼロ場」とは

物質を対峙させて相殺ゼロを造る。相殺ゼロとは、(陰のちから)+(陽のちから)=0(ゼロ)をいう。離散的に(原子内電子の量子飛躍の様に)、それぞれの陰、陽の力を増すと、ゼロの値の累積が生ずる。この離散的な「ゼロの値の累積値」が或値(不安定点、変曲点)に達すると、(1)マクロとミクロ、ならびに(2)意識と物質、の変換、(3)マクロPK発生、等の諸変化が生ずる。(1)としては、たとえば「カシミール効果」がある。物質の相殺ゼロを進めると、接触局部の接点では、マクロ現象がミクロ現象に変わる事になる。つまり、マクロの固体(例、金属)同士を対峙させて加圧すると、遂には、構成する要素(分子、原子、素粒子)先端の原子間結合力が作用し合って、逆に引力が発生して、くっつくことになる。これを「カシミール効果」と言う。これは、マクロ現象「物質」がミクロ現象「素粒子」に変わる事を示しているであろう。(2)としては、点状のゼロ場では、意識と物質は、両者に共通した「ゼロ」の場を介して、交流しあう。ただし両者は、ともに素粒子状である。この理由として、意識は脳活動に関係があり、脳は物質である。上に述べた様に、物質のより深い所では、オーブも脳も、同様に微細化が進み、両者は素粒子状であり、また、容易に変換が生ずる、と判断できる。(3)として、両者は素粒子状で、共通な性質を持つので、共振や共鳴が起き得る、つまり「マクロPK」が、生起する。仲介する物質はサイ(気)であり、素粒子群(光子群)でもある。

Master：佐藤禎花師、SDKなど）が唱える密教六字真言の音声振動解析、—— ①唵 (ong、オン)、②嘛 (ma、マ)、③呢 (ni、ニ)、④叭 (bai、ペ)、⑤咪 (mi、メ)、⑥吽 (hong、フン) (この内容は、身体の上部から下方へかけての6個所のチャクラに対応している) ——、を唱えた時の音声・振動をカオス解析して「フラクタル次元D2」等を求めている。訓練上達者等が行った結果をみる、

- (1) 音声の順番①-②-③-④-⑤-⑥に対応して、D2は、↓小-↑大-↓小-↑大-↓小-↑大、という様に、交互にリズムを伴って変化している。
- (2) この時のD2は3.82以下になる。
- (3) 音声と同時に測定した指尖脈波 (体内の気血の循環に関係) のカオス解析結果によると、Lyapunov指数 (カオスが生起するか、否かの判定) は次第に大になっている (カオスに成る)。また、
- (4) 指尖脈波の解析からは交感神経並びに副交感神経が、同時に、次第に増加している。これらの実施と解析を別の人達 (非訓練者、通常人) にも同様に行って比較・検討したが、通常人 (非訓練者) の場合には、リズムは無く、D2はそれよりも大であり、(3) (4) に見られる様な変化は存在しない。

なお、以上 (1)、(2) のD2は、別に、相関次元とも言い、カオスを生み出すに必要な変数の数を意味している。また (3) のLyapunov指数は「揺らぎ」を意味し、カオスになる事への変化傾向を示している。さらに (4) は、緊張とリラクスを同時に進行させる事を意味している。解釈であるが、D2の減少の傾向は、雑念の数 (変数) を減少させる事により意識を集中させ、そして、意識を零にする。次のリズム変動後のD2の増加は、意識は極薄いのでリラクスと無意識から来る変数 (雑音) の増加を意味するのであろう。また、通常人も訓練すれば (1) ~ (4) を得る事ができる。従って通常人に関して、密教六字真言を唱えた時の音声振動と脈波を測定し、カオス解析を行う事により、未知現象を生起させる為の前提として、雑念の減少程度 (意識集中の程度、コヒーレンシー) とリラクス (無意識、雑念の増加) の程度等を判断することが出来る。つまり、密教六字音声読誦によって6個所のチャクラを活性化させ、カオスとしての「ゆらぎ」を増し、意識と無意識の両者が強く拮抗対峙する様に、訓練することが要望され

ている (サイ科学 Vol.31, No.1, pp.9-17, 2009 等参照)。具体的な条件設定は、脳波を出来るだけ下げ (a波、 θ 波の境目まで) 零意識 (変性意識状態、ASC) になり、意識と無意識を強く拮抗対峙させた後、無意識層に刷り込んでおいたイメージ (願い事) を意識に昇らせてサイ (気) 現象を生起させる。

2. オープ動画の測定方法

オープン (たまゆら) は近赤外線領域に潜んでいるので、肉眼でみる事はできない。そこでデジカメの液晶モニターを用いてオープンを観察する (測定する) 事にした。デジカメのシャッターを半押しにすると、カメラからは近赤外線が放射されるので、モニターの視野内にオープンが写り込めれば、液晶モニターに映ることになる。そして、これらの全体の動きを、別置きの手回しカメラに記録する。このような方法でオープン動画を記録した。

観測実験は、2015年3月6日、長野県伊那市、晴れ、夜、に実施された。液晶モニター上でオープンを観測している途中で撮影者がシャッターをきる。すると、連続した動画の一部を切り取った静止画像が得られる。デジカメの撮影者はSDK師 (特異能力保持者) である。この方法による観測実験は8回以上もあり、全部が成功している。

撮影者のSDK師は、彼女の独特の変性意識状態 (詳細は不明) で、リラクスと集中を拮抗対峙させて、上記の方法でテストしている (1-2参照)。この詳細については別報で報告する予定にしたい。ここでは、未訓練者 (普通人) が、すぐに、実施出来る一例の大略をのべる。

撮影者は、特異な意識状態になる必要がある。つまり日常生活から離れること。その為には、まず、息を止めてみる (少しの間)。すると、雑念が消えて集中し易くなる。気持ち落ちつかせる。リラクスし、吐く息に強く願いを込め (呼吸を整えて)、意識と無意識を強く拮抗対峙させる (ゼロ場形成)。その後、予め無意識層に刷り込んでおいたイメージ (例、オープンとの情報交換) を意識に昇らせて、サイ (気) 現象 (オープン) を生起させる。これらを何回も、何回も繰り返す。すると、突然に、御願したオープン (たまゆら) が液晶モニター上に飛び込んでくる (今回は、SDK師、略称が「金星チャン」のオープンの場合を報告する)。なお、「リラクスと緊張を拮抗対峙させる」ことの具体的な手法 (詳細は不明) には、様々があると思えるので、



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

オーブ(たまゆら)の動画を撮影する方法について (オーブ出現機構の推定)

佐々木茂美 苗鉄軍 佐藤禎花

オーブ(たまゆら)は、デジタル・カメラ(CCD)を用いてフラッシュ撮影した時に小円径球状のノイズとして写り込んでくる。不思議なことに、意識に反応し、呼びかけに答える。つまり、意識体や霊の投影体に関係があるらしい。または、意識とオーブの間では情報交換が可能であるらしい、といわれている。一般には、意識と体外にある物質とが情報交換をする現象をマクロPK(念力)という。オーブのPK説を主張する実験結果を得る事が出来るだろうか、または不成立か。出現する為の条件や機構は何か、などを究明するための検討が、いま、要望されている。オーブ(たまゆら)は近赤外線領域に潜在しているので非可視である。そこで、近赤外線領域が可視化できるデジタル・カメラの液晶モニター上にオーブを呼び込む(呼び寄せる)。さらに、その動的な変化挙動を調べる。本稿では、これらを主として意識の面から検討することにする。

1. オーブ(たまゆら)を出現させる

意識と体外の物質が、直接に情報交換する現象をマクロPKという。マクロPKを成立させる為の条件を知る為には物質面ならびに意識面からの検討が必要になる。

1-1) 物質面からの検討

マクロPKの出現条件を(別報で)調べたところ、相殺ゼロ(正の力と負の力の拮抗による)を離散的に加算した時の変曲点(不安定点)で生起する事が判った。不思議な事に、相殺ゼロには量的な意味があり、ゼロを加算して得られる変曲点(ゼロ場の中のゼロ点)で、意識と物質の変換、ミク

ロ(素粒子)とマクロの変換並びにマクロPKの発生(機能)の起きることが判明した。この応用の一例として、オーブ動画の出現を取り扱う事にする。つまり、オーブの上、ならびに意識の上に、ゼロ場(ゼロ点)を造れば、意識とオーブとの間の情報交換が可能になる、と考える事ができる。

近赤外線領域に存在するオーブ(巨視画像)上のゼロ点は何かが問題である。筆者らはさきに「オーブの巴型双極子モデル」を提案し、このモデルによって、静止画として得られるオーブ像の実験結果がほぼ説明出来る事を確かめた。この「巴型双極子モデル」のなかの核に「ゼロ点」が存在している(前報、PSIJ.2015年5・6月号、No.421等)。

1-2) 意識(精神)面からの検討

人の心(精神)には意識と無意識が含まれており、時間や空間の枠組みを超えて作用しているので捕らえる事はかなり難しい。サイ(気)もほぼ同一である。東洋には、体内を流れるサイ(気)を測定する方法として「脈診(手首の脈波)」がある。意識の科学的な解明は現在のところ不可能なので、著者らは、体内を流れる気(サイ)の流れを、「指尖脈波(指先)」をもちいて、体内の意識とその働きの面から検討することにした。

1000年以上もの永い期間にわたって修行(訓練)が継続されており、実技において最高と思われるチベット密教(医学)では、修行者の修行の過程でサイ能力(マクロPK等)の得られることは至極当然である、と言われる。つまり、修行・訓練を行う事により、「願い事」を得る為の未知能力が得られる。例えば、上級訓練者(南上師、



サイジャーナル

月刊
28-3・4
第426号

日本サイ科学会 平成 28 年 3 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--	---	--	--	---

四月本部例会のお知らせ

神々の謎

講師 沖田 祐美子氏

私は長い間、神社や聖地を巡っている内に、神社のご由緒と記紀神話の内容が食い違っているケースが多々あることに気づき、記紀神話の内容に疑問を持ち始め、独自の調査を始めました。

天皇家の祖神をお祀りしている伊勢神宮に、明治天皇以前の歴代天皇の参拝がないこと、皇位継承の証である三種の神器の内、八咫鏡・草薙剣は天皇でさえもその実見はなされていけないこと等数々の疑問についても、記紀神話で語られている神武東征や出雲の国譲りから見えてくる歴史とはまた違った、敗者側の出雲神族の末裔に口伝で伝えられている一子相伝の歴史を手掛かりに、伊勢神宮と出雲大社、天津神と国津神の関係、古代ユダヤやシメール、龍族と牡牛族の関係にまで敷衍して、独自の論を展開して行きたいと思えます。

◎事務局からのお知らせ

今月は年度替わりですので、「会費納入のお願い」の通知と郵便振替用紙が同封されています。いろいろ出費の多い時期で恐縮ですが、日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりますので、早めのお振り込みをよろしくお願い致します。恐縮ですが、御寄付をしていただける方は郵便振替用紙にその分を記入し、年会費に追加して、お振り込み願います。

※3月の本部例会はお休みとなります。

古文書、絵図、石版の写真等を多用し、視覚的にも理解しやすく楽しめる内容となります。

※昨年のスピリチュアル研究分科会でも講演されましたが、大変興味深い内容で、本部例会でじっくり時間をかけてお話ししていただきますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 計報
- ◎ 関西サイ科学会三月四月五月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部日本サイ科学会三月研究集会のお知らせ
- ◎ 北陸日本サイ科学会三月研究集会のお知らせ
- ◎ 九州日本サイ科学会四月研究集会のお知らせ
- ◎ 第27回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎ 第4回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎ 創立40周年記念大会発表者募集
- ◎ 「不思議な写真」の募集
- ◎ 平成26年9月本部例会報告
- ◎ 平成28年2月本部例会報告
- ◎ 第四〇一回関西サイ科学会報告
- ◎ 第四〇三回関西サイ科学会報告
- ◎ ミクロ・オーブの発見について

◎ 沖田祐美子氏のプロフィール
石川県出身、早稲田大学卒業。
2003年頃より周囲に不思議な現象が起き始め、スピリチュアルな目覚めを促される。

不思議な能力を持つ霊能者、密教僧侶、陰陽師等との出会いを通して、本格的に霊性向上を目指す。外資金融を退職し、バリ島、インド、ヒマラヤ等を数年かけて歩き、霊的探究を行う。

現在、社会福祉系相談員を行う傍ら、日本全国の神社仏閣、聖地、聖山を巡り、古代史の調査や磁場調整等を行う。

日時 平成28年4月9日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※5月14日(土)の本部例会講師は河野貴美子氏の予定です。

※6月26日(日)の本部例会講師はエスパー・小林氏の予定です。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(2/13受領分まで)

金二万円也 佐藤 禎花 様
金一千五百円也 小牧昭一郎 様
金一千円也 濱田 敏博 様

訃報

日本サイ科学会顧問の窪田啓次郎先生が平成28年2月5日、心不全により、90歳で逝去されました。

窪田先生は、成蹊大学名誉教授(通信工学)で日本におけるFAX(フアクシミリ)の研究、開発にも貢献されました。

また、サイ科学分野では永年、「リモートビューイング」の調査研究を続けて来られました。心からご冥福をお祈りいたします。

関西日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

命をつなぐ

講師 畑田 天真如氏

日時 平成28年3月19日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会まで

関西日本サイ科学会
四月研究集会のお知らせ

秘密NIPPONの超建国裏返史

講師 上森 三郎氏

日時 平成28年4月16日(土)
午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会
五月研究集会のお知らせ

本居宣長の「古事記」解釈はちと誤っていた！観点を交える「古事記」から本当の古代の史実が見えてくる！比較言語学も駆使して読み解く日本人の本当のルーツ！

講師 坂井 洋一氏

日時 平成28年5月21日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 072・445・7737



中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成28年3月12日(土)

午後1時～5時

会場 博愛癒院ホール

名古屋市昭和区御器所3・4・21

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎

問合せ 052・871・9060



北陸日本サイ科学会
三月定例会のお知らせ

水のはなし

水と若さと健康と

講師 久保田 昌治氏

(理学博士・日本サイ科学会
理事長)

水の基礎とともに人体で体重の70%という最も大きな割合を占める体内の水の重要性について語る。この70%の水をどうするかで健康の維持・増進はもちろんのことア
ンチエイジングも可能になってくる。

水道水を始め浄水、純水、超純水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、ロックウォーター、機能水、さらに最近注目されている水素水まで広く水について述べる。

日時 平成28年3月27日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 ホリスティック健康科学
研究所 研究室

(金沢市高岡町12-45)

ロイヤルシャトー南町1階

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎
お問合せ・お申込み

076・234・6634



九州日本サイ科学会
四月研究集会のお知らせ

参加者の皆様と勉強会

講師 森安 政仁氏

日時 平成28年4月10日(日)

午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6

問合せ 095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分

長崎バス 洗切小学校前
下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎



第27回宇宙生命研究分科会

第8回ヒボクラテスシンポジウム
テーマ「スピリチュアル・ヘルス
..霊性と健康」

日時 平成28年3月27日(日)

10時30分～17時45分

会場 品川健康センター3会議室
(品川区北品川3・11・22)

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」行

で「新馬場駅前」下車

会費 会員 一〇〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会)

一般 二〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)



第4回スピリチュアル研究
分科会のお知らせ

大いなる存在との不思議な
出会いから目覚めて

講師 大石 陽子氏

(スピリチュアルヒーラー)

霊能者というよりシャーマン(高次元の神霊などと繋がり、直接交流する役割を担った人)と呼ぶに相応しい方です。ある時、大いなる不思議な存在と出会ってから高次元のエネルギーの波動を媒介として知人たちにヒーリングを施すようになり、病院では治らない病気とか憑依による霊障、さらに運の悪い人や人生をネガティブに歩んでいる人にも光明を与えて元気をとり戻したと感謝され、世のため人のためにその使命を負っているものと自覚されています。

ヒーリングによる癒しやサイコメトリー(物に残る人の残留思念を読み取ること)などの実演を披露し、さらに花々からのメッセージを受けとる方法などをお伝えして、一人ひとりの意識が靈性に目覚め、世直しの大きなうねりへと広がっていったらと願われています。

体調の思わしくない人、霊障ではないかと思われる人、不運続きの人などは必見です。

○大石陽子氏のプロフィール

フェリス女学院短期大学卒。現在は埼玉県の新神泉村の山里で自

然に親しみながら、知り合いの人々にヒーリングを施しながら、日常生活では、テレビ、ラジオ、新聞などは一切視聴せず、自然界からの恩恵に感謝しながら、無農薬の野菜や山野草を使った自然食、健康食、日本の伝統食など研究。人間の命や靈性(エネルギー)を高める為の食生活・子育てに大切な食育活動を通して、日本人の精神性・情緒を大切に生きる生き方を啓蒙しています。

日時 平成28年4月24日(日)

午後1時20分～4時30分

会場 北とびあ9階902会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元 一般 二千元

学生 一千元

※定員次第で締め切りますので、参加希望者はお早目にお申込み下さい。参加予約は公式サイトの上ピリチュアル研究分科会の欄のフォームからお申込み願います。
<http://homepage3.nifty.com/PSIJ/>

創立40周年記念大会 発表者募集

今年には1976年の日本サイ科学会創立から40周年にあたりますので、10月に北とびあにて、「創立40周年記念大会」が開催されます。

前半は会員の研究発表の時間を設け、後半はシンポジウム(テーマは「地球外知的生命・UFOと宇宙人 ―宇宙人サミット―」が予定されております。

会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは「UFOと宇宙人」に関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、オーブ、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、

またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただいて、通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※創立40周年記念大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。

「サイ科学 2015」最終頁の投稿審査規定をよく読んで、応募願います。

「不思議な写真・映像」募集

近年、UFOやオーブなど、不思議な写真が撮られる機会が増えています。が、会員の皆様が偶然撮られた写真や映像の中で、これらの「不思議な写真・映像」がありましたら、是非日本サイ科学会の事務局にお送り願います。

本部例会の終盤や別の機会を設けて、皆様にご紹介していきたいと思えます。

送付の方法は写真ならば、メール添付で左記に送られるか、大量の写真や映像は、USBメモリーに入れて、日本サイ科学会事務局（1頁上段住所）に郵送願います。
office21@psij.mail-box.ne.jp

もちろん、紙焼きの写真送付でも結構です。

ただし、送られた写真や映像は、お返しできませんので、コピーしたものを送ります。

平成26年9月本部例会報告

死後の世界と輪廻転生についての一考察

講師 石川 允朗氏
(獣医師)

死生観について

人間だけでなく、生物は生まれた瞬間から死への時期を探すために動物の死でみると、他の生物のための餌として、戦いによるもの、

傷病によるもの、また人間だけに存在する他の動物には見られない自殺等数多くの死に至る方法があります。



死ぬまでの間、つまり生きていく今日での日本人の平均寿命は、栄養状態、社会衛生環境の向上や、医療技術の進歩などから改善されたためか、男性80・21歳で、女性では世界長寿ナンバーワンの86・61歳と男女合わせて80歳以上の長寿ですが、寿命のくるそれまでは、生きていくために知恵と感情、そして理性の意識体を働かせ、生まれ持った因縁を果たしながら生きていくということになります。

本来人間は150歳とか200歳まで長生きできると言われてい

ますが、此の世でのストレス、病気、事故等により、寿命を縮めてしまうのが現実であります。

ではその寿命を縮めてしまうのはどんなものかということ、ここで挙げてみました。

病気による死因(平成23年厚労省)

- 1位 ガン 40～80歳に多い
- 2位 心疾患 50～80歳に多い
- 3位 脳血管疾患 年齢全体に見られる
- 4位 肺炎 60歳以上に見られる
- 5位 老衰 85歳以上に多い

ストレスを原因とする主な疾病
心身症として胃、十二指腸潰瘍、過敏性大腸炎、自律神経失調症から心臓病と多くの疾病を引き起こす

- ① 配偶者の死
- ② 離婚
- ③ 別居
- ④ 近親者の死
- ⑤ ケガ・病気

これらの死亡原因の誘因となる生活習慣病、糖尿病、高血圧とか肥満などがあげられています。

そこで、この死亡原因となる生活習慣、例えばタバコを止める、過度の飲酒とか運動を調整することで、発症リスクを抑え、つまり寿命を延ばすことが可能ということになります。

新聞の人生相談欄に、健康な者でも、夫婦の相方が亡くなるとか、子供が巣立つ、孫などとの家族との接点も薄くなってくると、「寂しい、人生がつまらない」などの質問がありました。

その答えは、当然ですが、「何かボランティアを始めたらか、趣味のサークルに入り友人を作れば」と、回答がされていました。

サークルに入ったら入った人間関係でトラブルが起こる可能性もありますし、私は、これは悩んでいる者への正解、指導ではないのではないかと思われまます。

正解とはここで述べるように、「人間は何故生まれ、死んで何処へ行くのか、行くその先の世界は存在するのか、そこに地獄・極楽はあるのか、輪廻転生はあるのか」等を、まだ肉体が元気に活動できる、脳で考える余力のあるうちに学び、次の世界のために準備して

いくことが大切なのであり、趣味のサークルに入ることが残された人生に大切なのではないと思えます。

つまりは、現世的肉体の要求だけを求めるために、この世に生まれてきた目的を、忘失してしまつた結果であると言えるのではないのでしょうか。

老人ホームとか特養施設とか、シェアハウス等の施設に入居して、そこを自分の「終の棲家」にする傾向が高まっているようです。

そして、安住が出来て、ピンピンコロリと死ぬる終の棲家を求める傾向があるようですが、これは今の自分の願望を中心にした考えであり、先祖から流れてくる業カルマ、因縁のことを知らず、未来永劫と続く魂の遍歴を知らぬが故の考えではないかと思われま

死後の世界／黄泉の国と根の国

日本の古代ではどうかと言えば、奈良時代712年に稗田阿礼と太安万侶により筆録された古事記には、イザナミが死んであの世である「黄泉の国」に居るのを、イザナギが連れて帰ろうとしたことが記

されています。

だが、それは穢れたものとして記載されているところをみると、古代の日本人は死ぬことで黄泉の国の世界へ行くが、死は悲しみと穢れ、地獄としてとらえていたのではないかとみられる死後の世界についての記載がされています。

その中で、やはりあの世である「根の国」に居るスサノオノミコトにも記載がされていて、そこではスサノオノミコトは現世と同じように生活をしていて、大国主の別名、大穴牟遲命はその世界を行き来するだけでなく、スサノオノミコトの娘、須勢理毘売を嫁に迎えています。

この記録は、古代における日本人は、人間が死後の世界を行き来することが出来るのを知っていて、あの世の記憶もかなり鮮明に持っていたのではないかと思われま

終活が静かなブームの意味

人生の最後を迎えるための締めくくりとしての活動、いわゆる終活がブームとなつていますが、納棺師のある方は「最初、死とは遠い延長線上にある現象だと思つていたが、今は死とは自然で、極当

たり前の現象であり、納棺の時にその人の生き方が現されている」と話されています。

亡くなれば、肉体も意識も全て亡くなり、無であるとは基本的に考えていますが、死への恐れ、苦しみが意識としてあり、それは過去に何回も死んで生まれ変わったことを忘れていないから、気持ちの中に出てくるのではないかと思われ

ます。死後は何も無いから、葬儀とかお墓などに埋葬されるとか、されないとかの行為は本来自分が知るよしも無いのですが、自分は死後、どの様に死後祀られるかなどの不安と、毎日お祀りして欲しいとの欲求を持つております。

生きているということについて

仏教の側から見ますと、釈迦が生存し仏教が広まった時代背景を見ますと、インドのみならず世界的に争い、紛争が生じており、農業技術も十分発達していません、大衆の人々の生活は、食べ物、医療、生活環境全般的に、今の時代では想像もつかない程に、困難な時代であり、その生活から救われたいとの願いが強く、多くの宗教

が起こり、結果として、釈迦が唱えた仏教が広まったと思われま

す。釈迦入寂後、700年後にはナールジュナらにより、大乘仏教の思想がまとめられました。それは、人々の苦を救い成仏させるという、大乘の視点からの釈迦の教えである菩提心をすすめるものであり、人々は善行を積むことにより、死後において極楽浄土に行くことが出来るだけでなく、成仏できるとされています。

この教えが、当時の苦しい生活を送る人々の助けの後押しになつたのかと思われま

す。その釈迦は6000回の輪廻転生を繰り返して、その転生ごとに難行苦行を続け、高度の悟りを開き、一切衆生・人々の苦しみを救おうとした教えを学ぶことで、我も仏となれる、つまり成仏できると理解していったと思われま

す。生物学的に、「生きる、生命活動を営む」

人間には60兆の細胞があり、人体の生体の微弱電流による脳からの指令のもと、それらが互いに連携をとりながら活動していくことにより、生きているということに

なります。

だがそこで、その幾つかの細胞間とのコントロールが利かなくなり、病氣、ガンなどの発生を導き、最悪の場合は細胞死、即ち死亡することとなります。

そのコントロールは、骨格から始まり、筋肉組織、循環器系、呼吸器系、泌尿器系、内分泌系、神経系、そして感覚器系と多くの組織までに伝達されるようになっていきます。

その中で、重要な働きの部分は交感神経、副交感神経であり、リラックスすることで、副交感神経が優位となって、全身の細胞へ安定した活動を与えます。

長寿者のミトコンドリア遺伝子

人間の体の60兆の各細胞には、ミトコンドリアが存在しています。その大きさは、0・5ミクロンの長さで、全ての好氣的真核生物の細胞に含まれ、人や動物の細胞内でエネルギーを作りだしている細胞内小器官で、1個の細胞内に数百個から数千個もあります。

つまり人体には、60兆個の細胞があるので、数百兆から数千兆個のミトコンドリアが存在すること

になります。

このミトコンドリアの主要な機能は、電子伝達系による酸化的リソ酸塩化によるATP（アデノシン三リン酸・人体のエネルギー源となる物質）の産生です。

細胞の活動に必要なエネルギーのほとんどは、直接、あるいは間接的にミトコンドリアからATPの形で供給されます。

それ以外にも多くの機能を持っており、ステロイドやヘムの合成などを含む様々な代謝、カルシウムや鉄の細胞内濃度の調節、細胞周期や細胞死であるアポトーシスの調節などにも大きく関わっているとされています。

東大医学部の門脇孝氏が述べておりますが、長寿者のミトコンドリア遺伝子と、一般患者との全塩基配列を調査したところ、5ヶ所の違いがあり、なかでもミトコンドリアDNAの5178番目の塩基（シトシン・C）が、アデニン（A）に置き換わっている多型（Mt5178C↓A）が多く百寿者に見つかっています。

日本人のMt5178A型の頻度は40%だが、百寿者は（37r例）の62%がMt5178A型

を持っていました。

このことから、Mt5178A型を持つている人は、Mt5178C型を持つている人と比べて、成人発症性疾患に罹りにくいのです。

健康ということを考えてみますと、人間の身体の数兆個のミトコンドリアに、副交感神経を優位とした安定した活動を与える脳からの命令（好ましい想念）を送る場合と、好ましくないマイナスイメージを送る場合を比べますと、長期間ではミトコンドリアの働きが大きく異なってくるのではないかと考えられます。

ですから、妙に疲れっぽい慢性疲労症候群や理由の分からない病気になっていくのも、やはりプラスに考えるか、マイナスに考えるかによって、人生が変わってくると思います。

高齢者が、眠っているエドガー・ケイシーに「年取っても元気になる方法」を聞きましたら、「気持ちの持ちようで元気になる」と答えたそうです。

ミトコンドリアにプラスの想念を送ると、体温が36・5度をキープして元気になりますし、元気が

ないと体温は36度となって、冷感性となり、疲れっぽくなります。

肉体が健康になりますと、幽体（オーラ）へも良い影響を与えますし、くよくよした想いで生活したり病気になるますと、幽体は色も悪くなったり傷を付けることにもなります。

心霊的にこの世で生きる

・胎児が母体に宿り、妊娠をして3ヶ月を経ると、その胎児を守護する霊が広い意味での先祖霊である類魂で定められて、胎児は一つの魂として母親の胎内に宿る。

・出産して大きく成長するに従い、その守護の霊は、その者を守るだけでなく、守護の霊も共に学び成長していく。

・守護する守護霊とは、亡くなった400〜500年ほど経た先祖の中から自分に付く方であり、男性には男性の守護霊、女性には女性の守護霊が付くとされている。男性に女性の守護霊、女性に男性の守護霊が付くこともあります。多くは同性の守護霊となるようです。

・その者が成長するには、守護霊を含めた先祖からの生命エネルギー

ーが流れることが必要であり、もし流れてこなければ、その時点でその肉体は死を迎えることになる。

・人間の肉体は、肉体と霊魂、そしていま述べた先祖からの生命の流れがあるが、これらの一つが欠けても生命維持はできない。

本能と欲望からの因縁／死生観の意義と疑問

動物には3大本能として、「食べること・睡眠をとること・子孫を繁殖させること」があるとされていて、人間以外の動物では必要以上の要求はせず、本能に従い生命活動をしていますが、人間の場合では、これらへの願望がより強く欲望とまでなり、それは食欲、睡眠欲、性欲となつて、際限なく求められています。

人間は際限なく本能からの欲望を満たしてきた歴史があります。そして、これらの欲望が結果として争い、恨み、つらみを生じ、前世からの多くの因縁の上に、さらに新しく因縁を生じることになっていきます。

その結果、生命の長短、死後の世界への居場所、そして来世での生まれ変わる環境に大きく影響し

ていくこととなります。

現在の死生観とは何かということになるのですが、死を通して生きていく今の自分が、どのような環境下で生活しているのか、どの様にその中で生活を送ればいいのかということを見つめることであり、それは次のように分けられます。

- ①生きていくこととその意義
- ②死ぬことについての意義
- ③死は無なのかそれとも死後の世界はあるのか
- ④生まれ変わりである輪廻転生はあるのか

人間はこれら項目について理解することで、現在の人生観は変わっていくと思われずし、それにより自分が来世で置かれる環境を考えるから、今の日常生活の在り方が大きく異なつて来るのではないだろうかと思われます。

よく私は前世や来世のことを聞かれるのですが、そのとき答えるのパターンは決まっています。前世のことを聞かれたら、「今あなたは幸せですか？ 苦しいですか？ 病気ですか？ ・ ・ ・」という事を聞いて、前世はこうでしたよね、と答えま

す。来世のことを聞かれたら、「今幸せですか？ 苦しいですか？ 楽しいですか？ どういうふうにしたいのですか？」と聞いて、「来世もそうなるでしょう」と答えております。ですから、前世も来世も今の自分が決めていくこととなります。

死生観の意義と疑問

死とは、帰幽であり、この世からあの世の幽界へ移ると言うことであつて、それは肉体を道具として使い、この世での修行生活を終えた者が、本来の居場所である幽界に帰る事なのだと言えます。

死に近くなる時に寂寥感、死への恐怖、現世への執着が生じるのは、やはり死を理解していないことと、転生についても理解を示さないからに他ならないのです。

心霊的にみる死については、死の宣告を受けた場合、幽体が肉体の頭蓋骨部から別離していくこととなり、その姿はその者と同じ人間の形をした透明の体となつていきます。

そして、その幽体と肉体とを繋ぐ、銀色の紐を魂の緒、又はシルバークードともいわれるものが、肉体と幽体が離れる状態、つまり

幽体離脱をしても肉体が生きていくのであれば、この距離がどんなに離れていても切れることはありませんが、死の場合は幽体が肉体から離れると、間もなく切れてしまうとのことです。

この魂の緒が切れた時点が、肉体上の本当の死となり、霊魂はあの世である幽界へ守護の霊に導かれて行くこととなります。その霊魂は、この世の側にあり、我々とともに存在しているのかもしれないので、死は死ではなく、新しい生活へのスタートであると言えますが、今日の科学において見えない世界の解明の道はほど遠いです。

※後半は臨死体験の实例と検証、輪廻転生(实例・ダライ・ラマ14世、勝五郎)、エドガー・ケイシーのリーディング内容の紹介、死後の世界の紹介、動物の霊性等についてのお話がありました。

※御講演のすべてを記録したビデオ映像(USBメモリ)がありますので、興味ある方はメールかFAXで御注文願います。(送料を含めて3500円です。)



平成28年2月本部例会報告

仏教の靈魂観

講師 正木 晃氏

(当日配付資料より)

「四十九日」の話

なぜ四十九日？

四十九日は、人が亡くなったあと、通夜と葬儀にはじまる一連の法事のなかでも、節目の行事として、とても重要です。しかし、なぜ四十九日なのか、と訊かれて、すぐ答えられるお坊さんは少ないようです。

この問いにたいする解答は、四世紀ころにインドで書かれた『俱舎論』という仏教哲学の書物などにあります。それによれば、死から生に移行する期間が四十九日間なので、四十九日という数字が出てきたのです。

もう少しくわしく説明しましょう。

まず、前提として、輪廻転生があります。これは、人間をふくむありとあらゆる動物は、生と死を永遠に繰り返すという考え方です。

つまり、死んだとおもっても、ほんとは死んではいません。すぐまた別の生命体に生まれ変わっているというのです。

いいかえると、生まれ変わり死に変わりして、永遠に死ねないのです。

こういう状態を、良いとみなすか、悪いとみなすか。なかには、さまざまな生のあり方を体験できるのだから、おおいにけっこうとおもう方がいるかもしれません。意見はいろいろあるでしょう。しかし、ブッダはもとより、インドの宗教者たちは「苦」とみなしました。



考えてもみてください。悲運や苦勞に満ちた人生を送ってきた人が、臨終の床で「ああ、これで、

わたしの苦しみも終わる」とおもっていたら、あにはからんや。また別のなかに生まれ変わって、前にも増して苦しまないともかぎりません。死は救いにはなりえないのです。

輪廻転生は、現世のおこないによって、次に何に生まれ変わるか、決まるとされます。したがって、十分に功德を積みなかつた人は、人間以下の生命体にしか生まれ変われないこととなります。気がついて、ゴキブリホイホイのなかでジタバタしている可能性だって、十分にあります。だから、この輪廻転生から抜け出すところこそ、解脱であり、最高の救いだと考えたのです。

中有

さきほどあげた『俱舎論』には、生命体を構成している五蘊、つまり色と受と想と行と識という基本要素は、次の四つの時間帯で展開すると書かれています。生有・本有・死有・中有です。中有は中陰ともいいます。

このうち、生有は、わたしたちが生まれる瞬間です。本有は、わ

たしたちが現に生きている時間帯です。死有は、死ぬ瞬間です。中有は、死から生へと移行する時間帯です。

じつはこの中有の時間帯が、最長で四十九日間なのです。厳密にいうと、生きているときに善行をかさねた人は、死後、すぐになかに生まれ変わります。生きているときに最悪の行為をかさねた人でも、四十九日後には、なかに生まれ変わります。ほとんどの人は、そのあいだのどこかの時点で、なかに生まれ変わります。

こういう考え方は、仏教が独自に生み出したわけではなく、仏教が誕生する以前からあったようです。たとえば、バラモン教の聖典『ウパニシャッド』には、人が死ぬと、肉↓皮↓血↓骨という順番で身体がととのえられ、一〇日後に新たな生命体として再生すると書かれています。しかも、この一〇日間に、死者の靈魂をご先祖様の位に到達させるために、ピンダとよばれる特別な儀式をおこなっていました。これが仏教にとりこまれて、四十九日という法事になったと推測されています。

ところ変わって、仏教がひろま

る前の日本では、人が死ぬと、タマリやタマヨビとよばれる儀式がおこなわれていました。タマリは生命力を強化する儀式、タマヨビは死者の靈魂をよびもどす儀式です。目的はともに、死者を現世につれもどすことでした。

とはいっても、死んでしまった人をよみがえらせることは、現実にはほとんど不可能だったことでしょう。しかし、ともかくもこういう行為を一定の期間にわたっておこなうことで、のこされた人々が「なすべきことはなした。これでもう十分だ」という、安心感を得られたことはたしかです。

さらに、こういう行為をきちんといととなまないと、死者の靈魂が崇ると信じられていたこともたしかです。その恐怖は、現代人には想像もつかないくらい、強いものでした。だから、一生懸命に儀式をいとなみ、死者の靈魂に安定してもらうことが、なにより大切だったのです。そして、死者の靈魂が安定すれば、やがてご先祖様の仲間入りして、今度はのこされた親族をあたたく見守ってくれる存在に転化すると考えていたのです。

この仏教以前からあった儀式が、仏教とむすびついたとき、四十九日の法事になったというのが、学術上の通説です。

再生のメカニズム

中有の本体は、『俱舍論』によれば、煩惱にまみれた五蘊だそうです。ただし、物質的な身体はもっていません。したがって、人の目には見えません。

おもしろいのは、中有にも食料が必要とされていることです。その食料とは香です。そのため、別名をガンダルヴァ、つまり「食香」とか「尋香」ともいいます。ガンダルヴァを漢字で表記すると、乾闥婆になります。

もつとおもしろいのは、ガンダルヴァが再生するプロセスです。ガンダルヴァは空中を自在に飛び回っています。しかも、どんな物質でもとおりにぬけることができます。

ところが、このガンダルヴァにも自由にならないことがあります。前世の因縁からあらかじめ定められている未来の男女がセックスしているところに行き会おうと、気を失って、母となる女性の子宮に吸

着されてしまうのです。おまけに、女性の子宮だけはとおりにぬけられないのです。かくして受胎し、再生するので。

このとき、もしもそのガンダルヴァが、父となる男性を愛欲し、母となる女性に嫉妬するならば、生まれてきた子は女の子になります。反対に、母となる女性を愛欲し、父となる男性に嫉妬するならば、生まれてきた子は男の子になります。

この話のもとから仏教にあったのではなく、インド神話からとりこまれたようです。ガンダルヴァは、もとはといえば、中有とはなんの関係もありませんでした。それどころか、たいそう色好みの神様でした。とりわけ、新婚の夫婦がベッドインしているのを覗き見するのが大好きな、困った神様でした。それがいつしか仏教にとりこまれ、中有になってしまったらしいのです。なんだかなあ、という感じがしますが、歴史的な事実です。

恐怖の体験

では、生から再生にいたる最長で四十九日間に、中有はどんな体験をするのか。この件にかんして

は、日本仏教はあまり興味がなかったようです。しかし、チベット仏教はひじょうに強い関心をしました。いわゆる『チベット死者の書』に、じつにくわしく書かれています。

『チベット死者の書』という名称は、外国人が勝手につけたもので、正しくは『バルド・トゥードル』といます。直訳すると、「中有救度法」です。つまり、「中有を救済して、悟りにみちびく法」です。

ほんとうは死の瞬間に悟りにいたるチャンスがあるのですが、大概の人はそれをとらえられません。そこで中有の状態で悟りにいたる方法がとられることになります。

そもそもインド仏教でも、中有の体験は恐怖に満ちているとされています。『チベット死者の書』でも、それは変わりません。

もつとも、中有は最初から、恐ろしい存在に出会うわけではありません。むしろ逆に、最初の一週間は、心優しい仏菩薩がなんとか中有を救ってあげようと出現するのです。ところが、生前に犯した悪業のせいで、仏菩薩が中有にはきわめて恐ろしいものしか感じ

られません。その結果、せっかく仏菩薩が救ってあげようとして、救われるチャンスを見すみす逃してしまうというわけです。おまけに後になればなるほど、見た目も性格も怖い神々が出現してくるので、ますます恐怖を感じるようになります。かくして、救われるチャンスは遠のくばかりです。

かつてお会いしたチベット仏教の高僧はわたしに「生きているうちに救われなかつた者が、死んだからといって、簡単に救われると思うかね？」とおっしゃいました。「人は死んでしまえば、みな仏」という日本仏教とちがって、チベット仏教にはとても厳しいところがあります。

「幽霊」の話

幽霊に足がない理由

幽霊にまつわる話はタネが尽きません。とりわけ、東日本大震災以降、被災地では幽霊がしきりとあらわれていると聞きます。

幽霊というと、足がないというのが通説です。そして、江戸時代中期に活躍した画家の円山応挙（二七三三〜九五）が、足のない幽

霊の絵を描いたのがきっかけで、幽霊には足がないという説がひろまったといわれています。

一説には、円山応挙より前に、朝廷の御用絵師をつとめる土佐派をひきいていた土佐光起（二六一七〜九二）が、すでに足のない幽霊の絵を描いていたともいいます。いずれにせよ、江戸時代になって初めて、幽霊には足がないという、いわば約束事が成立したという点と同じです。

ところが、この話はかなりあやしいとおもわれます。なぜなら、幽霊はもとから足がないと信じられていた可能性があるからです。

古代の中国では、幽霊に「鬼」という字をあてていました。日本では「鬼」というと、頭に角を生やし、口には鋭い牙、上半身は裸で、虎皮のパンツをはき、金棒を手にする怖い存在を想像しがちです。

しかし、こういうタイプの「鬼」は、おおむね仏教の影響を受けて成立したものです。いいかえると、仏教が日本に伝来するまでは、こういうタイプの「鬼」はいませんでした。

ちなみに、「鬼」と書いて「おに」と読む理由は、「いない」を意味す

る古典語の「おぬ」にゆらいしています。つまり、目には見えないけれど、とても恐ろしい存在という意味だったのです。

また、奈良時代に編纂された万葉集では、「鬼」という字を「もの」と読ませています。この場合の「もの」は「もののけ（物の怪）」の「もの」で、目には見えない、あるいは言葉では表現できない恐ろしい存在を意味しています。意味的には、「おに」とよく似ています。

では、漢字の「鬼」は、もともとどういう意味だったのでしょうか。答えは「幽霊」です。このことは、「鬼」という漢字を分解してみると、よくわかります。

まず、「田」は、頭蓋骨を真上から見たところ。「ル」は足です。「ム」は、はっきりしないことを意味する記号です。ですから、全体では、足もとが定かではない頭蓋骨を意味しています。じつは、この姿こそ、古代中国人が想像していた幽霊なのです。

つまり、「鬼」すなわち幽霊は、最初から足もとが定かではなかったのです。したがって、もし仮に円山応挙や土佐光起に、日本の幽霊には足がないというイメージを

定着させた功績があるとすれば、たんなる知識ではなく、誰にもわかりやすく、目に見えるかたちで表現した点に求めるべきでしょう。

幽霊の正体

さて、足があるとかないとかよりも、はるかに重要なのは幽霊の正体です。一般には、成仏できなかった死者の霊魂とされています。

ただし、成仏できなかった死者の霊魂といわれても、あまりにも抽象的です。少なくとも、仏教の教義ではどうみなされてきたのか、それを確認する必要くらいはあります。

このことに答えてくれる書物があります。臨済宗の高僧、沢庵禪師が晩年に書いた『玲瓏集』です。沢庵禪師といえは、江戸幕府の第三代将軍、徳川家光やその側近だった柳生宗矩の師として有名です。その沢庵禪師にいわせると、幽霊の正体は中有です。それもただの中有ではなく、「罪障ふかき中有」だそうです。『玲瓏集』には、こう書かれています。

うすくして、さだかに見えざる形なれば、中有をば人は見ず。か

れはいつもいきで居たる時のごとく、人を見れども、人是を知らず。罪障ふかき中有は、形あらはるるなり。人自然にこれを見て、幽霊などといふ。又なき事にあらず。

(存在の程度が薄く、はつきりと見えない形なので、中有を人々が見ることができません。しかし、中有のほうは、自分が死んでしまったとは思っていないので、生きていたときと同じように、人々を見ています。人々はそれに気づきません。ところが、罪障の深い中有は、形があらわれます。人々はあるのままにこれを見て、幽霊が出たなどと言うのです。そういうこともなきにしもあらず、です。)

中有について、沢庵禪師はこういう趣旨のことも書いています。「中有は五根(眼・耳・鼻・舌・身体)をもたないが、感覚は残っていて、その点では生きている人間となんら変わらない。外から見えないだけで、中有本人からすれば、生きているのと変わらない。形も全くないわけではないが、あまりにかすかなので、見えにくい。」

そして、この文言のあとに、さき

ほど引用した「うすくして・・・」以下の文章が来ます。

自分の死を納得できないと幽霊にこの文章で問題になるのは「罪障ふかき」という表現です。そのまま現代語訳してしまうと、「悟りや解脱をさまざまげ(罪)の行為が多い状態」になってしまいます。しかし、沢庵禪師がそういう意味で、「罪障ふかき」とは言っていないようなのです。それは、そのあとに書かれた以下の文章から推測できます。

執心ふかければ、形あつし。たとへば葉など、よろづの物をせんじ出せる汁のごとし。あさきものは、その汁あさし。あつきものは、その汁こくして、物の汁と、さだかに知る。・・・中有と執心ふかければ、形をあらはす。

(執心が深ければ、形も濃くなります。たとえば、葉などをはじめ、いろいろなものを煎じ出した液体のようなものです。薄いものは、その液体も薄いのです。濃いものは、その液体も濃いので、それが何の液体なのか、はつきりと知ることができません。・・・中

の場合も、執心が深ければ、形があらわれるのです。)

つまり、沢庵禪師は「罪障」と「執心」を同じ意味で使っています。だから、「罪障ふかき中有」はすなわち「執心ふかい」中有であり、その姿が見えることがありと述べているのです。

では、執心とはなにか、それがつぎの問題です。

執心とは、ある対象に執着する心を意味します。とすれば、今度はある対象とは何か、が問題です。おそらく、ある対象とは「生命」でしょう。その証拠に、『玲瓏集』の冒頭にはこう書かれています。

命ほど尤可惜物はなし。高も賤も、各命長からざれば、本意を遂ることなし。千々の財宝をすて、も、命はかふべき物なり。

(生命ほど、大切なものはありません。自分の高い者も賤しい者も、長生きしなければ、したいことはできません。ですから、巨万の富をなげうつても、生命は買わなくてはなりません。)

そして、「生命」に執着する心と

なれば、「生きたい、生きていたい」と熾烈にねがう心のことです。いかえれば、「死んでも死にきれない」という心のことです。ようするに、自分の死に納得していない死者の霊魂です。それが幽霊の本体なのです。

東日本大震災では、なんにも悪いことをしていないのに、死ななければならなかった人々がたくさんいました。非業の死を遂げた人々が、たくさんいました。そういう人々の中有が、いま幽霊とあらわれているということなのです。

ブツダと「たましい」
ゆらぐ学説

「ブツダは霊魂の存在を否定した」。大学の仏教学部ではたいてい、そう教えています。仏教の概説書にも、大概はそう書いてあります。つまり、「ブツダは霊魂の存在を否定した」という認識は、近代仏教の金科玉条なのです。

しかし、最近、この金科玉条に疑問がもたれています。最新の研究成果によると、インド仏教では、ブツダ以来、一三世紀の初めに滅亡するまでの長きにわたり、霊魂

実在論と靈魂非実在論の両方がありました。そして、両者のあいだでかんかんがくがくの論争がつづき、結局のところ、最終的な結論を見出せずに終わったというのです。(桂紹隆「インド仏教思想史における大乘仏教―無と有との対話」春秋社「大乘仏教とは何か」)。

「ブッダは靈魂の存在を否定した」という金科玉条の根拠とされたのは、いわゆる無我説や非我説です。無我説と非我説は、厳密にいうと、異なりますが、永遠不滅の実態としての「我(アートマン)」は実在していないという点では共通しています。

最近、問題にされているのは、無我説や非我説が、本来、なにを意味していたのか、です。じつは、無我説にしろ非我説にしろ、自分の身体の特定の部位には「我」とよべるなにかはない、もしくは外界のどこにも「我」とよべるなにかはないという意味で、それ以上の意味はなかったのです。ところが、のちに拡大解釈されて、永遠不滅の実態としての「我」は実在していないという意味になってしまったようなのです。

ブッダも来世を認めていた

インド生まれの宗教では、動物のカテゴリに入る生命体は、悟りを開かないかぎり、永遠に生まれ変わり死に変わりするというのが、絶対の前提でした。これが輪廻転生です。

ブッダが在世していた時代には、すでに輪廻転生が前提になっていたようです。しかし、現存する初期仏教の文献には、ブッダが直接、輪廻転生に言及した箇所はありません。ただし、原始仏典のなかでも最古層とされる『法句経(ダンマパダ)』の第一章には、こう書かれています。

悪いことをなす者は、この世で悔いに悩み、来世でも悔いに悩み、ふたつのところ悔いに悩む。「わたくしは悪いことをしました」といつて悔いに悩み、苦難のところ(＝地獄など)におもむいて(罪のむくいを受けて)さらに悩む。

善いことをなす者は、この世で歓喜し、来世でも歓喜し、ふたつるところで歓喜する。「わたくしは善いことをしました」といつて歓喜し、幸あるところ(＝天の世界)におもむいて、さらに喜ぶ。(中村元

『真理のことは・感興のことは』岩波文庫)。

つまり、来世があることや、その来世にも「地獄」や「天の世界」があると、ブッダ自身が述べているのです。ですから、輪廻転生といわれないまでも、生まれ変わり死に変わりはあると、ブッダも認識していたことはたしかです。

となると、いったいなにが生まれ変わり死に変わりするのか、が問題になります。ブッダ自身はこの種の問題を論じていると、あてもない、こうでもないという観念論に陥ってしまうので、しなようにと釘を刺しています。そんな暇があったら、ひたすら修行に励め、というわけです。

しかし、インドの宗教界というところはとても厄介で、自分たちの宗教を、ほかの宗教を信仰する人々にむかって、筋道立てて説明できないと、批判や攻撃をまぬかれません、ついには存続できない仕組みになっていました。ブッダ以降の仏教も、この仕組みから逃れられませんでした。結局はそのなかに巻き込まれ、ああでもない、こうでもないを延々と繰り返すこと

になります。

インド仏教界の半分は靈魂実在論にいたいなが生まれ変わり死に変わりするのか、という問いに対する答えは、いろいろ考えられました。

有力な説の一つに、「ブドガラ」があります。仏典の日本語訳ではふつう「ひと」と翻訳されていますが、これでは抽象的すぎて、意味がまったくいつていいほど、わかりません。もう少し正確に訳せば、「記憶の担い手」というくらいの意味になります。五蘊(色・受・想・行・識)とは同じとも異なるとも言えない「不可説な存在」、すなわち解きあかし得ないなにかです。

「我(アートマン)」と比較すると、「ブドガラ」は生まれて死ぬまでのあいだにいろいろと変化する点で、いつさい変化しないとされるアートマンと異なります。しかし、そのほかの点ではほとんど違いがありません。

このブドガラこそ輪廻転生の本体とみなす説は、おもに主流派仏教(小乗仏教)で主張されています。その学派を正量部といい、

そこに属する僧侶の数は、七世紀にインド留学を実現した玄奘三蔵の『大唐西域記』によれば、ひじょうに多く、主流派仏教のほぼ半数を占めていたと伝えられます。

大乘仏教の学派でも、輪廻転生の本体を「如来蔵」や「仏性」や「アラヤ識」というかたちで、「実在するなにか」として認める勢力は、ひじょうに大きかったことがわかってきます。無我説を主張する中観派に対抗して、インド仏教界を二分していた唯識派が、その典型例です。

さきほどふれた桂紹隆先生の論文によると、玄奘三蔵が留学していたころのインド仏教界は、出家僧の数でいうと、大乘仏教が半数くらいでいちばん大きく、ついで正量部が四分の一、その他の主流派仏教が四分の一という構成だったといえます。そして、大乘と主流派を問わず、輪廻転生の本体として、プドガラや「実在する何か」を認める勢力を合計すると、インド仏教の出家僧のうち、なんと半数くらいは輪廻転生の本体が実在すると考えていたようです。

ブッダも「たましい」を認めてい

た？

そもそも、輪廻転生の本体を「実在するなにか」に求める傾向は、初期仏教の段階からあった事実がわかっています。具体的な例をあげてみましょう。

一つは原始仏典の一つ、「相应部(サンユッタ・ニカーヤ)」の第一集第四篇第三章第三節におさめられている「ゴデーイカ」という物語です。この部分は、岩波文庫から『悪魔との対話』(一九八六)というタイトルで出版されていますので、ぜひお読みいただきたいとおもいます。

それはこういう話です。ブッダの弟子だったゴデーイカは、修行を積んで、心の解脱に達しました。ところが、この境地をたもつことができせん。六回も心の解脱に達したものの、そのたびにその境地から退いてしまいました。そこで七回目の心の解脱に達したときに、ゴデーイカは刀を手にとって自殺してしまいました。ゴデーイカが自殺したことを知ったブッダは、弟子たちを引きつけて、ゴデーイカの遺体を見舞いに出かけたのです。遺体が安置されている場所に来てみると、遺体

のまわりを、「朦朧としたもの」が右往左往しています。それを指して、ブッダはあれは悪魔、悪しき者だといひ、「ゴデーイカの識別力を探し求めているのだ。しかし、ゴデーイカは涅槃に入ったので、もはや識別力はない。それで、悪魔はゴデーイカの識を見つけられず、右往左往しているのだ」と見抜きます。ここでいう「識別力」は、パリー語のヴィンニャーナの訳語です。

よく似た話は、同じく「相应部」の第三集第一篇第二章第四章第五節におさめられている「ヴァツカリ」の物語にも見られます。こちらは『原始仏典Ⅱ 相应部経典』(春秋社)第三卷(二〇二二)におさめられています。

ブッダの弟子だったヴァツカリという人物が、悟りを開いたのち、病苦から離脱するために、刀を手にとって自殺します。ブッダは、ゴデーイカのとくと同じように、ヴァツカリの遺体を、弟子たちを引きつけて見舞いに出かけます。すると、暗闇のようなものが、遺体のまわりを右往左往しています。それを指して、ブッダはあれは魔であり、「ヴァツカリの識を探

し求めているのだ。しかし、ヴァツカリは悟りを開いて涅槃に入ったので、もはや識はない」と語りまします。ようするに、話の筋はゴデーイカのとくと同じです。

問題は、原語では「ヴィンニャーナ」、訳語では「識別力」あるいは「識」とされている言葉です。春秋社から出版されている本についている巻末の注を見ると、そこには、「認識体、意識体、たましいのこと」と書かれています。ようするに、「ヴィンニャーナ」とは「たましい」なのです。

ということとは、初期仏教の段階から、「たましい」の存在をみとめていた可能性があるということになります。ブッダはどうだったか、その答えは現時点では確答できません。しかし、ブッダが「たましい」の存在を完全に否定していたとはいき切れない可能性が出てきたことは事実です。

以上の発見は、これまでの仏教学の常識をくつがえすものです。日本仏教は伝統的に、霊魂実在論の立場をとってきました。この立場は、明治以降の近代仏教学から、ほんとうの仏教ではないと批判されがちでしたが、インド仏教の実

情を知れば、日本仏教の伝統は必ずしもまちがっているとはいえないのです。



第四〇一回関西日本サイ
科学会研究集会報告

物質化現象 無から有は生じる

講師 スワミ氏

とき 平成27年9月19日
ところ 大阪科学技術センター

スワミ氏のプロフィール

広島県立呉三津田高校出身。筑波大学第一学群自然学類卒業。

幼少期より理解困難現象の体験が多かったため、それらの現象の物理学的解明を行うことを目的に、物理学者となることを目指す。十数年にわたりインドの聖者の弟子となり物質化現象の修行に明け暮れた。

2000年に全ての修行を納め日本に戻り、物質化の解明はもとより、自らも物質化を行う。その

後、さらなる真理を求めフィリピンに渡り、心霊治療の能力を獲得し、ヒーラーとなり、3年前より、タイにて、神聖秘法術科学学校を開催。

(講演要旨)

宇宙出現のビッグバンと同様の現象を、タイの洞窟の中で100%に近い再現性をもって、再現可能である。そこでは、激しい火花が爆発音を伴って発生し、それに伴い、様々な物質が出現する。金属状の物、鉱物状の物、等が多数出現し降ってくる。多くの場合、それらの物質は、融解後急速に冷えて固まった形状を示し、出現直後は高温である場合が多々見られる。

その為、それらの出現物を受け止める回収用の天幕状の布が、焼けて小さな穴が空く場合もある。これらの出現物は一度に数十個以上、まさに雨のように降ってくる場合が多い。

この現象は、無から有が生じる物質化現象であり、まさに超小型のビッグバンである。

また、細長い金属質の棒状物が洞窟の天井より出現し、あたかも

蛇のようにクネクネと動き回る。直径は5センチ程度の場合が多いが、長さは数十メートルに及ぶ場合もある。

先端部は動き回り、参加者の方へ近づく場合もある。もう一方の先端部は、天井の中にあるため確認できない。このような意思を持った生命体のような動きをする金属質の棒状物質が数本出現する場合もある。

この現象の紹介と、この現象発生のメカニズムの説明、また、出現した物質の公開、これらの現象を撮影したビデオも公開された。

この詳細論文はネット

<http://www.amanotobira.com/>で公開されています。また、「サイジャーナル」(平成28年1・2月号)「平成27年2月本部例会報告」(P. 5〜10)も合わせてご参照願います。

☆ ☆

当日の参加者は会員20名、非会員29名、関係者1名、計50名でした。講演記録テープは当面制作できなくなりました。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

第四〇三回関西日本サイ
科学会研究集会報告

フルーツ2200日物語

講師 中野 瑞樹氏

とき 平成27年11月21日
ところ 大阪科学技術センター

中野瑞樹氏のプロフィール

1976年和歌山県出身、大阪府在住。京都大学大学院農学研究科卒業(農学修士)。元アメリカ海洋大気局研究員。元東京大学工学部教員。現在は国際フルーツ協会代表・体を張るフルーツ研究者として活躍、TV出演や講演多数。

2009年9月28日より、フルーツを中心に果実だけの食生活実験を続けている。この間、ご飯一粒もパン一かけらも、肉も魚も、根・茎・葉野菜も全く食べてはお

らず、水もお茶もお酒も一滴も飲んでいない。食しているのは、フルーツ、果実野菜（トマト、キュウリ、ナス、ゴーヤ、オクラ、トウガラシなど）、果物（アボカド、レモン、梅（塩漬けの梅干しのみ）、クリ（焼き栗））と、塩（果実野菜やスイカやメロンの外皮をぬか漬にしている）と果実調味料（胡椒、一味など）・果実油（グレープシード油、オリブ油など）だけである（穀断ち、肉断ち、水断ち、酒断ち）。

以前は、果実油と塩などで果実野菜を炒めたりしていたが、2011年3月27日からは加熱調理も食していない（火の物断ち）。

私は決して果実だけの食生活を広めたいわけではない。体ができていない人がいきなり始めても、栄養不足でふらふらになり倒れるので、まねをするのはやめてもらいたい。しかし、各公的機関が勧めるように、健康増進のために、毎日食してもらいたいと考えている。

毎年、日本の国土の14%の面積（※1）、つまり九州と沖縄と四国を合わせたよりも広い面積が沙漠になっている。もともと環境問題

に関心があり、学生時代は沙漠問題の研究に関わり、沙漠化、森林伐採、地球温暖化など地球レベルの環境問題の解決のためには、いかに木を増やすかが鍵だと考えていた。東京大学教授（経営工学系）時代の2003年、木を増やすには、フルーツを食べることだと直感する。なぜなら、各公的機関が勧めるように、健康や美容目的のために、フルーツを食べれば、生産者を通じて、木を増やすことができるからである。以降、フルーツについて独学で学び、2004年10月から始めた、フルーツセミナーや講演は250回以上になる。

熟した甘い果実は、唯一の共存関係にある食物である。

植物は動物とは異なり、その場から動けない。種が近くだけで発芽し続けた場合、病気などで全滅する恐れがある。そこで多くの被子植物（花を咲かせる植物）では、鳥や獣などに、食べてもらい、糞として遠くにはばらまいてもらおうという戦略を取っている。

動物で言えば、子にあたる種が未熟な間は、外皮や果肉を固くしたり、苦くしたり、葉と同じ緑に

して目立たなくしたりと、動物に食べられないように工夫している。種が成熟すると、目立たせるために、色鮮やかにしたり、香りを漂わせたり、消化が良いように柔らかくしたり、果実を食べてもらおうと工夫を重ねる。例えば、小学生に不人気なゴーヤも、熟すと外皮が黄色くなるし、中には真っ赤な甘い果肉ができる。またピーマンも熟すと赤くなり、甘酸っぱくなる。つまり、熟した果実は、「食べて、食べて、どんどん食べて！」と植物が言っているといっても過言ではない。

しかし、熟した果実以外の食べ物、そうではない。葉や根は目立たなくしたり、苦くしたりするし、種である穀物は生では消化が悪い。また肉や魚にしても、動物は食べられないようと逃げ回るわけである。

しかも、撒かれた種が発芽し、成長し、花が咲くと、ミツバチやチョウなど多くの昆虫の餌になる。昆虫が増え、鳥や小動物が増える。小動物が増え、タカやフクロウなどの猛禽類が増え、生態性が豊かになっていく。

一方、日本の中山間地域では、

イノシシ・シカ・サル・カラスなどの被害が、年間200億円以上に及ぶ（※2）。野生動物が人里に下りてくる原因のひとつは、戦後の拡大造林政策によって、栄養価の高い、ドングリやヤマモモやカキといった実のなる広葉樹をどんどん切り倒して、あまり動物たちの餌にならない、スギやヒノキやマツを植えたからである。要は奥山にご飯がないから、人里に下りて来てしまう。日本の国土の67%は森林だが、そのうちの41%がスギやヒノキやマツなどの人工林であり、それは国土の27・2%になる（※3）。うち約半分は戦後の拡大造林政策によって植えられたものとされている。遠目には緑でも、針葉樹の密集林である人工林は、中は薄暗くて下草も少ないため、生物多様性が乏しく、緑の沙漠と呼ばれる。結果として、日本人の29・8%が花粉症となっている（※4）。なぜなら、花粉症の主要原因が、スギ・ヒノキ花粉の増加にあるからである。

現在、世界の9人に1人が飢餓状態にある（※5）。特に、発展途上国において、5歳になる前に命を落

とす子どもの数は、年間660万人にも及ぶ(※6)。WFP(国連飢餓報告)によれば、世界で20億人がビタミン・ミネラル不足に陥っており、結果として脳機能障害や臓器障害の原因となっている(※7)。

一方で、フルーツはビタミン・ミネラルが豊富で、しかも消化吸収の良い食べ物です。その土地に合っていれば、数ヶ月から数年後には果実ができる。

世界では、8人に1人が不衛生な水を飲んでいる(※8)。下痢は、周産期(出産前後の期間のこと)を除けば、5歳未満の子どもにとって肺炎に次ぐ死亡原因です。2012年には約58万人(1日当たり1600人)の5歳未満の子どものが、下痢で亡くなった(※7)。

国連WHOは、世界の健康戦略の中で、糖尿病、ガン、心臓疾患、肥満などの生活習慣病予防のため、生フルーツと非デンプン性野菜を合わせて、毎日400g以上食べることを勧告している。また世界ガン予防基金などでは、ガン予防のためには、色とりどりの生フルーツと非デンプン性野菜を少なくとも400g以上、できれば600g以上食べるように推

奨している。ちなみに、日本のガン死亡者数は、現在36・5万人で、3人に1人が死亡している。1981年に年間30万人を超えて以降、年々増加している。(※9)



また、厚生労働省は『健康日本21』プロジェクトの中で、一日当たり100g以上果物を摂っている人が38・6%(2010年)しかないもので、2022年までには、70%以上に増やそうという数値目標を掲げている(※10)。

農林水産省は、毎日200gくだもの運動を推進している(※11)。

さらに日本糖尿病学会でも、フルーツはビタミン・ミネラル補給に大切な食品なので、糖尿病

の方でも、一日当たり、イチゴであれば250g、ミカンであれば200gなど制限はつくが、毎日の生フルーツ摂取を勧めている(※12)。

にも関わらず、日本では医師や栄養士などから「フルーツは太るから、フルーツは糖尿病になるから、食べ過ぎには注意しましょう」と言われることがある。

しかし、一人当たりのフルーツ供給量(非可食部など廃棄量を含む)は、世界平均で203g、北アメリカ275g、ヨーロッパ249g、アジア181gであるのに対し日本はわずか140gしかない。これはOECD加盟、先進34カ国中最下位である(※13)。

また日本人は、生フルーツの一日摂取量(可食部)は、男性では90・2g、女性では108・7gしかなく、特に働き盛りの20〜40代の男性は、平均でわずか40g前後しか食べていない(※14)。

そもそも、世界的に見て、食べ過ぎに関する研究事例はなく、フルーツの食べ過ぎが何gなのか、科学的根拠のあるデータは存在し

ない。食べ過ぎてはいけなと言われる人たちは、根拠のあるデータをもたずして、思い込みで話しているに過ぎない。元々フルーツは大きな可能性があると思っただので、果実を食べ過ぎると、体にどのような変化が表われるのかを調べるために、実験を始めた。

また、フルーツに関心を持ってもらい、フルーツと医学、フルーツと薬学など、フルーツに関する研究者が増えることを期待してのことでもある。果実だけの食生活を続けて、6年以上になるが、至って健康で、風邪などで寝込んだこともないし、健康診断や血液検査でも異常が出たことはない。むしろ、腎機能の指標であるe-GFRは130・4と、骨密度は20歳の男性と比べて30%以上増と、医師も驚く数値が出ている。糖が多いといわれるフルーツだが、最も多いのは水分である。スイカやイチゴなどでは90%、ほとんどのフルーツは85%以上が水分である。しかも、食物繊維が1〜2%、タンパク質が1%、他に脂質、ビタミン・ミネラル・ポリフェノールなど含まれ、糖質はせいぜい10〜20%である(※15)。フルーツは糖

分が多いと言われるが、主成分は水分であり、多くのフルーツでは80%を超える。スイカやイチゴなどは90%が水である。私の夏場の主食はスイカ、冬場の主食はミカンだが、6年以上、水もお茶も飲まず生きられている理由の一つは、喉を潤してくれる水分量の多いフルーツを積極的に食べているからである。

水分に次いで多いのが糖質で、7〜15%です。バナナはやや多く21%。一方、フランスパン55%、食パン44%、白米36%、サツマイモ27%というように、穀物系食品には、フルーツの何倍も多くの糖質(大半がデンプン)が含まれている。デンプンや糖類などのカロリーは4 kcal/gです。糖質が多いとカロリー数値も大きくなる。

主なフルーツは、チョコレート1/10程度、食パンの1/5程度、ご飯の1/3程度しかカロリーがない。イチゴはモヤシと同じカロリーしかなく、チョコレートの6%である。ご飯1膳(150g)のカロリーは、バナナ(可食部)では約3本分、ウンシュウミカン(寸、外皮除く)では約8個分にある。

総じて生フルーツは、カロリーが低いため、太りづらい食べ物である。私もかつて70kgあった体重が、午前中の食事をフルーツにすることで62kgになった(2009年)。果実だけの実験を始めた時(2009年9月28日)62kgあった体重が、今や52kg。冬には、ウンシュウミカンを毎日20個以上は食べているが、太ることなど全くない。生フルーツが太りやすいというのは、科学的にも、私の経験的にも誤りである。

生フルーツは噛まないといけないので、唾液の分泌量を増やしてくれる。唾液量が増えるので、口腔環境や免疫力の向上も期待できる。また食事の前に生フルーツを食べると、食べ過ぎも抑えられる。カロリーの高いお菓子やデンプン系食品の量を抑えて、代わりに生フルーツを摂るようにすればカロリーコントロールが楽になる。(WHO「国連世界保健機関」は2015年3月、健康増進のためにはできれば、フリーシュガーを25g以下に抑えるよう勧告した(※16)。フリーシュガー(遊離糖)とは、「製造元や消費者が食品に添加する糖類と、蜂蜜・シロップ・

フルーツジュースなどに含まれる天然の糖類」のことです。スプーン一杯のケチャップに4gのフリーシュガーが含まれるように、隠れた糖類にも注意するように促しています。

ちなみに、野菜や生フルーツや牛乳に自然に含まれる糖類はフリーシュガーではない。清涼飲料水を買われた時には、裏面に記載されている成分表をご覧ください。カロリーゼロジュースを除けば、大抵10%以上の糖質(または炭水化物)が含まれている。一般の清涼飲料水には食物繊維がほとんど含まれていないため、記載されている炭水化物や糖質は、ほとんどフリーシュガーになります。500mLのペットボトルを1本飲めば、50g以上のフリーシュガーを摂取することになる。

「健康」と「持続可能な環境」の両方を志向するライフスタイルは「ロハス」と呼ばれる。毎日少しずつでも果物を食べることは、まさに口ハスそのものです。「痩せたい」「ウエストを細くしたい」「小顔になりたい」「生涯健康でおいしいものを食べ続けたい」など、これらは

個人的な欲求である。

これら個人的な欲求に、フルーツを加えればよい。フルーツは、宗教の違いも、右や左といったイデオロギーの違いも、東洋も西洋も、途上国も先進国も、肌の違いも、老いも若いも、男も女も、頭の良さも悪さも、聖人君子も極悪人も、全く関係ない。73億人全ての人に関わるのは「食」であり、どの国でもフルーツは身近な食べ物である。

WHOやFAOや厚生労働省や農林水産省など多くの公的機関が指摘しているように、フルーツは野菜と共に健康増進に役立つ。「毎日果物も食べよう」と意識してもらえれば、果樹園が増えるので、酸素の供給源が増えることになる。さらに、「毎日国産果実を食べよう」と意識してもらえれば、中山間地域の鳥獣害対策、日本の美しい里山奥山の復活、ひいては花粉症の根本対策にもなる。木が増え、花が咲き、果実が増えれば、虫も鳥も動物も喜ぶ。もちろん、木自身も喜ぶ。私たち人間も、フルーツのお蔭で健康増進が図れる。食物の中で唯一、食べても良さが残っているフルーツは、それ自体

第三段階：マクロ・オーブの観察

佐藤禎花師によってマクロ・オーブ(たまゆら)の動的な変化状況が観察・記録された。なお「たまゆら」とは、オーブにサイ(気)が加算された場合のものをいう。居住空間としての空気中において、非可視の近赤外線領域に潜在する(約1.4eV)マクロ・オーブを、デジタルカメラの液晶面上に写し出し、お願いすると、依頼に応じて、様々に動的に変化する状況が記録された。一例として、マクロ・オーブ(芽オーブ)の動的な変化挙動として、次記が記録された。

1) マクロ・オーブは、柔らかい感じの発光体で、ほぼ球形状であり、大きなオーラを伴う。なお、変化が著しい部分では、2) 昆虫の幼虫に似た形状を持っており、頭と思われる部分がある。丸まるとほぼ球形状であるが、ピンと伸びて、つぎに約90度方向を変え、同時に約180度反転して頭と尾が入れ替わる。また、ピンと伸びて、2部分に分割する場合がある。3) そこでは、1秒以内に反転、反転、球形状、などを数回以上も繰り返す。推察すると、夜空に、動オーブがキラキラ輝いて見える原因は、この反転の為かも知れ

ない。また、オーブは、マクロPKとして存在しているので、オーブの動きに対応して、生体内の神経系統(経絡)が情報交換を担当しているのかもしれない。その他。

なお、検討と考察の結果として、マイクロ・オーブとマクロ・オーブの関係を検討したところ、両者は、ほぼ、同一と判断できる事がわかった。

これらが進めば、あの世または霊界との間の情報交換が可能になるのでは?

フォトンが様々なノイズを吸収して、オーブ(たまゆら)に成るのでは?

さらに、これらを契機にして、心(精神)の科学的な研究が開始される事をお願いしたい、と思います。

(注1) 念写とは、意識(念ずる)の働きのみによって、体外にあるフィルム上に、ある種の形姿を映し出すことをいう。今から105年前に、世界に先駆けて、福来友吉によって念写が発見された。仙台には、福来友吉の業績を記録した(財)福来心理学研究所がある。

が愛です。そしてフルーツこそ、自然との共生を含めた究極の世界平和に導く鍵だと私は確信している。

引用文献

- ※1. 国連砂漠化防止会議(UNCOD)1997年
- ※2. 平成23年度全国の野生鳥獣による農作物被害状況／農林水産省
- ※3. 都道府県別森林率・人工林率(平成24年度)／林野庁
- ※4. 馬場廣太郎、中江公裕・鼻アレルギーの全国疫学調査2008(1998年との比較)耳鼻咽喉科医とその家族を対象として
- ※5. 世界の食料不安と現状2014年報告／SOFI2014
- ※6. Committing to Child Survival: A Promise Renewed ProgressReport 2013／UNICEF
- ※7. 飢餓(いじう)／World Food Programme
- ※8. 2008年度版・飲料水と衛生施設に関する報告書／ユニセフ・WHO
- ※9. 平成25年人口動態統計(厚生労働省)
- ※10. くだもので暮らしを豊かに! 合言葉は「毎日くだもの200グラム」／農林水産省

- ※11. 健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料／厚生科学審議会地域保険健康増進栄養部会
- ※12. 糖尿病食事療法のための食品交換表第7版／日本糖尿病学会
- ※13. FAOSTAT 2011
- ※14. 厚生労働省 平成25年「国民健康・栄養調査」
- ※15. 日本食品標準成分表 2010／文部科学省
- ※16. Promoting fruit and vegetable consumption around the world/WHO-----Original Message-

(中野瑞樹)

☆

☆

素晴らしい研究であり提言だと思えます。果物により肉類を摂取せずに済めば、病気も少なくなり医療費も減らせるでしょう。ひいては霊性の向上ともなり世界平和への道かも知れません。

当日の参加者は会員12名、非会員8名、計20名でした。講演記録テープはありません。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

マイクロ・オーブの発見について(念写とオーブの解析)

佐々木 茂美

私たちは、様々な手法を用いてオーブ(たまゆら)の発生機構を検討しております。その一部として、念写の際に発生・生起する微細な光念球の性質を調べたところ、この光念球は、デジタルカメラで撮影されるマクロ・オーブに対応するマイクロなオーブである事がわかりました。

今から約38年前(1977年)に、清田益章師を被験者、小川雄二を研究者として、念写(注1)の機構解明のための基礎実験を行いました。暗室内に光球(念光球、約1mm径)の発生(映像)が認められ、これの時間変化曲線が記録されました。今回の検討と考察により、これが、マイクロ・オーブである事がわかりました。

つぎに、30年の時間が経過して、研究者の苗鉄軍が、この時間変化曲線をカオス解析したところ、低次元決定論的なカオス過程である事がわかりました(2007)。さらに8年経過して2015年になると、佐藤禎花師により、室内の空気中でマクロなオーブ(たまゆら)の動的な変化が観察・記録されました。

第一段階：マイクロ・オーブの出現と測定

既知の電磁波と室内光の両ノイズを遮断した空間(ブリキ缶、空気中)、並びにその空間内に既知の物理光を加算した空間に、約1mm直径の光球状のマイクロ・オーブが発生し、動的な変化挙動をしめす状況がデジタル・メモリーに記録された。

1) 移動速度は群パルス状で、うねりの様な緩急動作を繰り返す。

2) 移動速度の分布状態は、近似的には正規分布である(最頻値は6.5Hz)が、正確には、形状母数が1.5で表示されるワイブル分布である。これは遷移する確率が時間と共に増加するタイプの確率過程論で表示される。つまり、時間の経過とと

もにより速いオーブが出現する、という性質がある。さらに、電磁波ノイズ並びに室内光ノイズが加算した場合には、最頻値は、しだいに増加する傾向にある(シューマン・レゾナンスの7.8Hzに近づく)。

3) パルス波形のピーク値(オーブの光の強さ)の出現は、ほぼ指数分布である。つまり移動速度と光の強さに対応していない。さらに指数分布は、遷移する確率が時間とは無関係に偶発的に決まる。つまりポアソン過程として存在している。

4) 周波数の分布状態は、ほぼワイブル分布である。さらにオーブが存在している時間や存在していない時間は、ほぼ指数分布で表示される。

5) オーブは変性意識状態下の集中とイメージに関連して、時間や空間を超越して出現する(別報)傾向があるが、出現後は、物質になってしまうので、通常の物理法則に従うことになる、と考えられる。

第二段階：マイクロ・オーブのカオス解析

1) Takens 定理を用いて、記録された曲線をカオス解析したところ、相関次元の値は、 $D2=1.94 \sim 2.25$ であった。これより、動的マイクロ・オーブの運動過程に出現するカオスは、低次元決定論カオス性である事が分かった。つまり、生体内の皮膚表面の2~3個所の経絡、またはチャクラが次元因子(カオスを形成させる変数)として関与している、と推定された。

2) 室内光ノイズ、並びに電磁波ノイズがある場合には、相関次元の値はより高くなる傾向がある。つまり、生体外の空気中にあるノイズが加算すると、カオスの次元因子はより高くなる(多様性を帯びる、複雑になる)。